

リアホナ



わたしたちは
イエス・キリストに
従っています、
16, 22, 28ページ

宗教団体は
なぜ必要なのでしょうか、44ページ

どうやって傷を克服したら
よいでしょうか？ 46ページ

そのゲーム、ほんとうにする？ 70ページ



けんそん
「謙遜さは
ひよく
肥沃な

土地のように、
靈性をはぐくみ、
なすべきことを
教える

靈感の実を
結びます。」

十二使徒定員会
リチャード・G・
スコット長老
「個人の生活で
啓示と靈感を受ける方法」
【リアホナ】
2012年5月号, 47ページ



メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
ためらいがちな
宣教師に向けての言葉
ディーター・F・ワークトドルフ管長
- 8 家庭訪問メッセージ——
主に帰依する

表紙

表紙——
写真/2010年のハイチ地震の後に
手伝いをする女性、ジェフリー・D・オールレッド、
マイク・テリー ©Deseret News
裏表紙——
写真/ハワード・コレット © IRI
内表紙——
写真/ロイス・ベアー ©Flickr/Getty Images

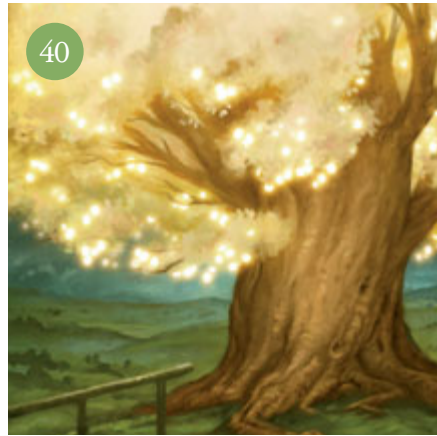


特集

- 16 高潔さ——
キリストのような生活の土台
タッド・R・カリスター長老
高潔さを人格の土台の一部とするよう
にわたしたちを促してくれる7つの
原則。
- 22 いつでも、どのようなことについて
も、どのような所においても弟子と
して歩む
メリッサ・メルル
6人の会員が「弟子として歩む実
験」から学んだことを分かち合っ
ています。
- 28 真理と寛容のバランスを取る
ダリン・H・オークス長老
わたしたちは真理を擁護しなけれ
ばなりません。その一方で、わたし
たちとは異なる信条や考え、またそ
れらを保持する人々に寛容であり、
敬意を示します。

シリーズ

- 9 『若人の強さのために』の教え——
娯楽とメディア
- 10 10月の大会ノート
- 13 わたしたちの家庭、
わたしたちの家族——
父の謝罪
デビッド・ヒクソン
- 14 わたしたちが信じていること——
水と霊とから生まれなければ
ならない
- 36 末日聖徒の声
- 76 教会のニュース
- 79 家庭の夕べのためのアイデア
- 80 また会う日まで——
安息日に主を覚える
マイケル・R・モリス



40

40 どの時代にも当てはまる標準

ロリー・フラー

善悪の判断が明白でない事柄に直面するとき、あなたはどのようにしていますか。モルモン書の中にあるこれらの5つの原則があなたを導いてくれるでしょう。

44 キリストの教会が必要です

デビッド・A・エドワーズ

なぜ組織された宗教が必要なのか、不思議に思う人がいます。5つの理由を紹介しましょう。

46 質疑応答

友人に心を傷つけられました。赦すべきだと分かってはいますが、痛みを乗り越えるにはどうすればよいでしょう。

48 若人の強さのために——

ライト……カメラ……アクション!

エードリアン・オチョア

50 ビデオゲームの依存症になる

匿名

教会を休み、聖典勉強を怠るようになるまで、ビデオゲームにのめり込み始めたとき、わたしは生活のバランスを取らなければならないことに気づきました。

52 徳質に焦点を当てる

ラッセル・M・ネルソン長老

生活の中でこれらの8つの徳質を育んでいくな、あなたは天の御父が望んでおられる人になれるでしょう。

56 わたしたちのスペース

58 救いの計画について

質問に答える

友達を知りたがるような4つの質問への簡単な答え。

60 集会の司会はどのようにすればよいのでしょうか

集会の司会をするときに、この7つの提案を試してみてください。



62

61 特別な証人——

聖文はわたしにとって

どのように役立つでしょうか?

リチャード・G・スコット長老

62 ほんとうに大切なこと

シャーロット・ウッド・ウィルソン

学校の友達からからかわれたとき、お母さんが教えてくれました。ほんとうに大切なのは二つの見かただけだ。

64 わたしたちのページ

65 すばらしい考え

66 しょうきょうかいを かていでも——ちきゅうは 天のお父さまのこどもたちのために そうぞうされました

68 見るものすべて うつくしく

マリッサ・ウィディソン

ボイド・K・パッカー会長の少年時代の芸術作品を見てみましょう。

70 対象ねんれいに関するルール

ジェニファー・マディ

チェイスがやり始めたビデオゲームは、イーサンの家族の標準に合わないものでした。イーサンはどうするのでしょうか?

72 ちいさな おともだちへ

81 よげんしゃの ポートレート——

ブリガム・ヤング

こんげつごう なか かく
今月号の中に隠れている
リアホナをさがしましょう。
ヒント——空を見て。

50



リアホナ 2013年2月号
第15巻2号(10782 300)

末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会: トーマス・S・モンソン, ヘンリー・B・アイリング, ディーター・F・ウーグトル

十二使徒定員会: ボイド・K・バッカー, L・トム・ベリー, ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オークス, M・ラッセル・バラード, リチャード・G・スコット, ロバート・D・ヘイルズ, ジェフリー・R・ホランド, デビッド・A・ベドナー, クエンティン・L・クック, D・トッド・クリストファerson, ニール・L・アンダーセン

編集長: クレグ・A・カードン

顧問: シェーン・M・ボーエン, ブラッドリー・D・フォスター, クリストフェル・ゴールデン・ジュニア, アンソニー・D・パーキンス

実務運営ディレクター: デビッド・T・ワーナー

家族・会員支援ディレクター: ビンセント・A・ボーン

教会機関誌ディレクター: アラン・R・ロイボーク

ビジネスマネージャー: ガーフ・キャン

編集主幹: R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐: ライアン・カー, ラリーン・ポーター・ガート

出版補佐: ミリッサ・センテノ

執筆・編集: スーザン・バレット, デビッド・ディクソン, デビッド・A・エドワーズ, マシュー・D・フリットン, ミンディ・ライ・フリードマン, キャリー・H・ガーフ, ヒカリ・ロフタス, マイケル・R・モリス, リチャード・M・ロムニー, ポール・バンデンバーク, ジュリア・ウッドベリー

編集インターン: ローレン・バンガター・ワイルド

実務運営アートディレクター: J・スコット・クマーセン

アートディレクター: タッド・R・ピーターソン

デザイン: ジャネット・アンドリュース, フェイ・P・アンドラス, C・キンボール, ボット, トーマス・チャイルド, ケリー・リン・C・ヘリン, コリー・ヒンクリー, エリック・P・ジョンソン, スコット・M・ムーイ, ブラッド・デア

版權および許諾コーディネーター: コレット・ネベカー・オーヌ

制作主幹: シェーン・アン・ピーターズ

制作: コニー・パウソフ・ブリッジ ハワード・G・ブラウン, ジュリー・ハーデット, ブライアン・W・ギューギ, キャスリーン・ハワード, デニス・カービー, キニー・J・ニルソン, タイ・ビルチャー, ゲール・テート・ラファティ

製版: ジェフ・L・マーティン

印刷ディレクター: クレグ・K・セドウィック

配送ディレクター: エバン・ラーセン

日本語版翻訳課長: デレック・リン・ウェスマン

●定期購読は、「[リアホナ]注文用紙」でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●[リアホナ]のお申し込み、配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30
電話 03-3440-2351

定価 年間予約/海外予約 830円(送料共)
普通号/大会号 80円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ liahona.lds.org からお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。

Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA
電子メール: liahona@ldschurch.org

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語, アルメニア語, ビスマラ語, ブルガリア語, カンボジア語, セブアノ語, 中国語, 中国語(簡体字), クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, キリジャ語, ハンガリー語, アイスランド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キリバス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, スロベニア語, ス페인語, スウェーデン語, タガログ語, タヒチ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2013 Intellectual Reserve, Inc. 版權所有。印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用することは複製することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

February 2013 Vol. 37 No. 2. LIAHONA (USPS 311-480)
English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

インターネットで得られる追加情報

Liahona.lds.org [英語]

成人

わたしたちが信じていること(14ページ)は簡単な言葉で基本的な教義を教えています。lds.org/topicsでは、そのほかの様々な教義や原則について簡単に説明しています。

青少年

48ページで、中央若い男性会長会第二顧問のエドリアン・オチャオ会長は、自分が視聴するメディアを賢く選ぶことがなぜ大切なのかを教えています。youth.lds.orgの「若人の強さのために」で、メディアや娯楽の標準についてさらに学ぶことができます。

52ページで、十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は、若い女性の8つの徳質すべてについてコメントしています。若い女性は [Personal Progress.lds.org](http://PersonalProgress.lds.org) で、これらの徳質についてさらに学び、「成長するわたし」に取り組むことができます。

あなたの言語で

languages.lds.org で、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。



今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

安息日, 80

イエス・キリスト, 22

異宗派間の関係, 28, 38

教え, 9

改宗者の定着, 8

確認の儀式, 14

家族, 13

活発化, 8

家庭訪問, 8

寛容, 28

クリスチャン, 38, 44

敬意, 28

言葉, 13, 56

高潔, 16, 52

個人の価値, 52, 60

集会, 60

従順, 40

正直, 36

食糧貯蔵, 37

自立, 37

真理, 28

聖文研究, 22, 56, 61

聖約, 14

セミナー, 56

創造, 66, 68, 72

総大会, 10

弟子の務め, 22

伝道活動, 4

徳質, 52

バプテスマ, 14

標準, 9, 13, 28, 39, 40,

48, 70

フェローシップ, 8

奉仕, 22

メディア, 9, 13, 48, 50, 70

模範, 4, 28, 36, 38, 39

ヤング・プリガム, 81

友情, 57

赦し, 46



大管長会第二顧問
ディーター・F・
ウークトドルフ管長

ためらいがちな 宣教師に向けての言葉

イエス・キリストの弟子は、主の福音を世界に広めるといふ義務を常に負ってきました（マルコ16:15-16参照）。とはいえ、口を開いて自分の信仰について周りの人々に話すのは時に難しいことがあります。教会員の中には、宗教について人と話す天性の才能を持った人もいますが、そうすることにためらいを覚える人や、ぎこちなさや恥ずかしさ、さらには恐れを覚える人さえいます。

そこで、福音を「すべての造られたものに」^の宣べ伝えなさいという救い主の命令に従うために、だれもができる4つのことを提案します（教義と聖約58:64）。

光となる

わたしの好きな格言に、アッシジの聖フランシスコが述べたとされる次の言葉があります。「常に福音を宣べ伝えなさい。必要であれば言葉を使いなさい。」¹ この格言は、最も力強い説教はしばしば言葉を使わずに行われることを示唆しています。

わたしたちが高潔であり、常に自分の標準を守って生活するとき、人々は気づきます。わたしたちが喜びと幸福で輝いているとき、人々はさらに気づきます。

だれもが幸福になりたいと思っています。教会員であるわたしたちが福音の光を輝かせるとき、人々はわたしたちの幸福な様子を見、わたしたちの生活に神の愛が満ちあふれているのを感じ取ることができます。そしてその理由を知りたいと思います。その秘密を理解したいと思います。

その結果、人々は次のように尋ねてきます。「どうしてそんな

に幸せそうなのですか。」「どうしていつもそのように前向きなのですか。」言うまでもなく、これらの質問に答えることで、イエス・キリストの回復された福音について話す絶好の機会を得ることができます。

気軽に話す

宗教の話は、特に友人や愛する人たちに対して持ち出すのは、思わずしりごみするような難しいことに思えるかもしれませんが、必ずしもそうではありません。少し勇気を出し、良識を働かせるなら、何げない会話の中で容易に楽しく、霊的な経験について述べたり、教会の活動や行事について話したりすることができます。

わたしの妻のハリエットはこのことについてのすばらしい模範です。ドイツに住んでいたころ、妻はよく友人や知人との会話に教会に関連した話題をうまく織り込む方法を見つけかけていました。例えば、だれかに週末について聞かれたときには次のように答えていました。「日曜日、教会で感動的な経験をしたわ。16歳の若い男の子が、清い生活を送ることについて200人の聴衆の前ですばらしい話をしたの。」「世界中の困っている人々に送ってもらおうと、90歳の女性が毛布を500枚以上編んで教会の人道支援プログラムに寄付したんですって。」

たいてい、そうした話を聞いた人たちはもっと知りたいと思いました。そして尋ねてきました。そこから福音について自然に、自信をもって、押しつけることなく話すことができました。



このメッセージから 教える

効果的な教え方の一つは、「生徒に、あなたの教えてきた原則に従って生活するうえで役立つ目標を……定めるよう促す」ことです（『教師、その大いなる召し』159）。あなたの教える人たちに、今月一人以上の人に福音を分かち合うための目標をよく祈って設定するように勧めるとよいでしょう。親は、幼い子供たちがどのような方法で手助けできるか話し合うことができます。日常の会話で福音を持ち出す方法について、家族の人たちが意見を出し合ったり、ロールプレイをしたりできるように助けてもよいでしょう。友人を誘える今度の教会の活動について考えるのを助けることもできます。

インターネットやソーシャルメディアの出現によって、今日ではこれら^{こんにち}のことについてかつてなかったほど気軽に話すことができます。必要なのは、実行する勇気です。

優しさに満ちた者となる

残念なことに、人は簡単に不愉快な気分になってしまいます。わたしたちはすぐに口論し、相手をけなし、非難してしまいます。わたしたちが人々に腹を立てたり、失礼な態度を執ったり、人々を傷つけたりするとき、わたしたちについてもっと知りたいとはまず思ってもらえません。だれかの言葉に傷ついたり気分を害したりして教会を去った人や教会に入らなかった人がどれほどいるか分かりません。

今日の世には無礼な行為が実に多く見られます。インターネットの匿名性のゆえに、毒々しいことや感情を害するようなことをますます容易に言えるようになっていきます。温厚な御方であるキリストの弟子になりたいと望んでいるわたしたちは、より高い、慈愛に満ちた標準を持つべきではないでしょうか。聖文は次のように教えています。「いつも、塩で味つけられた、やさしい言葉を使いなさい。そうすれば、ひとりびとりに対してどう答えるべきか、わかるであろう。」（コロサイ4:6）

わたしたちの言葉を、晴れた空のように澄んだ、優しさに満ちたものにするのがよいと思います。この簡単な原則を取り入れることができたなら、わたしたちの家族、ワード、国家、さらには世界がどのようなものとなるか想像できるでしょうか。

信仰に満ちた者となる

ほかの人が福音を受け入れることに関して、わたしたちは時々、過度に自分の功績としたり、過度に自分を責めたりすることがあります。主はわたしたちに人を改宗するように求めてはもられないということを覚えておくのが重要です。

改宗はわたしたちの言葉によってではなく、天の聖なる御霊^{みたま}の働きによって起こります。

時々、わたしたちが証^{あかし}や経験談の中で述べるたった一言^{ひとこと}によって、心が和らぎ始め、扉が開かれて、その結果、相手の人が御霊の促しを通して崇高な真理を経験することがあります。

ブリガム・ヤング大管長（1801 - 1877年）は、福音が真実であると知ったときのことについて次のように述べています。「わたしが会った人は雄弁ではないどころか、人前で話す才能すらありませんでした。彼は『わたしは聖霊の力によってモルモン書が真実であることを知っています』としか言えませんでした。」その謙遜な証^{けんそん}を聞いたとき、「その人から発散される聖霊の力はわたしの理解を照らし、光と栄光と不死不滅がわたしの前に訪れました」とヤング大管長は言っています。²

兄弟姉妹の皆さん、信仰を持ってください。主は皆さんの語る言葉を大いなる、力あるものとするのがおできになります。神が皆さんに求めておられるのは人を改宗することではなく、口を開くことです。改宗するのは皆さんの務めではなく、皆さんの言葉を聞く人と、聖なる御霊の務めなのです。

すべての会員は宣教師である

愛する友の皆さん、今日、わたしたちには口を開いてイエス・キリストの福音の喜びに満ちたおとずれを人々と分かち合う方法がかつてないほど多くあります。だれにでも、ためらいがちな宣教師にさえも、この大いなる業に参加する方法があります。それぞれが独自の才能や興味を生かす方法を見つけて、この世を光と真理で満たすという大いなる業を手伝うことができます。そうするときに、わたしたちは「いつでも……神の証人になる」ほどに忠実で勇敢な人々にもたらされる喜びを見いだすことでしょう（モーサヤ18:9）。■

注

1. アッジジの聖フランシスコ。ウィリアム・フェイとリンダ・エバンズ・シェパード、*Share Jesus without Fear* (1999年)、22で引用
2. 『歴代大管長の教え——ブリガム・ヤング』73

友達と分かち合う

アドリアナ・バスケス (コロンビア)

ある日、セミナーの勉強をしていたときに、すばらしい、はっきりとした思いが浮かんできました。次の日のレッスンで学ぶ箇所に目を通していたとき、学校のある友達の顔が見え、彼女に証を伝えるべきだと強く感じたのです。

その思いははっきりとしたものだったにもかかわらず、わたしはためらいました。特に、その友達が教会に入ることに興味を持つようには思えなかったので、拒まれるのではないかと不安でした。

わたしは中央若い女性会長のメアリー・N・クック姉妹の説教を思い出しました。説教の中でクック姉妹は、熱心に努力するように、そして雄々しくあるようにわたしたちに勧めています。¹ そのような人でありたいと思ったので、その子に手紙を書き、教会が真実であることを証し、モルモン書が大好きであることを伝えました。翌日、彼女のかばんにモルモン書を、わたしの手紙と一緒にそっと入れておきました。



驚いたことに、友達はとても喜んで福音に耳を傾けてくれました。その日から、彼女はモルモン書を勉強して学んだことを話してくれるようになりました。数週間後、わたしは彼女を宣教師に紹介しました。すると彼女はほとんどすぐに、自分の学んでいることは真実だという聖霊の確認を受けました。彼女が自分の気持ちについて話してくれたとき、宣教師もわたしも泣きました。

友達は間もなくバプテスマを受け、友達の両親は彼女に起こった変化に驚いていました。

恐れに打ち勝ち、彼女の生活に福音をもたらす手伝いができてとてもうれしいです。

注

1. メアリー・N・クック「決して、決して、決して、あきらめないで！」『リアホナ』2010年5月号、117-119参照

子ども

わたしは ほかのひとびとの ^{ひかり}光に なることができます

ほかのひとびとの ^{ひかり}光に なるために、わたしたちは、「たいようがかがやく 空のように すっきりとして 分かりやすく、あいに みちた ことば づかいを しなければなりません」と ウークトドルフ ^{かんちよう}管長は ^い言っています。わたしたちは ^{しょうじき}正直に ^{しんせつ}親切に、また ^{たの}楽しく ^{はな}話す ひつようが あります。ほかのひとびとの ^{ひかり}光になるためには、^いどんなことを ^{おこな}言ったり ^し行ったり すればよいでしょうか。四角の中に ^ししる された ^{おこな}ことばや ^し行いの中から、^{ひと}いじわるや ^{ひと}ほかの人を ^ききずつける ようなものが ^ああれば、その四角に ^{いろ}色を ^ぬぬってください。さあ、^{なに}何が ^ああらわれる でしょうか。

かぞくや ^{ともだち}ともだちが ^よよろこぶ ような ^{ことば}ことばを ⁵5つ ^ええらんで ^に日記に ^か書き、^じじっさいに ^い言ってみましょう。

「ありがとう」	^{たの} 楽しくする	^{みんな} みんなと ^{なか} なかよくする	「わたしの (ぼくの) をあげるね」	^{れいぎ} れいぎ ^{ただ} ただ ^正 正しくする
「ごめん なさい」	^い 言い ^あ 合いを ^す する	「会えて うれしい」	けんかをする	「おてつだい だいすき」
「どうぞ」	^{しんせつ} 親切にする	「そこ どのいて」	「だいすき」	「どう いたしまして」
おこる	「上手だね」	ほめる	「ともだちに なるうよ」	むしする
だれかを たすける	^{ひと} 人を ^き きずつける ようなことを ^い 言う	うわさ話を する	いじわるを する	やさしくする

祈りをもってこの資料を学び、必要に応じて訪問先の姉妹と話し合ってください。
質問を使うことによって、訪問先の姉妹を強め、あなた自身の生活の中で
扶助協会を生かすようにしてください。詳しくは reliefsociety.lds.org [英語] をご覧ください。

主に帰依する

扶 助協会に入った若い女性、教会に戻って来た会員、そして新しい改宗者を含め、教会の新しい姉妹たちは訪問教師の支えと友情を必要としています。十二使徒定員会の M・ラッセル・バラード長老は次のように述べています。「改宗者が定着し、あまり活発でない会員が再び活発な状態へと戻れるようにするうえで会員の参加〔はとても〕重要で〔す〕。……扶助協会……は教会内における最も力強い友情の提供者になれるというビジョンを持ってください。教えを受けている人々や再び活発になった人々に早くから手を差し伸べ、皆さんの組織を通じて教会内で彼らに愛を示してください。」¹

扶助協会の会員として、わたしたちは教会で行う次のような基本的な事柄について新会員が学べるように助けることができます。

- 話をする。
- 証あかしを述べる。
- 断食の律法に従う。
- 什分じゅうぶんの一とそのほかの献金を納める。
- 家族歴史活動に参加する。
- 亡くなった先祖のためにバプテスマと確認を執り行う。

「新会員に安らぎを与え、教会で



歓迎されていると感じられるようにするには、思いやりのある友人が必要です」と、バラード長老は言っています。² わたしたちは皆、そしてとりわけ訪問教師は、新会員と友情を築き、それを通して彼らが固く「主に帰依〔する〕」のを助けるという重要な責任を負っています（アルマ 23：6）。

聖文から

2 ニーファイ 31：19 - 20；モロナイ 6：4

注

1. M・ラッセル・バラード「会員が鍵かぎである」『リアホナ』2000年9月号、18
2. M・ラッセル・バラード「リアホナ」2000年9月号、17
3. ゴードン・B・ヒンクレー「どの改宗者も貴い人々です」『リアホナ』1999年2月号、9
4. ジョセフ・フィールディング・スミス『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』97で引用

何ができるでしょうか？

1. 同僚のために祈り、自分たちが担当の姉妹たちに仕えるときに御霊が導いてくれるように求めていますか。

2. わたしたちが心から気にかけていることを担当の姉妹に知ってもらえるように、一人一人の姉妹にどのような方法で奉仕すればよいでしょうか。

信仰・家族・扶助



わたしたちの歴史から

ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910 - 2008年）は次のように述べています。「改宗者のますますの増加に伴い、わたしたちは、改宗者が道を見いだせるように助けるため、これまで以上に大きな努力を傾けなければなりません。改宗者のだれもが3つのものを必要としています。それは友人と責任と『神の善い言葉』（モロナイ 6：4）による養いです。」³

訪問教師は自分が担当している人々を助ける立場にいます。何よりもまず友情が大切であることがよくあります。年配の姉妹の訪問教師だった扶助協会のある若い姉妹の場合もそうでした。友情を築くのに時間がかかりましたが、清掃プロジェクトでともに働いたことが転機となりました。二人は友人となり、家庭訪問メッセージについて話すとき、ともに「神の善い言葉」によって養われました。

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長（1876 - 1972年）は次のように述べています。扶助協会は「地上の神の王国の重要な一部であり、忠実な会員が御父の王国において永遠の命を得るのを助け〔ます〕。」⁴

娯楽とメディア

わたしたちの社会ではメディアの選択肢が山ほどあります。「どのようなものであれ、あなたが読み、聞き、目にするものは、あなたに影響を与えます」ですから、どのような映像や思いを自分の心に取り込むかに注意しなければなりません（冊子『若人の強さのために』11）。中央若い男性会長会第二顧問のエドリアン・オチョアは、今月号の『リアホナ』の48ページで、娯楽とメディアについて書いています。

「この世にいるのは、実際は、信仰を育み、試しを受け、学び、幸せになるためであるということ覚えておいてください。キリストの真の教会の会員であるあなたには、強力な助け手があります。目の前のものが正しくないときには警告してくださる聖霊の力がああります。また、あなたには選択の力が与えられていて、自分が何をし、何を行わないかを選ぶことができます。」

青少年に教えるための提案

- 家族で見る映画について、10代の子供たちと話し合ってください。10代の子供たちが聴く音楽に耳を傾けてください。そのメディアが『若人の強さのために』に書かれている標準に反していないか話し合ってください。
- youth.lds.org にアクセスして、「青少年メニュー（Youth Menu）」[英語] の下の「若人の強さのために（For the Strength of Youth）」[英語] をクリックしてください。

表示される画面には、ビデオや参照聖句、「モルモンチャンネル」[英語] のラジオ番組、質疑応答、中央幹部の話を含む記事（例えば、「Getting Real」[英語] などをご覧ください）があります。[訳注——2012年11月現在では、これらのページは日本語に翻訳されていませんが、今後少しずつ翻訳される予定です。]

- 良いメディアを選ぶことの大切さをテーマに家庭の夕べを開いてもよいでしょう。（『リアホナ』2010年6月号、22-31のデビッド・A・バドナー「現在のことをありのままに」が良い資料となります。）

子供に教えるための提案

68ページの「対象ねんれいに関するルール」で、イーサンは、メディアについて家族で話したことがあったので、どのメディアが安全か知っていました。この記事をお子と一緒に読んで、下記の質問を交えながら子供と話すこともできます。

- 良いメディアや良い娯楽を選ぶよう助けてくれるのはだれですか。
- 見たり読んだり聴いたりするメディアのうち、わたしたちにとって良いのはどんなものですか。
- メディアを利用していいのはどんなときですか。
- メディアはどんな場所で利用すべきですか。
- 娯楽に注意することが大切なのはなぜですか。



「どのようなことでも、
徳高いこと、好ましいこと、
あるいは誉れあることや
称賛に値することがあれば、
わたしたちはこれらのことを
尋ね求めるものである。」
(信仰簡条 1:13)

家族のメディアガイドブックを作ってみたらどうでしょうか。何も書いていない紙を半分に折り、折り山をホチキスで留めて冊子を作ります。ページごとに自分の家で利用しているメディアの種類を書き、そのメディアに関する家族の標準と預言者の勧告を書きましょう。

ダニエル・ケニントンの「消して知らせる」(『リアホナ』2011年6月号、64)を読んで、ふさわしいメディアの利用について話し合うきっかけにすることもできます。■

10月の大会ノート

「主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであ[る。]……
わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。」(教義と聖約1:38)

2012年10月の総大会を復習する際に、このページ(および今後の「大会ノート」)を使って、生ける預言者と使徒、ほかの教会指導者の最近の教えを学び、生活に取り入れることができます。

大会で話された物語

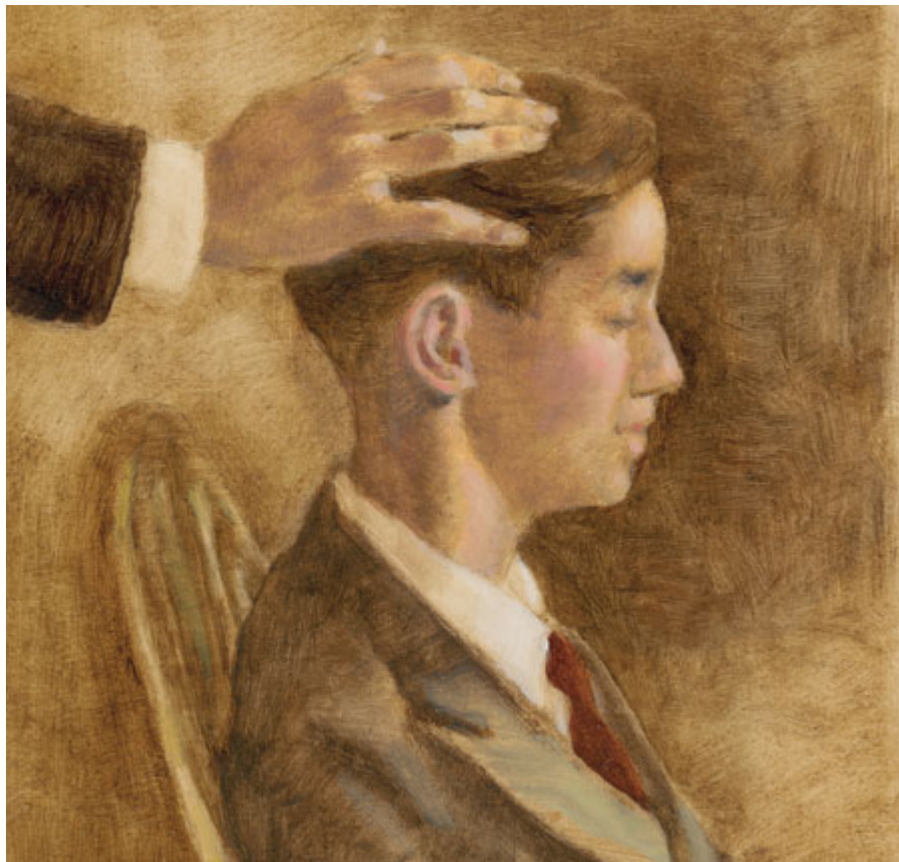
神はわたしたちの賜物^{たまもの}を御存じです

わたしが12歳で執事になったとき、わたしはニューヨーク・シティーから50マイル(80キロ)離れたニュージャージー州に住んでいました。わたしは野球の名選手になることを夢見ていました。父はブロンクスにある、古い歴史のあるヤンキースタジアムの試合

に連れて行くと約束してくれました。ジョー・ディマジオがバットを大きく振ってセンタースタンドにホームランを打つのを父の隣で見たことを今でも覚えています。父とメジャーリーグの試合を見に行ったのはそのときだけでした。しかし、父との別の思い出はわたしの

人生を永遠に変えました。父はわたしをニュージャージーから、ソルトレーク・シティーにいる聖任された祝福師の家に連れて行きました。わたしはその兄弟と初対面でした。父とは玄関先で別れました。祝福師がわたしにいすに座るよう案内しました。祝福師はわたしの頭に手を置いて神からの賜物として祝福を宣言しましたが、それにはわたしが心から強く望んでいることが含まれていました。

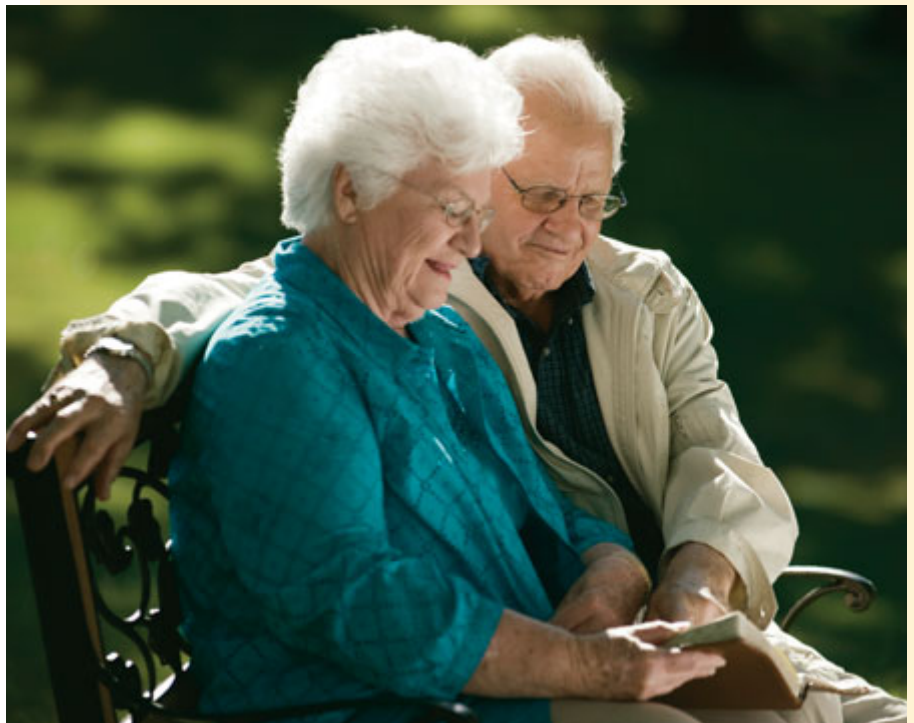
祝福師はわたしが「平和をつくり出す人たちは、幸いである」と言われた一人



預言者の約束

「これは約束できます。[ほかの人々]が彼らの持って生まれた霊的な賜物に気づくうえで皆さんが祝福となるでしょう。だれもが違って、違った貢献をします。失敗する運命の人などいません。」

大管長会第一顧問 ヘンリー・B・アイリング管長
「高い目標を持てるよう青少年を助ける」
『リアホナ』2012年11月号, 60



であると語りました〔マタイ5:9〕。わたしは、まったく知らない人が自分の心の内を知っていることにとっても驚き、そのような奇跡が起きている部屋を見ようと目を開けました。わたしの可能性を述べたその祝福は、わたしの人生、夫婦関係、そして神権者としての務めを形作ってきました。

そのときとそれに続く経験から、わたしは証^{あかし}します。「すべての人があらゆる賜物を与えられるわけではない。賜物は多くあり、各人に神の御霊^{みたま}によって一つの賜物を与えられるのである。」(教義と聖約46:11)

主がわたしに賜物を明らかにしてくださいだったので、わたしは自分が愛し仕える人々を祝福するためにそれを使う機会を見つけ、そのために備えることができました。

神はわたしたちの賜物を御存じです。わたし自身も含め皆さんにお勧めします。わたしたちに与えられた賜物と、それを伸ばす方法を知り、そして神が与えてくださる人々に奉仕できる機会に気づけるように祈ってください。しかしそれ以上に、皆さんが靈感を受けて、奉仕するために神から与えられた自分の特別な賜物を見いだせるように人々を助けるよう願っています。

大管長会第一顧問 ヘンリー・B・アイリング管長
「高い目標を持てるよう青少年を助ける」『リアホナ』
2012年11月号、67参照

このメッセージを生活に取り入れる

- 教義と聖約46:11-26を読み、深く考えながら、自分にどのような霊的な賜物を与えられているかを知るために祈ってください。
- 人々に奉仕することは、霊的な賜物を伸ばすうえでどのような助けとなるでしょうか。
- まだ祝福師の祝福を受けていなければ、受けることを検討してください。

あなたの考えを日記に書くか、ほかの人と話し合ってみてください。

このテーマに関するその他の資料——『真理を守る』「霊的な賜物」の項、193-195；LDS.orgの「教え」の「福音のテーマ」の「霊的な賜物」の項

試しの中で強さを見いだす

「信仰の試しを受けるとき、どうしたら『確固として動かずに』いられるでしょうか〔アルマ1:25〕。それには、信仰の核を築いてくれたものに浸ることです。つまり、

- キリストを信じる信仰を働かせ、
- 祈り、
- 聖文について思い巡らし、
- 悔い改め、
- 戒めを守り、
- 人に奉仕するのです。」

十二使徒定員会 ニール・L・アンダーセン長老
「信仰の試し」『リアホナ』2012年11月号、40、
黒丸付加

空欄を埋めましょう

1. 「伝道に出る決断は、その宣教師、将来の伴侶、そしてこれから来る世代の子孫の _____ に影響を与えます。」(ラッセル・M・ネルソン「宣教師に尋ねてください。皆さんを助けることができます。」『リアホナ』2012年11月号, 18)
2. 「互いにもっと _____ ように、次の言葉を覚えておくよう提案します。『まず気づき、それから仕える。』」(リンダ・K・バートン「まず気づき、それから仕える」『リアホナ』2012年11月号, 78)
3. 「神殿と _____ の活動は、本来一つの業を二つの分野に分けたものです。」(リチャード・G・スコット「死者を贖う喜び」『リアホナ』2012年11月号, 93)
4. 「愛の究極の特質〔は〕常に _____ で〔す。〕」(ジェフリー・R・ホランド「いちばん大切な、第一のいましめ」『リアホナ』2012年11月号, 85)

3. 家族歴史 4. 忠誠心
1. 霊的な運命 2. 愛し合える



家族の文化を作る

十二使徒定員会のL・トム・ペリー長老は、いっそう堅固な家族の文化を作るために親にできる5つのことを教えています。「いっそう堅固な家族の文化を作るための〔これら〕の提案事項は、教会の文化と調和して行われます。堅固な家族の文化は、子供たちを……守ることでしょう。」

1. 「助けを永遠の御父に願い求めながら熱心に祈る。」
2. 「家族の祈り、聖文の研究、家庭の夕べを行い、できるだけ頻繁に食事を共に……する。」
3. 「教会の支援ネットワークを十分に活用する。」
4. 「しばしば子供に証を分かち合(う)。」
5. 「家族を一致協力させるための約束事として、次のようなものを作る〔。〕明瞭で単純な家族の規則や期待されている事柄、健全な家族の慣習や日課、そして……『家計管理法』など。」

「善い親になる」『リアホナ』2012年11月号, 28 参照

総大会の説教を読んだり、見たり、聴いたりするには、conference.lds.org にアクセスしてください。

父の謝罪

それは千の説教よりも強力でした。

デビッド・ヒクソン

16歳のときのことです。わたしはロックンロールの新しいアルバムを初めてかけてみました。残念ながら、聴いてみると、最後の歌に下品な言葉が出てきたのがっかりしました。わたしはどぎまぎしました。両親が認めてくれないことは分かっていました。そのレコードは家族の標準から外れていたのです。でも、それ以外の歌は好きでしたから、そのレコードをかけるときは必ず、下品な歌詞の直前でボリュームを落としていました。

姉が善意から父にこのアルバムのことを話しました。その後、父は食卓でわたしと二人きりになったときに、この不適切な言葉について心配していると言ってきました。父の言い方が穏やかだったにもかかわらず、わたしは自分の立場を守ろうとかたくなになりました。

考えつくかぎりあらゆる理由を並べ立てて、そのレコードを捨てなくてもいいと父に思い込ませようと思いました。「こんな言葉が出てくるなんて、買ったときには知らなかったんだ。それに、その歌のときには音を小さくしているし」と言ったのです。

それでもレコードを処分するよう父が言ったので、わたしは言い返しました。「そんなこと言うのなら学校だって辞めてやる。そんな言葉は学校で毎日聞いているし、もっとひどい言葉だって聞いているんだから。」

父はいらだってきて、この家で下品な音楽を流すわけにはいかないともう一度きっぱりと言いました。自分には



もっと悪い罪だって犯せるし、その言葉を自分で使ったことは一度もないんだとわたしが言うと、口論はさらに激しくなりました。

わたしは形勢逆転をねらってこう言いました。「善い人になろうと一生懸命努力しているのに、お父さんはほんのささいなことをあげつらってぼくのことを邪悪な罪人呼ばわりしているんだ。」

ここまで言っても、父は後に引きません。わたしも同じでした。わたしは2階の自分の部屋に駆け上がるとドアをびしゃりと閉めてベッドに身を投げ出しました。はらわたが煮え繰り返るようでした。自分の言ったことを頭の中で何度も何度も繰り返しました。誤った主張にかたくなにしがみつき、ぼくは間違っていないと自分に言い聞かせていました。

10分後、ドアを静かにたたき音がしました。父でした。顔つきが変わっていました。議論をしに来たのではありませんでした。「怒ってしまってすまなかった。赦してくれないか」と言うのです。父はわたしをどんなに愛しているか、どんなに大切に思っているかを

話しました。説教はしませんでした。アドバイスもありませんでした。それだけ言うと、背を向けてそっと部屋を出て行ったのです。

謙遜^{けんそん}について千の説教をされたとしても、これほど強い影響を受けることはなかったでしょう。もう父に対する怒りはなく、頑固で分からず屋だった自分に対する怒りが残っているだけでした。わたしはレコードを手にとると、真二つに割って捨てました。このことを父に話したかどうかは覚えていませんが、そんなことはどうでもよかったのです。大切なのは、父の主張が正しい場合ですら、父が自分のプライドよりもわたしとの関係の方を大切にしていることが分かったということでした。■

デビッド・ヒクソンは、アメリカ合衆国テキサス州在住です。

柔らかい答え

「柔らかい^{こたえ}答えは憤りをとどめ、激しい言葉は怒りをひきおこす。」

箴言 15：1

水と霊とから 生まれなければならない

わたしたちは天の王国に救われるためにはバプテスマを受け、(確認の儀式によって) 聖霊の賜物を受けなければならないと信じています。「だれでも、水と霊とから生れなければ、神の国にはいることはできない」と救い主は教えておられます(ヨハネ3:5)。

主はまた、バプテスマの儀式は、福音のほかの儀式と同様、ふさわしい神権者から受けなければならないと教えておられます。「神から召され、イエス・キリストからバプテスマを施す権能を授けられている人は、〔バプテスマのために出頭した〕人とともに水の中に降りて行き、……その後、その人は、彼または彼女を水中に沈め、そして再び水から出て来なければならない。」(教義と聖約20:73-74)

水に沈めるバプテスマは、罪のある人が死んで葬られ、「新しいいのち」

に生きるために霊的に生まれ変わることを象徴的に表しています(ローマ6:4)。バプテスマを受けることによって古い生活を捨て、イエス・キリストの弟子として新しい生活を始めるのです。確認の儀式を受けると、わたしたちは主の教会の会員になります。

またバプテスマを受けるとき、人は天の御父と神聖な聖約、つまり約束を交わします。御父の戒めを守り、御父とその子供たちに仕え、イエス・キリストの名を受けると聖約するのです。御父はわたしたちの罪を赦し、「ますます豊かに御霊を注ぎ(モーサヤ18:10)、永遠の命を与えると約束してください。

救い主御自身、罪がないにもかかわらず、バプテスマを受けるという戒めに従われました(マタイ3:13-17参照)。御父に従うため、わたしたちに模範を示すため、そして「あらゆる義を満たす

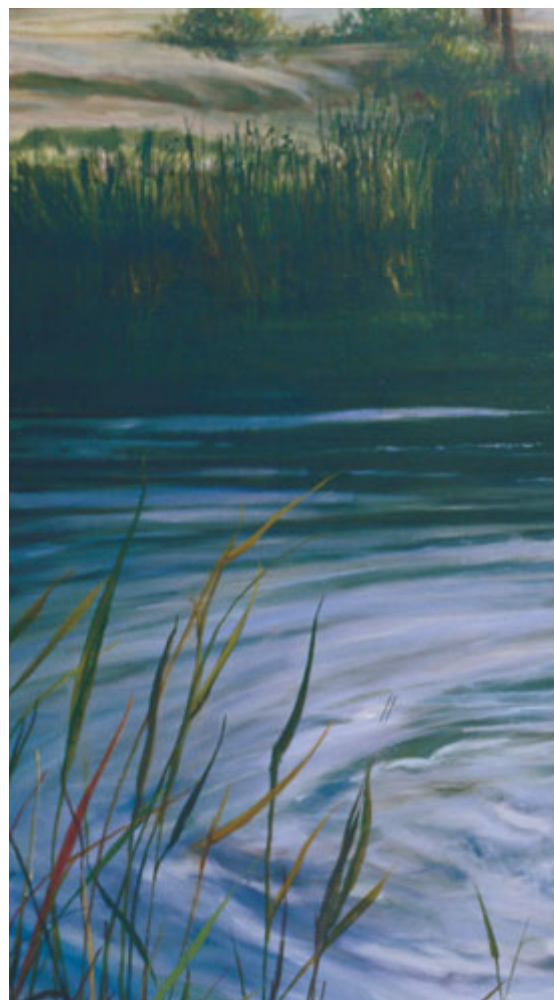
ために」バプテスマをお受けになったのです(2ニーファイ31:5-9参照)。このように、バプテスマを受けることにした人は、救い主の模範に従っているのです。■

詳しくは『歴代大管長の教え——ロレンゾ・スノー』第2章をご覧ください。

神聖な聖約

「バプテスマ〔は〕神と人の間で交わされる神聖な、拘束力を伴う聖約に入ることを象徴する儀式……です。人は世を捨て、同胞を愛して彼らに仕え、困っている孤児ややもめを見舞い、平和を宣言し、福音を宣べ伝え、主に仕え、主の戒めを守ると約束します。主は『〔わたしたちに〕ますます豊かに御霊を注ぎ』(モーサヤ18:10)、この世的にも霊的にも聖徒を贖い、彼らを第一の復活にあずかる人々とともに数え、永遠の命を与えると約束しておられます。」

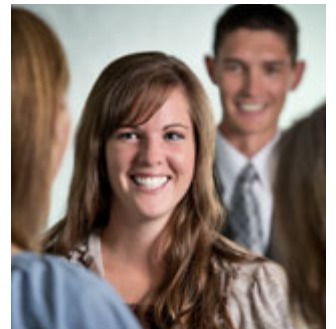
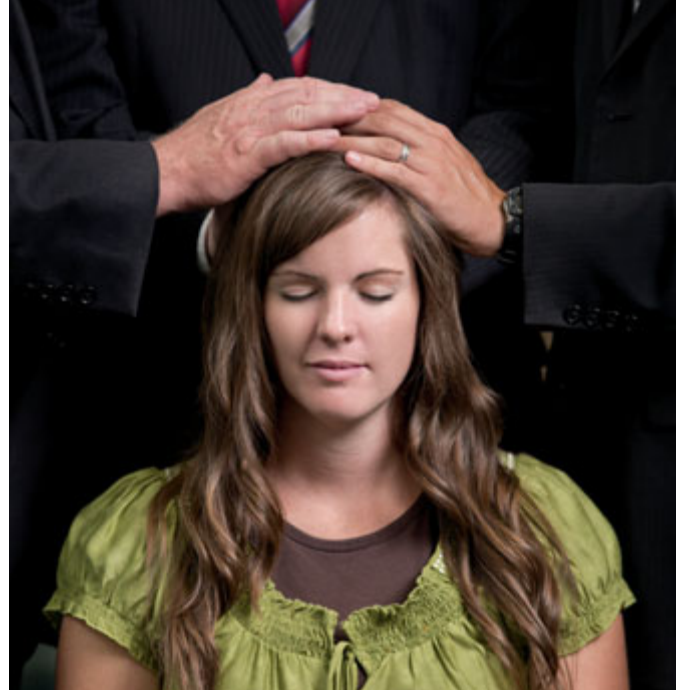
十二使徒定員会 L・トム・ベリー長老、「イエス・キリストの福音」『リアホナ』2008年5月号、46



バプテスマを受けた後、わたしたちは末日聖徒イエス・キリスト教会の会員に確認され、聖霊の賜物を受けます。バプテスマと確認を受けると、イエス・キリストの贖いがわたしたちの生活に「罪の赦し」を含む霊的な清めをもたらすようになります(教義と聖約 33 : 11)。

バプテスマを受けたいと望む人は、「神の前にへりくだって、……自分のすべての罪を心から悔い改めたことと、……進んでイエス・キリストの名を受けることを教会員の前に証明」しなければなりません(教義と聖約 20 : 37)。

「わたしたちは、……水に沈めるバプテスマ……を信じる。」(信仰簡条 1 : 4)



バプテスマと確認を受けると、わたしたちは「聖徒たちと同じ国籍の者」となり、「神の家族」となります(エペソ 2 : 19)。



「バプテスマ」に関する情報は、www.mormon.jp/ baptism をご覧ください。



七十人会長会
タッド・R・
カリストー長老

□ パート・ボルトの戯曲の傑作「すべての季節の男」は、トマス・モア卿の物語です。トマス卿は学者、法律家、外交使節、そしてついにはイギリスの大法官として多大な尊敬を集めていました。完全に高潔な人物でした。戯曲はリチャード・リッチ卿の次のような言葉で始まります。「人間誰でも買収できるものですよ!……金で買収できます。……快樂でもいい。爵位、女、家屋敷、なにかあります、いかなる場合でも。」¹

これがこの戯曲のテーマです。これはまた人生のテーマでもあります。何を用いても買収できないほど高潔な人などこの世にいるのでしょうか。

高 潔 さ

高潔さとは、
どのような結果になろうと、
不都合なことがあろうと
正しいことを行う勇氣です。

戯曲が進む中で、王のヘンリー8世が、王妃キャサリンと離婚してアン・ブーリンと結婚することを望みます。しかし問題がありました。離婚はカトリック教会によって禁じられていたのです。そこでヘンリー8世は望みが妨げられないように、自分に仕える者たちに自分の離婚の支持につながる誓約をするように求めます。ところがさらに問題がありました。

民衆に愛され、称賛されているトマス・モア卿が求めに応じないのです。彼の良心が誓約書への署名を許さないのです。王から直接求められても従おうとしません。そして試しがやってきます。友人たちが誘惑や圧力を用いて迫りますが、彼は屈しません。財産も地位も家族も奪われますが、署名しません。ついには不当に死罪に問われますが、それでも屈しません。



キリストのような
生活の土台

彼らはすでにトマス卿から財産と政治的権力、友人、家族を奪い、命も奪おうとしていましたが、高潔さを奪うことはできませんでした。彼の高潔さは何を用いても買収できないものだったのです。

戯曲のクライマックスで、トマス・モア卿は反逆罪で不当に裁判にかけられます。彼の有罪を証明するために、リチャード・リッチ卿が虚偽の証言をします。そしてリチャード卿が法廷を出て行くとき、トマス・モア卿が尋ねます。「きみがつけているその鎖……は？」

訴追者のトマス・クロムウェルが答えます。「リチャード〔卿〕はウェールズの検事総長に任ぜられたのだ。」

トマス・モア卿は深い軽蔑をもってリチャード卿の顔をのぞき込み、次のように言い返します。「ウェールズの？リチャード、自分の魂を売るのは全世界ととりかえてもむなししいものを……それをウェールズとは！」²

来るべき世で、きっと多くの人が抑え切れずにむせび泣きながら現世を振り返り、何度も次のように繰り返すことでしょう。「どうして自分の魂をウェールズと、あるいは一時の肉体的な快楽と、名声と、成績と、友人の賛同と引き換えにしてしまったのだろう。どうして高潔さを売ってしまったのだろう。」

高潔さの原則

これから高潔さの7つの原則について述べたいと思います。個人の生活においてこのキリストのような特質を自分の性格の基本的特性とするように、これらの原則を通してわたしたちの霊が鼓舞されることを願っています。

1. 高潔さはわたしたちの人格と、ほかのあらゆる徳の土台である。1853年、聖徒たちはソルトレーク神殿の建設を開始しました。長く困難な2年間の大半が、掘削と基礎の構築に費やされました。基礎は深さが8フィート（2.4メートル）以上あり、砂岩で造られていました。ある日、現場主任がブリガム・ヤング大管長のもとに衝撃的な知らせを携えてやって来ました。砂岩のブロックに亀裂が入っていたのです。ブリガム・ヤング大管長は次のいずれかを選択しなければなりませんでした。（1）最善を尽くして亀裂を補修し、予定していたものよりもずっと軽い、規模の小さな神殿を建てるか、それとも（2）2年間かけて築いたものをすべて取り除



き、神が自分たちに示してくださった壮大な神殿を支えることのできるかこう岩の基礎と交換するか。幸いにも、ヤング大管長は後者を選びました。³

高潔さは、人格とキリストのような生活を築くための土台です。その土台に亀裂が入っているなら、その上に築かなければならないキリストのようなほかの特質の重みを支えることができません。自分自身の弱さを認める高潔さに欠けているなら、どうして謙遜になれるでしょうか。完全に正直に人と接しないなら、どうしてほかの人への慈愛を身に付けられるでしょうか。ビショップに真実の一部だけを打ち明けるなら、どうして悔い改めて清くなれるでしょうか。すべての徳の根底に、高潔さがあるのです。

クリスチャンである作家のC・S・ルイスは、数学の方程式を解く途中でいったん間違えたなら、そのまま先に進み続けることはできないとして、次のように述べています。「計算を間違え始めているときには、早くそのことを認め、戻ってやり直せば、それだけ早く先に進むことになる。」⁴

同じように、わたしたちはまず高潔さを生活の堅固な土台とするまでは、キリストのようなほかの徳を十分に身に付け続けることはできません。そのためには、欺瞞の上に築かれた既存の土台を取り払い、代わりに高潔さという土台の石を一つずつ積み上げていくという困難な過程を経る必要があるかも



しれません。それでも、それは実行可能です。

2. 高潔な人は、単に法的に正当な行いではなく、道徳的な行いやキリストのような行いをする。姦淫^{かんいん}を犯すこと、結婚前に肉体的な関係を持つこと、うわさ話をする^{うわさ}ことは、法律に反していないかもしれませんが、道徳的な行いでもキリストのような行いでもありません。高潔さとは単に法律を守るのではなく、より高い道徳律を守ることでもあるのです。合衆国の大統領エブraham・リンカーンは、「わたしたちの本性に潜むより善い天使」に従って生きるように勧めています。⁵

すべての若い男性にはデートの相手の徳を守り、保つ道徳的義務があり、すべての若い女性にもデートの相手に対して同じ道徳的義務があります。それは高潔さの試しです。高潔であろうと努めている男性や女性は、肉体的な激情にさえも打ち勝つ強い決意と自制心を持つようになります。神と、自分自身と、周りの人に対するそのような誠実さこそが、サタンが彼らに対して道徳的な誘惑を一挙に仕掛けてくるときでさえも、彼らを支え、力づけるのです。今の時代の人々に対して、主は次のように述べておられます。「わたしは、義をもってわたしに仕える一つの清い民をわたしのために起こすであろう。」(教義と聖約 100:16) 神はわたしたちがその世代となることを期待しておられます。

数年前、仕事のパートナーとわたしはある従業員を解雇しなければなりません。話し合いの末、わたしたちは彼の貢献に対する報酬を支払うことで合意しました。わたしはこの合意は十分すぎるほど公正なものだと感じましたが、それにもかかわらず、その話し合いがもとで険悪な関係が生じてしまいました。その晩、わたしは沈んだ気分になりました。自分は公正だったと自分に言い聞かせることで払いのけようとしたのですが、その気持ちは離

れていきません。その後、次のような思いが浮かんできました。「公正であるだけでは十分ではない。キリストのようになるよう努めなければならない。」最も高い道徳律を守ることは、高潔な人の特徴です。

3. 高潔な人は、永遠の行く末に及ぼす影響に基づいて決断を下す。わたしたちのワードの若い女性の一人が地元の高校で試験を受けていました。顔を上げると、友人の一人が不正行為をしているのが見えました。二人の目が合いました。友人はきまり悪そうに肩をすくめ、次のように口を動かしました。「良い成績が必要なの。」どういう訳か、この友人は永遠の視野を失ってしまっていたのです。わたしたちが目指すのは良い成績ではなく、神のような特質を得ることです。一流の大学に入っても、その過程で昇栄を失ってしまったら何になるのでしょうか。不正行為をする度に、その人は自分の霊的な生得権を1杯のあつものと交換しているのです(創世 25:29 - 34 参照)。目先のことだけにとらわれているために、次の世における無限の富よりも今日の1ドルを選んでいるのです。

以前、ある父親が意気消沈しながら次のように話してくれました。10代の娘が、まず「存分に楽しんで」、結婚する3か月前になったら神殿推薦状を受けられるように自分の行いを清算したいと思っているというのです。そのような状況で推薦状を発行するステーク会長がいるかは知りません。しかし、たとえ発行してもらえたとしても、それは祝福ではなく、のろいとなるでしょう。高潔さとは近視眼的なものではありません。単に振る舞いを一時的に変えることなく、性質を永久的に変えることなのです。

ベニヤミン王は、わたしたちがどのようにして生まれながらの人から霊的な人へと性質を変えることができるかについて語っています。

わたしたちはまず高潔さを生活の堅固な土台とするまでは、キリストのようなほかの徳を十分に身に付け続けることはできません。そのためには、欺^き腐^{まん}の上に築かれた既存の土台を取り払い、代わりに高潔さという土台の石を一つずつ積み上げていくという困難な過程を経る必要があるかもしれません。



わたしたちは
神の子供であり、
神の属性を秘めていて、
贖罪しよぐざいによって、
高潔さの
完全な手本である
神のように
なることができます。
こうした
永遠の観点に立つことで、
単に振る舞いだけでなく
性質を変えることが
容易になります。

「生まれながらの人は神の敵であり、アダムの墮落以来そうであって、今後もそうである。また人は、聖なる御霊の勧めに従い、主なるキリストしよくざいの贖罪により、生まれながらの人を捨てて聖徒となり、子供のように従順で、柔和で、謙遜で、忍耐強く、愛にあふれた者となり、子供が父に従うように、主がその人に負わせるのがふさわしいとされるすべてのことに喜んで従わないかぎり、とこしえにいつまでも神の敵となるであろう。」(モーサヤ3:19, 強調付加)

わたしたちは神の子供であり、神の属性を秘めていて、贖罪によって、高潔さの完全な手本である神のようになることができます。こうした永遠の観点に立つことで、単に振る舞いだけでなく性質を変えることが容易になります。

4. 高潔な人は、真実をすべて明らかにし、真実だけを明らかにする。 わたしたちが悔い改めたいという望みと努力を示すなら、主はわたしたちの弱さや過ちを甘んじて受け入れてくださるとわたしは信じています。贖罪はそのためにあるのです。しかし、欺こうとする心や偽りを言う舌を神が簡単に容認なさるとは思いません。

何年前か、伝道部を巡回したときのことで。一部の宣教師が従順になれずに苦しんでいました。その晩、伝道部会長とわたしは数人の宣教師と面接しました。翌朝、ゾーン大会の最初に、伝道部会長が高潔さについてすばらしい話をしました。わたしはそのテーマについてさらに話すべきだと感じました。わたしたちは数分後、さらに面接をする必要があることを察かんべきしました。完璧で、突っ込んだ質問をされた場合にのみ真実を打ち明けるといったことをしないよう宣教師たちに求めました。

御霊がその場にあり、前の晩に面接をした4人の宣教師がひそかにやって来て言いました。「ほかにもお話しすべきことがあります。」そのうちの一人が言いました。「正

直な人になりたいです。」その日、その宣教師は砂の土台を高潔さという堅固な土台と取り換えたのです。

5. 高潔な人は、言い逃れや言い訳をしない。 自分の弱さを認め、言い訳や言い逃れをせずにしっかりと責任を取る人は高潔です。ジョセフ・スミスは自分の弱さを教義と聖約に度々記録し、だれもが読めるようにしました。それによって、ジョセフが完全でなかったことが分かると同時に、何も隠すことのない、高潔な人だったことも分かります。このことは、ジョセフが最初の示現やモロナイの訪れについて語るしんびょうとき、その信憑性にどのような影響を及ぼすでしょうか。ジョセフを信用してよいこと、彼の言葉をすべて信じてよいことが分かります。ジョセフは確かに高潔な人だからです。

6. 高潔な人は、たとえ不都合なときでも聖約や約束を守る。 高潔さとは、どのような結果になろうと、不都合なことがあろうと正しいことを行う勇氣です。かつて大管長会第一顧問を務めたN・エルドン・タナー管長(1898 - 1982年)は、次のような経験を語っています。

「最近、ある青年がやって来てこう言いました。『ある人に毎年一定のお金を支払うという約束をしました。でも今、生活が苦しくて支払いができません。支払えば、家を失います。どうしたらいいでしょう。』

わたしはその青年を見て『約束を守りなさい』と言いました。

『家がなくなってもですか。』

『家のことについては何も言っていない。あなたの約束について話しているのです。あなたの奥さんも、家はあっても取り決めや聖約を守らない夫と住むよりは、借家に住むことになっても約束を守り、責任を果たし、誓いや聖約を守る夫を望んでいると思いますよ。』⁶

この青年は家が高潔さかという難しい選択を迫られていました。高潔な人は、単に難し



いから、費用がかかるから、あるいは都合が悪いからというだけで譲歩したり屈したりはしません。この点において、主は完全に高潔な御方です。主は次のように言っておられます。「わたしが約束をして、果たさなかったことがあるであろうか。」(教義と聖約 58:31)

高潔さを吟味する最も厳格な基準の一つは、わたしたちが自分の決意や約束を守るかどうか、わたしたちの言葉に抜け穴がないかどうかです。

7. 高潔な人は他人の存在に左右されない。外界ではなく内なるものに突き動かされる。七十人のマリオン・D・ハンクス長老(1921-2011年)は、ある男性とその幼い息子の次のような話をしています。二人は「人里離れた田舎道沿いにあるおもしろくないトウモロコシ畑で止まり」、柵の向こうにあるおいしいトウモロコシをじっと見ました。父親は前後左右を見渡してから、トウモロコシを数本取ろうと「柵を登り始めました。」息子は父親を見てとがめるように言いました。「お父さん、上を見るのを忘れたよ。」⁷

シェイクスピアの劇「ハムレット」で、ポローニアスが息子のレアティーズに次のように言っています。

「なにより肝心なのは、自己に忠実であれということだ、
そうすれば、夜が昼につづくように間違いなく

他人にたいしても忠実にならざるをえまい。」⁸

何とすばらしい助言でしょうか。わたしたちは選ぶことができます。機会をとらえて自分の人生をコントロールすることもできれば、周囲の状況や仲間の単なる操り人形になることもできます。

母親やデートの相手、^{はなりよ} あるいはビショップの前でポルノグラフィーを見るでしょうか。人がいる所で悪いことなら、人がいない所でも同じように悪いことです。自分自身と神とに忠実である高潔な人は、だれかが見ているかどうかにかかわらず正義を選びます。外界に支配されるのではなく、自分の意志に基づいて行動するからです。

わたしたちの高潔さに「どんな値段でも売りません」と太字で書かれた看板が掲げられていますように。それによって、ハイラム・スミスについて言われたことが、わたしたちについても言われますように。「わたしの僕ハイラム・スミスは幸いである。彼の心が高潔であるので……主なるわたしは彼を愛する、と主は言う。」(教義と聖約 124:15)

わたしたちが皆、義務だからではなく、そうなりたいという望みから、高潔な人になることができますように。主はそのような人が受ける報いについて、次のように告げておられます。「まことに、わたしはあなたがたに言う。彼らの中で、その心が正直で〔あ〕ることを知っており、また犠牲を払って……自分の聖約を進んで守ろうとするすべての者は、わたしに受け入れられる。」(教義と聖約 97:8, 強調付加)

わたしたちが皆、高潔な人になるように努めているという理由で、神に受け入れていただくことができますように。■

2011年12月6日、ブリガム・ヤング大学のディボーションで行われた説教から。全文〔英語〕は speeches.byu.edu をご覧ください。

注

1. ロバート・ボルト「すべての季節の男——わが命つきるとも」『現代世界戯曲集』小田島雄志訳、河出書房、113-114
2. ボルト「すべての季節の男」174-175
3. リチャード・ナイツェル・ホルザップフェル「どの窓、どの尖塔も神の思いを伝えぬものなし」『聖徒の道』1993年11月号、12参照
4. C・S・ルイス、*Mere Christianity* (1960年)、22
5. エープラム・リンカーン、第1期就任演説、1861年3月4日
6. N・エルドン・タナー、Conference Report、1966年10月、99
7. マリオン・D・ハンクス、Conference Report、1968年10月、116
8. ウィリアム・シェイクスピア「ハムレット」第1幕第3場。『シェイクスピア全集』小田島雄志訳、白水社、第3巻、443

救い主がなされたように
人に奉仕したいと願った
忙しい母親は、
家の外ではなく家の中に、
奉仕する機会が
たくさんあることに
気がつきました。



いつでも、
どのようなことについても、
どのような所においても

弟子として歩む

メリッサ・メリル

アルマはモルモンの泉でバプテスマの聖約について説明した際、「いつでも、どのようなことについても、どのような所においても」神の証人になることがその聖約に含まれていると教えました（モーサヤ 18：9）。これは救い主の弟子として歩む者が今日でも実践しようと努めている標準であり、毎週聖餐を受けるときに更新する聖約です。教会員は聖餐を受けるとき、救い主を「いつも……覚え」ることを約束します（教義と聖約 20：77）。

この「弟子として歩む」とは、正確にはどのようなことなのでしょう。教会機関誌は、全世界の末日聖徒に参加を呼びかけ、「弟子として歩む実験」を実施しました。要するに、会員たちにイエス・キリストの特定の教えまたはキリストに関する特定の話についてよく考えるようにしてもらったのです。選んだ聖句を1週間常々に研究して深く考え、救い主の生涯と教えをひたむきに研究した結果「いつでも」主に従うという姿勢にどのような変化が起きたかを報告してもらいました。

いつでも弟子として歩む

アメリカ合衆国ユタ州のカラ・ラシュトウックは、弟子として歩むとは、イエス・キリストに倣ってさらにイエス・キリストのようになりたいと望むことであり、主の福音を分かち合うために犠牲を

払って奉仕する意欲を持つことだと長い間思ってきました。しかし内気な性格のため、なかなかそれができないでいました。

「わたしは内向的で、引っ込み思案です。自分のことをどう思うかや、救い主からどう思われるかよりも、ほかの人からどう思われるかの方がひどく気になるのです」と説明しています。

しかし、ラシュトウック姉妹は1週間にわたる実験に参加しルカ第7章を研究してから、自分がどんな動機で行動しているのか考え直すようになりました。ルカ第7章では、救い主が何人かを教え導く様子が描かれています。彼女は自問しました。「わたしは救い主のようになって人の役に立ちたいという純粋な望みから行動しているだろうか。それとも、割り当てを果たしたという満足感が欲しくて、できたことをリストでチェックしているだけなのだろうか。ほかの人の幸せを優先しているだろうか。それとも、自分の行動が人にどう思われるかばかり気にしているだろうか。」

彼女はあることが分かってきたと言います。救い主に従うとは、一つには、ある状況で救い主ならなさるだろうことを行うことです。それは、都合のいいときだけでなく、自分が必要とされるときに愛を示して奉仕することです。

「弟子として歩むには努力が必要です。必ずしも簡単なことではありません。時間や労力、資力を



弟子として歩む というチャレンジ

「救い主に従い、主の足跡を歩み、主の弟子になると約束するとき、わたしたちは神の道が導くところに行く約束しています。しかも、救いに至る道は、必ずそのどこかでゲツセマネを通ります。ですから、救い主が理不尽なことや落胆させられるようなことを経験し、迫害や不義、苦しみを受けられたのであれば、わたしたちは自らを主の真の弟子であり忠実な信奉者と認めるのであるかぎり、そのような事柄の幾つかを、経験しないで済むと考えることはできないのです。」

十二使徒定員会
ジェフリー・R・ホルランド長老、
“Lessons from Liberty Jail,” *Ensign*, 2009年
9月号, 31

ささげて純粋な愛をもって人に奉仕するとき、わたしたちは救い主に近づいて行きます。」主は自分の力以上に速く走ることも(モーサヤ4:27 参照)、自分にできないことを主の助けなしに行うようにも望んでおられないことを知って勇気を得たと、付け加えました。

これらの原則を知ってからというもの、ラシュトゥック姉妹はそれまで断食は苦手だったにもかかわらず、家族のための断食に加わるようになりました。そして、生活全般を変えようと考えられるようになったのです。

彼女はこう言います。「奉仕できる人を募る紙が教会で回って来るのを待つだけではなく、奉仕の機会を積極的に求めたいと思います。もっと良い訪問教師になりたいと思います。教会とは別に、住んでいる地域でも奉仕できる方法がないか探したいと思います。『時間があるだろうか』とか『自分にどんな影響が出るだろうか』などとまず考えるのではなく、『彼らのために何ができるだろうか』『彼らには何が必要なのだろうか』とまず考えるようになりたいと思っています。」

結論として彼女は、「わたしたちには救い主が必要ですが、救い主もわたしたちを必要としておられます。救い主は、助け合い、励まし合うことをわたしたちに望んでおられるのです」と言っています。

メキシコ、チワワに住むフランシスコ・サムエル・カブレラ・ペレスは、自分を悪い人間だとは思っていないと言います。16歳でバプテスマを受けて以来、戒めを守るよう、家族や仲間への義務を果たすよう努めてきました。しかし、この実験で救い主の生涯を研究してから、弟子として歩むということは単なる理論ではなく、実践すべきことだと思えるようになってきました。

救い主が説教の中で御自身を「命のパン」とお呼びになっているヨハネ第6章27-63節を研究していて、カブレラ兄弟は、自分にも多くの人と同じ傾向があることに気づきました。

自分の幸せをまず確保しようとする傾向です。

「わたしはいつも、義務を先延ばしにする『理由』つまり言い訳を一つかそれ以上探します」と説明します。「そのうちに」とか「明日には」とか、「急ぐ必要はない」などについて考えてしまうというのです。「このようにして、家族の成長を妨げ、経済的、社会的な発展、それに何よりも永遠の観点から見た成長を妨げてばかりいるのです。」

好きなことをしてから救い主に従うのは「弟子のような者」であって真の弟子ではないと彼は言います。御父の御心に従うという救い主の決意について読んで、カブレラ兄弟の決意も強固なものになりました。また聖餐を毎週取ることが「生まれながらの人を捨て」る助けになっていることがよく分かるようになってきました(モーサヤ3:19)。

「聖なる御霊の促しに従い、贖罪の力によって聖徒になれるようにしています。そのためには、キリストの特質を育む必要があります。子供のように従順で、柔和で、謙遜で、忍耐強く、愛にあふれた者となり、主の御心に喜んで従う必要があるのです」とカブレラ兄弟は説明しています(モーサヤ3:19 参照)。

生まれながらの人を捨てる努力をたゆまず続けたところ、カブレラ兄弟は天の御父とイエス・キリスト、家族、指導者、ほかの友人たちに対する愛が深くなったことに気がつきました。仕事もよくできるようになりましたし、何よりも、神の王国を建設するために何かをすることが苦しみではなく喜びになったのです。

「救い主の弟子として歩むことを以前は重荷だと思っていたのですが、今では主のくびきは負いやすく、主の荷は軽いと思えるようになりました」とカブレラ兄弟は言います(マタイ11:30 参照)。「これこそ、偉大な幸福の計画です。つまり、イエス・キリストに従い、キリストとともに今も永遠にわたっても喜びを味わうということなのです。」

イエス・キリストの
弟子として歩むということは、
時々行う活動にとどまらず、
生き方なのです。

どのようなことについても弟子として歩む

ナイジェリアのチオマ・N (15歳) は、もっと従順になりたいという望みがあり、その一環としてヨハネ第7章と第三ネエファイ第14章を研究しました。彼女は「嫌いなことをする、特に、疲れているときに台所をきれいにする」のが苦手だと自分でも認めています。しかし、「周りの人を愛する」ようになりたいという望みもあり、従順になることが、そのような愛を示す方法の一つだということに気づきました(ヨハネ14:15 参照)。

チオマは従順に関する救い主の教えを研究し、救い主が天の御父の御心に従ったことについて読んで、天の御父とイエス・キリストはわたしたちが罪を犯し、道を外れることが分かっていたために戒めを与えてくださったのだということに気がつきました。わたしたちが狭くて細い道にとどまれるようにするためです。また、従順にならなければ神の王国に入れないことも知りました。

「完全な人はいないものの、従順になるなら、だれでも完全を目指して努力できるのだということを知りました。そして、天の御父から恵みを頂けるよう、従順にならなければならないことを知りました。」

彼女は学校で従順の模範を示す機会を見つけました。当番でないときに、教室を掃除するよう頼まれたのです。

「頼まれたとおり教室を掃きなさいという聖霊の声に耳を傾け、わたしは謙遜けんそんになって従いました。学校の友達は驚きました。先生もです。このことがあってから、わたしは従順で謙遜な女の子として知られるようになりました。その1週間ずっとわたしが幸せだったのは、従順だったためです。」

ミッシェル・キールマン・ハンセンはグリーンランドで育ち、現在デンマークに住んでいます。彼女によると、どちらの国にも「人に親切にし、社会に貢献する」という文化があるそうです。



キリストのような生き方ができるようになったのは、多くの点で、暮らしてきた地域の土地柄のおかげだと言っています。

そのような土地柄でなければ、イエス・キリストの弟子として歩むということは、時々行う活動にとどまらずむしろ生き方だと人に理解させるのは難しいと彼女は言います。教会員でない二人のルームメートをはじめ同年代の友達にとって「教会にどっぷり浸かって」神殿に参入し、聖文を研究し、毎月断食するといった生き方は、たいてい理解し難いとも言っていました。不適切なメディアや下品な言葉などの悪い影響を世の中から受けると、弟子として生きることはさらに難しくなります。「このような影響があると、自分がほんとうにイエス・キリストの弟子だということを忘れないでいることはとても難しくなります」と言います。

道徳の標準がころころと変わるような世の中で生きる若者は大変だということをハンセン姉妹は認めています。善と悪の区別がはっきりとしていることもあれば、そうでないこともあります。しかし、時に複雑な状況に陥ることがあるにしても、聖文は簡潔明瞭だめいりょうと彼女は言います。

「イエス・キリストを知らなければ、キリストの弟子でいることは難しくなります。聖文はキリストについて知るための手段です。わたしはどう行動したらいいか分からないときには必ず、朝晩研究している聖文を自然と開いていました。〔救い主の〕生き方と教えを研究すれば、救い主がなされたことの根底には、わたしたち一人一人に対する愛があることがよく分かるように

ある会員はこう言っています。
「救い主の生涯を研究する度に、
救い主に似た者になる方法を
新たに見いだせます。
そして、救い主の模範に従うことで
学び続けるのです。」



なりました。

つまり、イエスについて学ば学ばほど、イエス・キリストの弟子であるということは、イエスがどのような御方かを知ることなのだとということが分かってきました。そのおかげで、わたしはイエスが教えられたような行いができるようになりました。弟子として歩むとは、どんな状況にあってもイエス・キリストならどうなさるかを知り、それを行うことです。だからこそ、イエスの教えを頻繁に研究することが大切なのです。」

どのような所にも弟子として歩む

アメリカ合衆国インディアナ州に住む、4人の子供の母親ステーシー・ホワイトは、隣人や友人、果ては見知らぬ人でもいいから、助ける機会が欲しくてたまらなくなりました。マタイ第25章35 - 40節にある「これらの最も小さい者」に仕えるのは、実は主に仕えることなのだ(40節)と救い主が教えておられる箇所を研究した週のことです。

「わたしは幼い子供を4人抱えた忙しい専業主婦なので、思うように奉仕できないというストレスを時々感じます。自分の家族の世話をするのに忙しくて、それ以上のことはほとんどできません」とホワイト姉妹は説明します。

ホワイト姉妹は先に述べた聖句を研究し、相互参照し、深く考え、奉仕する機会を求めて祈りました。「その週に感じたストレスは、母親の務めから来る通常のストレスのレベルを超えていると感じました。」もちろんこれは彼女が望んでいたことではありません。

「学校の活動を手伝わなければなら

ず、いつもよりさらに散らかった部屋を片付け、子供のけんかを仲裁しなければならず、しかも洗濯物の山はどんどん大きくなるように見えました。やることは幾らでもあり、いつまでたっても終わりそうにありません。自由な時間が欲しい、夫と子供以外の人に奉仕する気力が欲しいと心から祈ったのですが、答えは頂けないようでした。」

しかしそんなとき、週の半ばに、ホワイト姉妹はこんなことに気がつきました。家の外で奉仕する機会がないからといって、主が祈りにこたえておられないわけではなく、自分が有意義な奉仕をしてこなかったわけでもない、ということでした。

彼女はこう言っています。「主は自分の家庭で奉仕する機会を与えることによって、わたしの祈りにこたえておられたのです。自分の家庭の中の奉仕は奉仕に入らないと感じることが時々あります。奉仕と言えるためには、家の外で、家族以外の人に何かをしてあげなければならないと思うのです。しかし、奉仕に対する見方が変わったために、ベッドを整えたり、洗濯をしたり、子供の送り迎えをしたり、母親として日々の仕事をするに、以前よりもっと喜びが感じられるようになりました。自分の仕事がさほど平凡なものには見えなくなりましたし、家族に貢献していることが実感できるようになりました。」

ロシアのウラジオストクに住むデヴィマ・イワノフは、目の回るほど忙しいときに「弟子として歩む実験」に参加しないかと誘われました。イワノフ兄弟は会社を辞めて自営業を始めたばかりでした。それに、業務上の検討課題

をたくさん抱えていたので、弟子として歩むことを常に最優先に考えるのは難しいのではないかと思いました。

それでも参加することに同意し、しかも、弟子として歩むとは「教師の指示または助言に従順に従うこと」を意味すると思ったので、マタイ第5章と第三ニーフアイ第12章にある山上の垂訓をよく研究しました。

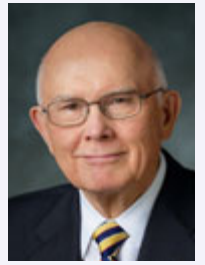
その説教の特徴を研究していてイワノフ兄弟が発見したのは、自分自身の弱点だったそうです。しかし、謙遜になれば弱さを強さに変えると救い主がおっしゃっていることを知って(エテル12:27参照)、イワノフ兄弟は主に頼り、成長する機会を求めました。

イワノフ兄弟は次のように報告しています。「救い主を身近に感じました。救い主が最も偉大な教師であられることを知り、もっと救い主に似た者になる方法も知りました。弟子として歩むとはどういうことかを学ぶうちに、救い主の生涯を研究する度に、救い主に似た者になる方法を新たに見いだせることがわかりました。そして、救い主の模範に従うことで学び続けるのです。学んだことは実践しなければなりません。」

弟子として歩むということに対する理解はその1週間で変わりました。彼の説明によると、「救い主に従うとは、ただ福音の原則を研究するとか、主の戒めに従うということだけではありません。」わたしたちはどこにいても、何をしていても、「主の模範に従おうと心から願い、主のようになりたいと望む」ことができるのです。■

メリッサ・メルは、アメリカ合衆国アイダホ州在住です。





真理と寛容の

バランスを取る

真理の存在と本質は、現世の基本的な疑問の一つです。イエスがローマ総督ピラトに、自分は「真理についてあかしをするために」世に来たと告げられたのに対して、その不信者は「真理とは何か」（ヨハネ 18：37 - 38）と問い返しました。以前に救い主は、「わたしは道であり、真理であり、命である」（ヨハネ 14：6）と宣言しておられました。現代の啓示の中で主は、「真理とは、現在あるとおりの、過去にあったとおりの、また未来にあるとおりの、物事についての知識である」と述べておられます（教義と聖約 93：24）。

わたしたちは神の存在や、正しいことと間違ったことが神の戒めによって定められたことを含め、絶対的な真理を信じています。神の存在と絶対的な真理の存在が、人々が信じようと信じまいと、この地上における生活にとって基本的なものであることを、わたしたちは

知っています。さらに、悪が存在し、明解かつ深刻で、永遠に間違っている事柄があることも知っています。

行動に対する寛容とは

両面を持つ硬貨のようなものです。

寛容または尊敬は硬貨の片側にありますが、

真理はいつももう片側にあります。

文明社会における窃盗と虚言の規模が増大しているという衝撃的な報告がありますが、それは道徳の欠如を表しています。多くの人の

善悪の感覚が鈍くなっています。西洋諸国がユダヤ教とキリスト教から伝統的に受け継いできた道徳的基盤が失われているのではないかと、多くの人に不安を与えています。¹

道徳的基盤を心配するのは良いことです。絶対的な善悪はなく、すべての権威とすべての行動の規則は人為的に選んだもので、神の戒めをしのぐ、という考えをもって教え行動している著名人がますます多くなっている世の中に、わたしたちは住んでいます。多くの人が神は存在するのかと疑ってさえます。

人はそれぞれ何が正しく何が間違っているか自分で自由に選べるという道徳的相対主義の考え方が、アメリカ合衆国やその他の西洋諸国で多くの人の私的信条となっています。極端な言い方をすれば、かつて限定的でできもののようには隠されていた悪事が、今は合法

化され、旗印のように誇示されています。この考え方に説き伏せられて若い世代の多くが、利己的な快樂、ポルノグラフィ、不正直、卑わいな言葉、露出度の高い服装、異教的なボディーペインティングやピアッシング、低俗な性の放縱に巻き込まれています。

多くの宗教指導者が、最高の立法者である神の存在を教えています。その神の定めによって、ある行いは絶対的に正しく真実で、また他の行いは絶対的に間違いで不正であるとされているのです。² 聖書とモルモン書の預言者たちは、人々が「神よりも快樂を愛する者」となり(2テモテ3:4)、また実に人々が神を否定するようになるこの時代を予見しました(ユダ1:4; 2ニーファイ28:5; モロナイ7:17; 教義と聖約29:22 参照)。

わ

わたしたちは
真理を擁護しなければ
なりません。
その一方で、
わたしたちとは異なる

信条や考え、またそれらを保持する人々に
寛容であり、敬意を示します。

この問題の多い状況の中で、神と神から出ている絶対的な善悪に関する真理を信じているわたしたちにとって、神を信じない、不道德の増している世の中に住まなければならないということは大変なことです。この状況の中で、わたしたちは皆、特に若い世代の皆さんは、立ち上がって、神が存在しておられることと、神の戒めによって確立されている絶対的な真理があることを断言する義務を負っています。

たくさんの学校や大学の教師たちが相対的な道徳を教え、実践しています。これが多くの若い人々の考えに影響を与えており、彼らとその教師に代わってわたしたちの子供たちの教師となり、またメディアと大衆娯楽を通じて公衆の

考えに影響を与える者となっているのです。この道徳的相対主義の考え方は、大勢の信仰深いキリスト教徒やユダヤ教徒、イスラム教徒が基本と考えている事柄を否定します。そしてこの否定はわたしたち全員に対して重大な問題を引き起こします。これに関して信仰のある人々が行うべきことが、わたしの対をなすテーマの2番目、「寛容」です。

寛容とは、なじみのない、または異なる見解と慣習、あるいはそれらを保持または実践する人々に対して友好的かつ公正な態度を執ることと定義されます。現代の輸送や通信手段のお陰で、わたしたちは様々な人々や様々な考え方により近く接するようになったので、寛容であることがもっと必要になっています。

この多様性に触れる頻度が増すことで、わたしたちの生活は豊かになり、複雑になります。様々な人々との交流で高められ、神の子供たちのすばらしい多様性に気づかされます。しかしまた、文化と価値観の多様性は、福音の文化と価値観に一致するものとして、どれを受容でき、どれを受容できないか見分けるといったチャレンジをもたらします。このように、多様性は対立の可能性を増し、寛容の本質についてもっと深く考えることが必要になっています。寛容とは何か、それをいつ示すか、いつ示さないか、です。

道徳的相対主義を信じている人々よりも、神と絶対的な真理の存在を主張する人々にとって、これらは難しい質問です。神を信じる信仰が弱いほど、また道徳の絶対性が少ないほど、ほかの人々の考えや慣習に寛容に対処するというチャレンジは少ないものです。例えば、無神論者はどの種類の、またどの場合の、神を冒瀆する言葉や神を汚す言葉を黙認し、どの種類に対抗するか決める必要はありません。神や道徳上の絶対的な真理を信じていない人々は、自分自身を最も寛容な人と見なすことができます。彼らには、ほとんど何でもありなのです。この考え方によれば、どのような行為も、どのような人も、ほとんど黙認できます。残念ながら、道徳的相対主義を信じている人々には、尊敬すべき神がおられ、守るべき道徳の絶対性があると主張する人々を許容することは難しいようです。

3つの絶対的な真理

わたしたちやほかの信仰を持つ人々にとって、寛容とは何でしょうか。それを生かす際に特にどのような大変なことがあるのでしょうか。3つの絶対的な真理から始めます。主



イエス・キリストに従う者は世の中にいながら世のものとなつてはならないので、世のものでないためにわたしたちを憎む人々に寛容を求めなければなりません。

イエス・キリストの使徒として申し上げますが、これらの考えはほとんど、信仰のある人々が一般に共有しているものだとわたしは信じています。

まず、人は皆、神の下で兄弟姉妹であり、互いに愛し合い善を行うよう様々な宗教で教えられています。ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910 - 2008 年）は、末日聖徒に対してこの考えを述べています。「〔様々な教派に属する〕わたしたちはそれぞれ、神の解釈については意見を異にしているかもしれませんが、神が父親であることを信じています。一人一人が大きな家族、人類家族、神の息子娘の一部であり、したがって兄弟姉妹です。信奉している教義と信条のいかんにかかわらず、わたしたちは互いに寛容を示し、もっと努力して相互尊重と忍耐の姿勢を構築しなければなりません。」³

ヒンクレー大管長が、寛容だけでなく「相互尊重」とも言われたことに留意してください。互いの違いを相互に尊重してともに暮らすことは、今日の世界における大変なことのひとつです。しかしながら——これは第2の絶対的な真理なのですが——違いを受け入れることが、イエス・キリストの福音で教えられていることなのです。

神の王国はパン種のようなものであると、イエスは教えられました（マタイ 13：33 参照）。パン種——イースト——は、全体がふくらむまで、すなわちその影響が大きくなるまで大きな固まりの中で姿が見えません。また救い主は、弟子たちがこの世では苦しみを受け（ヨハネ 16：33 参照）、その人数

と領域は少なく（1 ニューフェイス 14：12 参照）、世のものではないので憎まれる（ヨハネ 17：14 参照）とも言われました。しかし、それはわたしたちの務めです。わたしたちは、信仰や価値観を共有しておらず、わたしたちが引き受けている聖約上の義務を負っていない、他の神の子供たちとともに住むように求められています。わたしたちは世の中にいなければならないませんが、世のものとなつてはならないのです。

イエス・キリストに従う人々はパン種になるように命じられているので、わたしたちは、世のものでないということにわたしたちを憎む人々から許容してもらわなければなりません。世の一員として、自由な宗教活動に関する憲法上の権利を頼みとして、信仰を实践する自由を損なおうとする法律に異議を唱えることが必要な場合があります。大きな懸念事項は、「すべての教派の人々が彼らの肩越しに見る政府の助けなしに神や互いとの関係を築く能力」⁴があるかということです。これが、わたしたちが信教の自由のために戦わなければならないときに理解と支援を必要とする理由です。

わたしたちはまた、寛容であり、人に敬意を払わなければなりません。使徒パウロが語ったように、クリスチャンは「平和に役立つこと……を、追い求め」（ローマ 14：19）、できる限り「すべての人と平和に過ぐ」すべきです（ローマ 12：18）。すべての人の中に、また自分と異なる考え方や慣習の中にある善いものに敬意を払うように気を配るべきです。モルモン書ではこう教えられています。

「善いものはすべて神から出……る。

……したがって、善を行い、神を愛し、神に仕えるように誘い、促すものはすべて、神の靈感を受けているのである。

善いもので神から出ているものを、悪魔から出たと思わないように気をつけなさい。」(モロナイ 7:12 - 14)

様々な違いにそのように対処すると、寛容と尊敬の念がわたしたちに向けて生み出されます。

他の人々とその信条に、寛容と尊敬を示すからといって、わたしたちが理解している真理と交わした聖約に対する決意を放棄するということにはなりません。それが第3の絶対的な真理です。わたしたちは真理と誤りの戦争で戦っているのです。中道はありません。真理を擁護しなければなりません。その一方で、わたしたちとは異なる信条や考え、またそれらを保持する人々に寛容であり、敬意を示します。

行為に対する寛容

わたしたちは、他の人々とその信条に、彼らの立場を説明し主張する権利を含めて、寛容と尊敬を示さなければなりません。間違った行為を尊重し許容する必要はありません。真理に対するわたしたちの義務は、間違っている行為から離れるように努めることです。信仰の有無を問わず、ほとんどの人が間違っている、あるいは受け入れられないとする極端な行為の場合は、これは容易です。

それが悪いことかどうか信仰のある人々でさえ意見が一致しないような、それほど極端でない行為については、その許容性と範囲を定めることは困難です。そのため、ある思慮深い末日聖徒の女性は心配して、手紙にこう書いてきました。「世の中の定義ではますます、邪悪なライフスタイルを黙認することを『寛容』と言うようになってきたようです。」そして、主による寛容の定義を尋ねています。⁵

十二使徒定員会会長のボイド・K・パッカー会長は、こう述べました。「寛容という言葉は単独では使いません。寛容が美德となるためには、対象となる行為と示された寛容に対する返答が必要なのです。……寛容であるようしばしば要求されますが、その人たちから寛容を示されることは滅多にありません。寛容という言葉に留意してください。それは非常に不安定な美德です。」⁶

この靈感による忠告は、絶対的な真理を信じている人々にとって、行為に対する寛容は両面を持つ硬貨のようなもので



使徒パウロが教えたように、クリスチャンは「平和に役立つこと…を、追い求め」、できる限り「すべての人と平和に過ご」すべきです。

あることを思い出させます。寛容や尊敬が硬貨の片面で、その裏面が真理です。その両面を意識せずに寛容という硬貨を所持したり、使用したりすることはできません。

救い主はこの原則を応用されました。姦淫を犯して連れて来られた女性に向かって、寛容を示す慰めの言葉をかけられました。「わたしもあなたを罰しない。」次いで、彼女を去らせるに当たって、真理の厳しい言葉をかけられました。「お帰りなさい。今後はもう罪を犯さないように。」(ヨハネ 8:11) わたしたちは皆、寛容と真理の両方を語られたこの模範、すなわち言葉の優しさ、しかし真理の厳しさによって啓発され、強められるべきです。

別の思慮深い末日聖徒はこう書きました。「主の名がみだりに唱えられるのを何度も聞きました。また、何人もの知り合いから、ボーイフレンドと一緒に暮らしていると言われました。安息日を守ることがほとんどなおざりにされているのも見ました。この人々を怒らせないで、証人になるという自分の聖約を守るにはどうすればよいでしょうか。」⁷

わたしたち個人の行いから始めます。みだらな言葉を使うこと、同棲、安息日を破ることの3つの行為とその他多くのことについては、時々競合する真理と寛容の要求を適用する際に、わたしたちは自分自身に寛容であってはなりません。真理の要求に従わなければなりません。戒めと聖約をしっかりと守るべきです。不十分なときは悔い改めて改善するべきです。

トーマス・S・モンソン大管長は、このように教えました。「今日、罪はしばしば、まるで容認されているかのような装いを見せています。欺かれないでください。その装いの裏には、心痛、不幸、苦痛が隠されています。皆さんのいわゆる友人が明らかに間違っただけを強要しようとするなら、たとえ独り取り残されたとしても、皆さんが正しいことを擁護する人となってください。」⁸

同様に、わたしたちは子供たちやその他の人々に教える義務を負っています。その人々にとって、真理に対するわたしたちの義務は最も重要です。もちろん、教える努力は人々の選択の自由を通して初めて実を結びます。ですから、常に愛と忍耐と説得によって行わなければなりません。

次に、わたしたちの前で神を冒瀆する言葉を使ったり、婚姻関係にない人と一緒に暮らしていたり、安息日を正しく守らなかつたりする友人との個人的な関係における真理と寛容の義務についてお話しします。

寛容に対するわたしたちの義務とは、これらの行動に対して——あるいは真理から逸脱していると思うその他の行動に対して——不愉快な言葉や思いやりのない行動で反応してはならないというものです。しかし、真理に対するわたしたちの義務には、独自の要件と独自の祝福があります。パウロが教えているように、わたしたちは「おのおの隣人に対して、真実を語」るとき、また「愛にあって真理を語」るとき（エペソ 4：15、25）、主イエス・キリストの僕として行動し、主の業を行っているのです。天使たちはわたしたちの傍らに立ち、主はわたしたちを導く御霊を送ってくださいましょう。

この微妙な問題で、わたしたちがまず考えなければならぬのは、友人の行為に関して真実であると自分が知っていることを友人に話すかどうか、あるいはどの程度伝えるかです。ほとんどの場合、これを決めるのは、それによって直接どのような影響を自分が受けるかによります。

わたしたちの前でいつも神を冒瀆する言葉を使うなら、それは不愉快なことであると伝えるのは適切な理由となります。信仰のない人々がほかの場所で冒瀆の言葉を使う場合、恐らくその無礼な人々をわたしたちが相手にする理由にはならないでしょう。

わたしたちは同棲が重大な罪であることを知っています。末日聖徒は同棲に関係してはなりません。周りの人々が行っている場合、自分にかかわる行為となることがあります。すな

わち、許可や支援や住まいの提供を求められる場合です。真理と寛容のバランスについては、その行為が個人的にかかわりのないところでは寛容が優位になります。しかし、もし同棲に個人的にかかわり合っているのであれば、真理に対する義務に従うべきです。例えば、公になっていない重大な罪に目をつぶることや、彼らを自分の家に住まわせるなど、支援あるいは暗黙の承認を与えるのは、まったく別のことです。

恐らくわたしたちは、聖餐^{せいさん}を受けることを含め、安息日を守ることによって霊的な回復を得、その週の残りの日のためにもっと善い人になれるという自分の信念を説明するべきでしょう。次いで、ほかの教派の人々に、それぞれが神と絶対的な真理の存在を信じているので、たとえこれらの基本の定義に違いがあっても、最も重要な事柄について共通の基盤

わ

わたしたちは、
他の人々とその信条に、
彼らの立場を説明し
主張する権利を含めて、
寛容と尊敬を

示さなければなりません、
間違っただけを尊重し許容する必要はありません。

があるという事実に対して感謝を述べてはどうでしょうか。それ以上に、わたしたちは争いを避けるように（3 ニーフай 11：29 - 30 参照）、またわたしたちの模範や教えを説くことが「警告の声となるように、各人がそれぞれ隣人に、穏やかに、かつ柔和に警告するように」（教義と聖約 38：41）という救い主の教えを覚えておかなければなりません。

このすべてにおいて、わたしたちは、隣人や友人を裁いて



わたしたちは、他の人々とその信条に、彼らの立場を説明し主張する権利を含めて、寛容と尊敬を示さなければなりません、間違った行為を尊重し許容する必要はありません。

彼らの行為のもたらす最終的な結果を決めつけることをしてはなりません。その裁きは主のもので、わたしたちがすることではありません。

公の場における原則

信仰のある人々は、公の場で自分の信条に動機付けられた法律の作成や施行に影響を及ぼそうとすると、幾つかの異なる原則を応用しなければなりません。

第1に、イエス・キリストを信じている人々は、公の場に真理に基づく考えを持ち込む場合、選択眼と知恵を得よう主の靈感を求めて、法律や行政活動によって促したい正しい原則を選ぶようにしなければなりません。一般的に、礼拝行為を強要するなど、信仰のある人々に特有の信条を持つ

よう促す法律や管理行為を求めることは、たとえその含みがあるものでも、控えるようにすべきです。信仰のある人々は、単に自分の信条の履行を促すことよりも、公衆衛生、安全、道徳などに関する法律のように、より広範囲な原則に役立つ政府の活動を積極的に求めることができます。

どんな場合でも、信仰のある人々は、信仰の擁護者として、信教の自由を守る法律を求めることができますし、求めなければなりません。道徳的相対主義が勢いを増してきたことで、合衆国では、全体として公に宗教を重んじる気持ちが著しく低下してきています。かつてアメリカ人の生活に受容されていた宗教が、今や多くの人の心の中で疑いの対象となっています。彼らにとって、それは公共生活の一部としてその妥当性を証明しなければならぬものとなっているのです。宗教上の原則を実践し説く権利を含め、自由な宗教活動を憲法で保護すべき範囲について疑問を呈する著名人さえいます。

これは重要な問題です。人の行動に関して絶対的な善悪を確立された至高者を信じているわたしたちは、一致結束して、宗教活動の行使や、公共の問題に対して行う良心に基づく投票、行政や司法の場での選挙や討論への参加に関する古来の憲法上の権利

を主張しなければなりません。何であれ、宗教上の信条を主張し実践する自由を守り強化するために、他の教派の人々と肩を並べて立たなければなりません。この目的のために、同じ道を一緒に歩き、必要な場合に異なる信条に従って異なる道を追求するという自由を確保するようにしなければなりません。

第2に、信仰のある人々が公の場で自分の見解を広めようとする場合、その方法と主張は、信条を共有しない人々の意見と見解を常に許容するものでなければなりません。信仰のある人として常に愛をもって語り、敵対する人に忍耐と理解と思いやりを示さなければなりません。キリスト教の信仰を持つ人々は、隣人を愛しゆる(ルカ10:27)、赦すように命じられています(マタイ18:21-35参照)。「[わたし

たちを]のろう者を祝福し、[わたしたちを]憎む者に善をなし、[わたしたちを]不当に扱い迫害する者のために祈りなさい」という救い主の教えをいつも心に留めていなければなりません(3 ニーファイ 12:44)。

第3に、信仰のある人々は、道徳を法制化しようとして

宗

教上の信条を
主張し実践する自由を
守り強化するために、
他の教派の人々と
肩を並べて

立たなければなりません。

いるというおなじみの嫌疑を着せられて阻止されるようなことがあってはなりません。法律の多くの分野はユダヤ教とキリスト教の道徳に基づいており、何世紀もの間保たれてきました。わたしたちの文明は道徳に基づいており、それなしには存在できません。ジョン・アダムズはこう述べました。「我々の憲法は道徳と宗教を持つ民のためにのみ設けられた。それ以外の政府にとってはまったく不十分である。」⁹

第4に、信仰のある人々は、信仰の要件を実践するのに助けとなる公共の条項や政策を保持するために法律の制定を求めることをためらってはなりません。それらの条項や政策は、公衆衛生や安全や道徳にとっても好ましいものです。例えば、宗教上の信条が多くの刑法や家族法の背後にあるとしても、このような法律は民主社会で適法として長年受け入れられています。しかし、信仰のある人々が多数を占める所では、少数派の意見に常に敏感でなければなりません。

最後に、真理と寛容のバランスの精神は、ゴードン・B・ヒンクレイ大管長の次の言葉に伺えます。「わたしたちの教会の会員でない地域社会の人々に手を差し伸べましょう。親切

で寛大で優しい、良い隣人になりましょう。地域社会の良い活動に参加しましょう。様々な状況があるかもしれません。状態は様々でしょう。重大な道徳的問題が関係している場合、原則を曲げることはできません。しかし、そのような場合、無愛想であることなく丁寧に反対することができます。わたしたちが受け入れることのできない立場の人々の誠実さを感謝することができます。人柄ではなく原則について話すことができます。」¹⁰

塔の上の見張り人

聖書の教えによれば、預言者の働きの一つは、「見守る者」としてイスラエルに警告を発することです(エゼキエル 3:17; 33:7 参照)。主は啓示によって、現代のシオンのために次のようなたとえを加え、「見張り台」の上に「見張り人」を置き、「敵はまだ遠くにいる間に」敵を見つけて「滅ぼす者の手から……果樹園を救う」ために警告を発するようにしなさいと告げられました(教義と聖約 101:45, 54)。

わたしはその見張り人の一人として、御霊から告げられたテーマについて、皆さんにお話ししてきました。このメッセージが真実であることを断言します。わたしはイエス・キリストが神の御子であり、世の罪のために十字架に架けられたことと、主が御自分について学び、その道を歩むことによって主の平安を得るように永遠にわたしたち一人一人を招いてくださっていることを証します(教義と聖約 19:23 参照)。

2011年9月11日に行われた教会教育システムデイベーションより。話の全文は、lds.org/broadcasts/watch/ces-devotionals/2011/01?lang=jpn&vid=1178398156001 で日本語で視聴できます。

注

1. "Is the U.S. a Nation of Liars?" *The Christian Science Monitor*, 2011年7月19日付, 20; "Anarchy in the U.K.," *The Economist*, 2011年8月13日付, 144
2. *John Paul II: The Encyclicals in Everyday Language*, ジョセフ・G・ドンダース編(2005年), 212-213; ラビ・ハロルド・クシュナー, *Who Needs God* (2002年), 78も参照
3. *Teachings of Gordon B. Hinckley* (1997年), 665
4. エリック・ラスパツハ, ウィリアム・マクガーン, "Religion and the Cult of Tolerance," *The Wall Street Journal*, 2011年8月16日付, A11に引用
5. ダリン・H・オークスへの手紙, 1998年5月14日付
6. ボイド・K・バックナー, "Be Not Afraid" (オグデン・宗教教育インスティテュートでの講話, 2008年11月16日, 5; ブルース・D・ポーター, "Defending the Family in a Troubled World," *Ensign*, 2011年6月号, 12-18も参照
7. ダリン・H・オークスへの手紙, 1987年12月22日付
8. トーマス・S・モンソン, 「義の模範」[リアホナ] 2008年5月号, 65
9. チャールズ・フランシス・アダムズ編, *The Works of John Adams, Second President of the United States*, 全10巻(1850-1856年), 9:229
10. *Teachings of Gordon B. Hinckley* (1997年), 131

うそをつきたくなりました

ナイジェリアでわたしが礼拝に通っている礼拝堂は、ある学校の近くにあります。教会とは何のかかわりも持ちたがらない校長がいる学校です。あるとき校長は、一人の教師が末日聖徒であることを知り、その教師に向かって二度と学校に来ないようにと言いました。教会の使命を説明するために自発的に会いに行った教会員は拒絶されてしまいました。

それから、聞かれないよう祈っていた質問を聞かれました。「どちらの宗派ですか？」

研究所と医療機器の営業担当者として、わたしは学校や病院によく売り込みに行きます。成績不振だったある月の後に、この学校に行かざるを得ませんでした。商品を売って帰るだけのつもりでした。わたしが教会員であることを校長に気づかれないことを願いました。しかしながら、「校長はわたしの宗教について知りたがるでしょう」と御霊がわたしにささやきました。

学校の科学部門の責任者との商談はスムーズに行き、決済のため校長のもとに案内されました。校長は小切手を書いた後に、わたしももっと知り合おうと質問を始めました。立ち入ったことを聞かれるようになると、気が重くなってきました。その後、聞かれないよう祈っていた質問を聞かれました。「どちらの宗派ですか？」

うそをついて、小切手をもらい、帰りたくなりました。この売上げが何としても必要だったからです。でも、ほんとうのことを伝えるべきだと感じました。どう考えても、初期の聖徒が経験したことの方が、わたしのこの小さな信仰の試しよりも大変なはずでした。

勇気を取り戻して、校長の目をまっすぐ見ながら「わたしは末日聖徒イエス・キリスト教会の会員です」と言い、証を述べました。驚いたことに、校長はほほえんでこう言ったのです。「みんな、同じ神様をあがめていますね。」そして小切手を渡してくれました。

学校を出たときに、ある聖句が心に浮かびました。「さて、これは信仰にしっかりと立っている人々にとって大きな試練であった。にもかかわらず、彼らは確固として動かずに神の戒めを守り、また自分たちに加えられる迫害に辛抱強く耐えた。」(アルマ1:25)

天の御父や自分自身をがっかりさせずに済んでうれしかったです。この経験のおかげで、常に良い営業担当者であることを決意しました。もっと重要なことは、いつもイエス・キリストの福音の良い代表者であるということです。■

アデログバ・アデレミ(ナイジェリア)



食糧貯蔵の祝福

新婚のころ、妻のブリトニーとわたしは貯蔵用の食糧を買い始めました。結婚後しばらくの間、食料品を買いに行く度に貯蔵できるものを幾つか買いました。少しずつ足していくことで、実際に役立つほどの食糧の蓄えができました。いつ必要になるかは分かりませんが、食糧貯蔵が大切であることは分かっていました。

結婚して1年後、わたしたちは大学院のために遠くへ引っ越し、貯蔵していた食糧も持って行きました。経済的に厳しい状況でした。貯金は住居を確保するために使い果たし、実習生として教師を務めるブリトニーには収入がありませんでした。生活費はわたしの大学院での助手手当が頼りでしたが、それも十分ではありませんでした。

新居での2日目の晩、家計をさらに厳しくする出来事がありました。ブリトニーが激しい腹痛で目を覚まし、数時間たっても治まらなかったため、わたしたちは病院に行きました。その日、ブリトニーは盲腸を切除しました。

ブリトニーが回復した後、わたしたちは腰を下ろして予算を立てました。緊急手術を含む向こう4か月の支払いを計算すると、まだ何とか借金をせずにやっていけることが分かりました。ただし、そのためには食料品の購入を毎月わずか25ドルに抑えなければなりませんでした。それまで使っていた額の約4分の1でした。

過去1年間に蓄えてきた食糧が計り知れないほど貴重なものになりました。4か月間わたしたちの基本的な必要を満たすのに十分な量があったので、予算に組んでいた25ドルは牛乳など

傷みやすいものに使いました。豪華な食事はしませんでした。空腹にはなりませんでした。

儉約して生活し、進んでほかの人のために奉仕するとき、さらに祝福を受けました。学位を取得した友人に、家族の引っ越しの手伝いを頼まれました。手伝っていたときに、冷凍庫に残っている食料品を持って行かないかと聞かれました。友人の親切のおかげで、食糧貯蔵に肉を加えることができました。

食糧貯蔵を行い、^{じゅうぶん}自分の一を納め、進んで奉仕したいという気持ちを示すとき、主は祝福してくださいました。借金を一切せずにその期間を乗り切ることができました。その学期の後、妻はフルタイムの仕事を見つけ、わたしたちは食料品にもっとお金を使う余裕ができました。再び食糧貯蔵を行い、主の戒めに従うことで、引き続き祝福を受けています。■

ブルース・リチャーズ
(アメリカ合衆国、イリノイ州)

食糧貯蔵を行い、^{じゅうぶん}自分の一を納め、進んで奉仕したいという気持ちを示すとき、主は祝福してくださいました。



輪に加わりました

わたしたちは末日聖徒が大勢いる大きな都市から、合衆国南部の田舎にある人口5,000人の町に引っ越し、そこで7年以上暮らしました。新しい町での最初の日、金物店を出ようとしたときに10代の店員にこう言われました。「良い一日を、グラントさん。」
わたしは尋ねました。「どうしてわたしの名前を？」

店員は答えました。「町の新顔はあなたたちだけですから。」

わたしたちが見つけた家はプロテスタントの教会の向かいにあり、隣のブロックにもう一つプロテスタントの教会がありました。最寄りの末日聖徒の集会所までは45分かかりました。わたしたちは毎週日曜日、そして平日にも何度か集会所に出かけました。その7年の間に、夫はビショップリックで奉仕し、わたしは初等協会会長として、その後、若い女性会長として奉仕しました。

地域の教会が人づきあいの場であり、小さな町の中心であることは分かっていました。受け入れてもらうためには、かかわりを持たなければならないと思いました。まだ小さかった3人の子供はすぐにワードの子供たちと仲良くなりましたが、わたしたちは子供たちに自分が住んでいる地域との一体感も持ってほしいと思いました。ある教会で水曜日の夜に開かれていた家族の夕食会を含め、平日には地域の教会の活動に参加するように子供たちに勧めました。

わたしたちは息子と娘たちを地域の青少年のプログラムに参加させました。子供たちはまた、近所の両方の

教会で夏休みの聖書学校に出席しました。娘たちは地域の教会の青少年聖歌隊にも参加し、娘の一人は聖歌隊で独唱さえるようになりました。息子は地域の教会の青少年グループに参加しました。

布教活動に熱心な牧師が町を訪れて「モルモン」を批判する説教をすることがしばしばありましたが、隣人たちは、わたしたちがまったく牧師の警告するような人々ではないことを知っていました。

プロテスタントのある教派に属するこの地域一帯の教会は、毎年夏に青少年のキャンプをジョージア州セントサイモンズ島で開催していました。ある年、そのようなキャンプの後で牧師が説教壇から次のように言いました。「この夏、キャンプに行った青少年は、わたしたちの善良なモルモンの少女、ケリー・グラントだけでした。」

プロテスタントの隣人たちがわたしたちを受け入れてくれたのは、わたしたち

地域の教会が人づきあいの場であり、小さな町の中心であることは分かっていました。受け入れてもらうためには、かかわりを持たなければならないと思いました。



指針はわたしにも当てはまるでしょうか

が彼らを受け入れたからでした。わたしたちの標準や原則について妥協しなければならなかったことは一度もありませんでした。

子供たちの成長とともに、回復された教会についての彼らの証も成長していきました。ほかの教会で聖書の物語から学んだことを通して、子供たちは聖書とモルモン書の関係をより深く理解することができました。加えて、わたしたちの教会において神権が果たしている重要な役割を理解し、違いを感じるすることができました。

子供たちがデートをする年齢に近づいたとき、夫がジョージア州アトランタに転勤になりました。家を新しい所有者に売するための書類に署名したとき、わたしは涙があふれました。弁護士がわたしを抱きしめ、優しくこう言ってくれました。「ここにモルモンがいたことを否定する人なんて、だれ一人いませんよ。」

小さな町でプロテスタントの人々に囲まれて暮らした経験を通して、子供たちは寛容と忍耐と理解を示すことを学びました。信仰の異なる人々と共通点を見だし、それによって教会の使者としての役割を果たすことができました。そして聖霊と、神権と、救い主がわたしたち全員に対して抱いておられる深い愛の価値を理解するようになりました。

その7年間でだれも改宗に導くことはできませんでしたが、種はまきました。あの小さな町の人々と親こんにちしくなれたおかげで、わたしたちは今日、祝福を受けています。わたしたちと親しくなったことで彼らが祝福を受けられるように願っています。■

ナンシー・グラント
(アメリカ合衆国、ジョージア州)

慎み深い服装をするという選択を難しいと思ったことはありません。わたしは標準を重んじる家庭に育ちました。神殿で結婚してからというもの、ガーメントは慎み深い服装をすることの大切さを思い出させてくれました。

でも、水着を買うときには、ずいぶん悩みました。ガーメントの指針から外れ、知り合いから見られたら恥ずかしくなるような水着でも、着てみたいという思いに駆られたからです。

夫とわたしは、二人だけでクルージングに参加する計画を立てていました。このクルージングは、そのような水着を着る絶好の機会であると思いました。知っている人に会うことはないので、罪悪感を抱く必要もありません。だれもわたしが末日聖徒であるとは知らないはずです。また船に乗っている女性も皆、恐らく、わたしと同じような格好をしているに違いありません。

わたしはすでに結婚していましたが、実際のところ、控えめな水着を着なければならない理由はありませんでした。あるいは着る必要などないと思っていたのです。慎み深い服装をする対象となるのは、10代の若人だけではないでしょうか。しかし、わたしの心の奥底には後ろめたい気持ちがありま

した。わたしは神殿で結婚しました。ふさわしさを保ち、ふさわしい夫を見つけるとい目標を達成しました。また正しいことを選び続けたいと思いました。

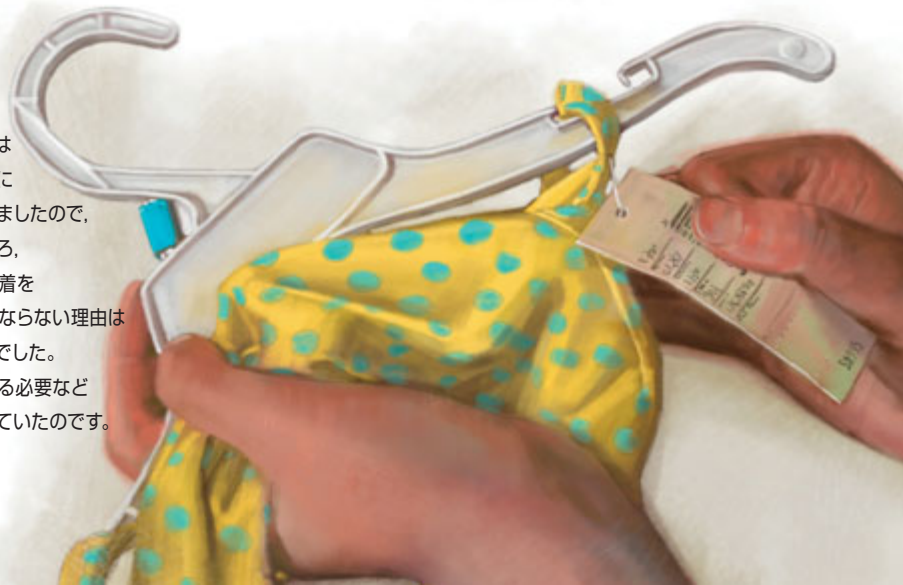
わたしは『若人の強さのために』の「服装と外見」の項目を調べることにしました。この小冊子に目を通すのは久しぶりでした。すると次の言葉が目飛び込んで来ました。「あなたは、自分の体がどれほど尊いか知っていることを、服装と外見を通して主に示すことができます。あなたは自分がイエス・キリストの弟子であり、主を愛していることを示すことができるのです。」([2011年], 6)

この言葉がわたしの頭の中で鳴り響きました。わたしはイエス・キリストの弟子だろうか。わたしは、いつでも、どのような所ところにいても、喜んで従っているだろうか(モーサヤ 18:9 参照)。

そのとき以来、わたしは、たとえ20代後半であっても、自分が若いころに学んだ原則を守り続けることにしました。それらの原則は、確かに、今のわたしにも当てはまります。わたしは子供たちに良い模範を示したいと思います。またわたしがイエス・キリストの弟子であるということと彼らに知ってほしいと願っています。■

ジュリー・レトナー(アメリカ合衆国、アリゾナ州)

わたしはすでに結婚していましたが、実際のところ、控えめな水着を着なければならない理由はありませんでした。あるいは着る必要などないと思っていたのです。



いつの時代にも 当てはまる**標準**

ロリー・フラー

善と悪の
どちらかを選ぶときに、
モルモン書に記されている
従順の模範から
どのような導きを得たか、
5人のヤングアダルトが
紹介します。

福音を学ぶとき、わたしたちは
早いうちから善と悪を見分
けるよう教わります。選択
には結果が伴うこと、従順は祝福をも
たらすこと、また義にかなった選択は
わたしたちを神へと近づけてくれること
を学ぶのです。10代のときに、わたした
ちは小冊子『若人の強さのために』
を渡されます。そこには福音に従った
生活の標準について明確に述べられて
います。

しかし世にあって世のものとならな
いよう努力しているヤングアダルトに
とって(ヨハネ17:14参照)、選択の
範囲や物事の標準がそれほど明確で
はないと思われることがあるかもしれ
ません。恐らく、選択をする際の中間
部分が広く、善と悪の区別がきわめて
あいまいに見えるからでしょう。

年を取るにつれて選択は難しくなる
ように思われるかもしれませんが、若
いときと同じ標準が依然として当ては
まります。従順の原則は不変です。
今、従順を選択することはこれまでと
同様に大切です。決定を下すときに、
わたしたちの時代のために記された
モルモン書の原則は、最善の選択が
できるようわたしたちを導き、最大の
祝福は最高の従順からもたらされる
ことを思い出させる力があります。

この記事で、5人のヤングアダルトが
これらの原則を応用する方法について
意見を述べます。

従順はわたしたちを神へと近づける

「わたしは何をすれば、……神から生まれ、……喜びに満たされ、終わりの日に捨てられなくて済むのか。……わたしは〔神〕を知〔る〕ように、自分の罪をすべて捨てます。」(アルマ22:15, 18)

神の言葉を聞いたとき、ラモーナイ王の父は神を知るために自分の罪をすべて捨てようとして決心しました。神の標準を学んだとき、神から離れないようそれらの標準に従おうと心に決めたのです。ほかのアンタイ・ニーファイ・リーハイ人とともに、天の御父と聖約を交わし守り、「二度と道を踏み外さなかった」のです(アルマ23:6)。

従順の原則は今日こんにちのヤングアダルトの生活にも当てはまります。インドのビジャイ・パサはこう述べています。「従順はわたしたちを神へと近づけてくれます。従順になることによって、心の平安、信仰、幸福、愛、そして楽観的な物の見方が得られます。福音によることなく、これらの祝福を得ることはできません。」

彼はこう続けます。「難しい決定を下さなければならないとき、聖霊が



わたしたちを導いてくれます。境界線がないと道を踏み外す危険の度合いは増します。聖約を守ることによって、境界線が明らかになります。これらの境界線によって、知らない道に引き込まれなくて済みます。おかげで、これまでに何度も、キリストを代表する者として、例えば、汚い言葉遣いなどを避けることができました。境界線を設けることで物事が明確になります。」

神は従えるように助けてくださる

「わたしは行って、主が命じられたことを行います。主が命じられることには、それを成し遂げられるように主によって道が備えられており、それではなくては、主は何の命令も人の子らに下されないことを承知しているからです。」(1ニーファイ3:7)

戒めに従うのは難しいと思うことが時にはあるかもしれませんが、しかし、天の御父はわたしたちが従えるようにいつも道を備えると約束しておられます。ニーファイのように忠実であろうと決心しているヤングアダルトは、天の御父に頼ることによって、忠実になるための強さと力を得ることができます。このことが自分の身に起こった経緯について、イギリスのダンカン・パーサーは次のように語っています。

「^{じゅうぶん}自分の一は収入の10パーセント

を納めるという境界線が設けられた戒めです。しかし、断食献金に関しては、どこまで従順になるかという点でかなりの融通性があります。

大学の授業料のために貯金をしていたとき、断食献金を納める心境になるのは、大変なことでした。断食日曜日のときは、断食献金を納めるべきか、また幾らぐらいが『惜しめない』献金になるのか判断するのに苦労しました。わたしは祈りに頼りました。そうするといつも、断食献金を納めるように促されただけでなく、そうしたいという気持ちをますます強く感じるようになりました。

主は確かにこの戒めを守る人を祝福して下さいます。また、戒めに従うとき、生活に困るという経験をしたことは、わたしの場合、一度もありません。福音に従った生活を送り、戒めを守り、自分は周りのすべての人に模範を示しているということに気づくとき、より善い人間になりたいという望みが増しますし、何をすべきかを主がわたしたちに示して下さいます。

主はわたしたちの益となるよう標準を与えて下さいました。わたしたちはどれくらいこれらの標準に従って生活するか、また従順になることで自分が変わるのかどうかを選ぶことができます。わたしの経験によれば、祝福は御霊の促しに従うときに与えられました。」

主はわたしたちが そのとおりに従うよう望んでおられる

「彼らはすべての号令に従ってそのとおりに行うように努めたのです。そして、実に彼らの信仰に応じて、そのようになりました。」(アルマ 57:21)

そのとおりに従うよう努力することで、イエス・キリストに従う人たちは、若い戦士たちがそうであったように、イエス・キリストのようになることが

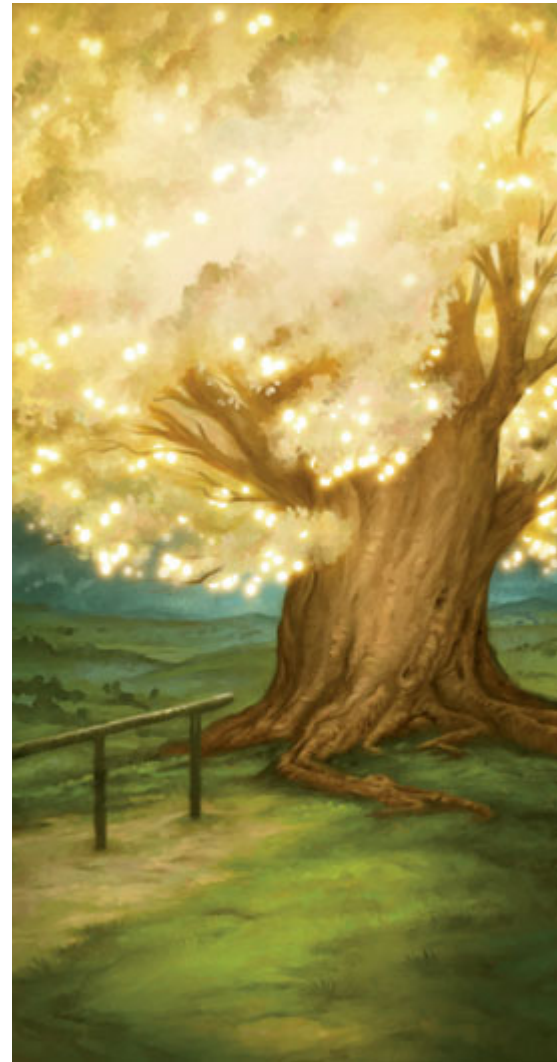
できます。しかし、救い主と天の御父はだれも完全ではないことを理解しておられます。過ちを犯したときには、悔い改め、改善するための方法を提供して下さいます。

「わたしは最愛の女性を失いました。純潔の律法をほんの少しだけ破っていたからです。」タイラー(仮名)はそう語ります。「しかし、純潔の律法を『ほんの少しだけ』破っても、純潔の律法を破っていることと同じなのです。わたしは従順によってもたらされる貴重な祝福をだんだん失っていきました。ですから生活の中に御霊がほしかったのです。

わたしは周りの人が『ビショップに相談する必要がなければ』やっても大丈夫と思っているどんな小さなことでもしたくありませんでした。わたしはこの律法を100パーセント守りたいと思いました。しかし従順であろうと決心するのが遅すぎたために、二人の関係を守ることができませんでした。純潔の律法を破ったために台なしになってしまったのです。

純潔の律法はわたしたちを守るためにあります。わたしたちの愛を制限するものではありません。わたしたちの愛を表現する究極の方法なのです。この律法を守ることによって、わたしたちはこう言っていることとなります。『わたしはあなたを愛しているので、あなたを尊敬し、神の戒めを守ります。わたしはあなたを愛しているので、わたしたちの生活の中心をキリストに置きます。』

シングルアダルトとして、わたしたちは『若人の強さのために』の中に記されている標準も与えられています。純潔の律法は、年齢や状況に関係なく、だれにでも同じように当てはまります。わたしはこの新たに得られた証に感謝しています。その証が救い主や永遠



モルモン書は
従順の原則を教えてください。
この原則は様々な決定を
下さなければならないとき、
鉄の棒にしっかりとつかまる
助けとなります。

の結婚の聖約を交わす将来の伴侶^{はんりよ}に近づけるよう、わたしを助けてくれるからです。」

厳格に従うことによって常に危険から守られる

「さて、レホンタイはその伝言を受け、山のふもとに下りて来ようとはしなかった。……さて、アマリキヤは、レホンタイを山から下りて来させることができないのを知ると、自分から山を登って行……った。」(アルマ47:11-12)

レホンタイは安全な場所にとどまろうと決心していました。しかし、ほんの少しだけ山から下りて、敵に譲歩してもかまわないだろうと判断しました。レホンタイは自分が主導権を握っていると確信していましたが、アマリキヤが「少しずつ……毒」をもらせた結果、死んでしまいました(アルマ47:18)。恐らく危険に気づくのが遅すぎたのでしょう。

合衆国コロラド州のクラウディア・Rは、自分がどのようにして安全な場所にとどまったのか話してくれます。

「社会は道徳の基準に関して中途半端になってきていると感じます。例えば、アルコールについてこういう声を聞きます。『一口飲んで死にはしない。』そのような正当化は、本質的に、理屈をもてあそんでいるだけです。そして一見無害と思えるそのような状況においてこそ、選択の自由が本当の意味で試されているのです。

ですから立ち止まり、確固として立つことができるようにならなければなりません。あることがあいまいな領域にあると判断して受け入れ、それが後で明らかに悪いものだと分かったとき、身動きが取れなくなることがあるからです。

ある人と楽しいデートをしたことが何度かありますが、あるとき車の中で

二人だけになったことがあります。そのとき彼はわたしを誘惑しようとしていました。彼が求めている行為が別の行為に結びつくことを知っていました。わたしはそうならないよう車の外に飛び出しました。

シングルアダルトとして、何がわたしたちの標準に反する場合は、態度を明確にする必要があります。例えば、ダンスをすると、当然のことながら、手を握り、抱き締め、キスをしたくなります。しかし、サタン^{サタン}の望みは、わたしたちをだまして、純潔の律法はあいまいな領域にあり、完全に従う必要はないと思わせることなのです。

わたしたちは、かつてないほど標準を確固として守る必要があります。難しい選択をしなければならなくなる前に決めておく必要があります。間違ったことが行われているときに、確固として立つ必要があります。現在の世の中で生きていくのは容易なことではありません。実に多くのことが周りで起こっています。しかし預言者と使徒たちはわたしたちに標準と指針を与えてきました。わたしは財布と同じ大きさの『若人の強さのために』をいつも携帯しています。そのおかげで困難な時期を乗り越えることができます。」

ほかの人たちがそうでなくても、わたしたちは従順になることができる

「たとえ彼らに慈愛がなくても、あなたにとっては問題ではない。あなたは忠実であったので、あなたの衣は清くされるであろう。」(エテル12:37)

将来の異邦人が祝福を授かるよう祈ったモロナイに、神は忠実であり続けることが最も大切だと言われました。忠実なヤングアダルトが世の中で自分たちの標準に従って生活するのはたやすいことではありません。しかし、周りの人たちが別の道を選んでいと

しても、より高潔な道を選ぶことができます。

ほかの多くのヤングアダルトと同様、韓国のビクター・キムも、自分の周りには標準の違う人たちがいることに気づきました。

「仕事で、同僚とわたしは一緒に食事に出かけることがありました。その度に同僚はお酒を飲みました。一緒に行かなければならないという大きな圧力があり、皆の誘いを断るのは容易なことではありませんでした。わたしがお酒を飲まないということを同僚が前もって理解していることをいつも確認したのですが、それでも強い信念を持ち、自分の境界線に対する確信を示さなければなりませんでした。

自分の経験から、明確な境界線を設けない人は現状に流され、最終的には、少しぐらい罪を犯してもかまわないと自分に言い聞かせる可能性があります。御霊に対して鈍感になり、何が間違っているか、またどうして間違っているか分からなくなる恐れがあります。

最終的には流されてしまいます。わたしたちの標準に合わなくても、友人の言っていることが理にかなっていると思うからです。しかし、中間はありません。結局のところ、自分が選ばなければならないのです。

いつも強い信念を持つうえで、良い友人を持つことは助けになります。互いに話し合い、信頼し合うことができます。そうすることで一緒に強い信念を持ち続けることができます。自分の標準を守るとき、安全だと感じます。神に守っていただくようお願いするふさわしさが得られます。従順であれば神が助けてくださるという信仰がわたしにはあります。」■

ロリー・フラーは、アメリカ合衆国アイダホ州在住です。

キリストの教会が 必要です

とんでもないそれが今の流行です。

教会機関誌

デビッド・A・エドワーズ

悪 魔の道具箱をのぞき込むことができるとしたら、人を墮落に導く精密器具、それに加えて、最も頻繁に使用されてきたに違いない効果的な道具が幾つか収められていることでしょう。

悪魔が最近ますます手にするようになってきた特別なこのぎりは、次のような巧妙なうその形をしています。「善人になり、霊的になり、イエスを愛するのに組織された宗教なんか要らないよ。どの教会もどうせ不完全で腐敗しているのだから。」

これは賢いだし方です。大きなうそを信じ込ませるためには、ほんとうのことを幾つか盛り込むのがいちばんだからです。確かに、わたしたちは神との関係を深めるべきであり、人は



不完全です。しかし、だからと言って、教会という概念そのものが誤っているということにはなりません。

このような考え方は間違っています。5つだけその理由を挙げましょう。

1. キリストは御自分の教会を設立された。 マタイ、マルコ、ルカ、そしてヨハネの福音書を読めば分かることですが、救い主の務めは、その多くが、人を召し、権能を授け、指導者となれるように訓練し、一つのグループとして働く方法を教えることから成り立っていました。十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は次のように教えています。「組織的宗教の必要性を否定する人は、時の中間に御自分の教会とその役員を設立し、現代にそれらを再び設立された主の業を拒んでいます。」¹

2. 教会は福音とその儀式をつかさどる。 救い主は、救われるためにはバプテスマと聖霊が必要であり（ヨハネ3:5参照）、福音を宣べ伝えこれらの儀式を行うための権能が定められているとはっきり教えておられます。オークス長老が言っているように、「神権の権能が必要であり、また、この権能はそれを持つ者の按手あんしゅによって授けられなければならないことは聖書により明白です。神権の権能は、仕えたいという望みや、聖文を読むこと

では得られませんでした。』²

3. 教会はわたしたちがより善い人間になるのを助ける。 七十人会長会のドナルド・L・ホールストロム長老は、最近このように教えました。「わたしたちには福音と教会の両方が必要です。……教会の目的は、わたしたちが福音に従えるよう助けることです。」³ 教会は不完全な人々から成り立っていますが、そのような教会の中にあっても、イエス・キリストにさらに似た者となることができます。教会を通じて、主の教義を学び、奉仕と個人的な成長の機会にあずかり、神と聖約を交わし、さらにはその聖約を更新することができるからです。

4. 一つとなることが大切である。 主はこう命じておられます。「一つとなりなさい。もしもあなたがたが一つでなければ、あなたがたはわたしのものではない。」（教義と聖約38:27）この一致は天の御父がわたしたちのためにお立てになった計画に欠かさない要素です。大管長会第一顧問、ヘンリー・B・アイリング管長はこう教えています。

「この世に来る前、わたしたちは御父と一致することで、その喜びを得ていました。天の御父の霊の子供であるわたしたちは、今もその喜びを切望しています。わたしたちを愛しておら



れる御父は、一致というわたしたちの神聖な望みがかなうよう願っておられるのです。

御父はその喜びを個別に与えることはなさいません。御父は、一致の喜びを与えることを強く望まれています、それは独りでは得られないのです。ほかの人と一緒に求め、ふさわしさを示さなくてはなりません。ですから、祝福を与えるという目的をもって、神がわたしたちに集まるようにと勧告されたのは、驚くことではありません。』⁴

5. 「組織された」という言葉は、「悪い」あるいは「腐敗した」という言葉と同意語ではない。 通常、ある人またはあるものが「組織された」という

言葉を用いるとき、それは褒め言葉です。しかし、どういうわけかこれが宗教となると、けなす言葉になってしまうのです。十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老（1926 - 2004 年）は、キリストが教会を組織されたのは、一つに、「一人一人の善良さも、ばらばらでは、悪との戦いに効力がないため」⁵であると語っています。主は次のように語り、この問題について分かりやすく説明しておられます。「見よ、わたしの家は秩序の家であり、混乱の家ではない……。」（教義と聖約 132：8）宗教こそまさに組織されたものであることが必要なのです。

悪魔が道具として用いるうそに出く

わしたとき、自分には福音に従った生活を送るのに役立つ道具があることを忘れてはなりません。すなわち聖典、聖霊の賜物、自分の証、そして現代の預言者を通じて啓示される真理という道具です。それらはイエス・キリストの教会を通して手に入れることができるものなのです。■

注

1. ダリン・H・オークス「二つの伝達経路」『リアホナ』2010年11月号, 85
2. ダリン・H・オークス「唯一まことの生ける教会」『リアホナ』2011年8月号, 50
3. ドナルド・L・ホールストロム「教会を通じて福音に改宗する」『リアホナ』2012年5月号, 14
4. ヘンリー・B・アイリング「一つに結ばれた心」『リアホナ』2008年11月号, 69
5. ニール・A・マックスウェル「なぜ引き延ばすのか」『聖徒の道』1975年4月号, 185

左—フォートライオン・クリスティーナ・スミス、右—キリストが教会を組織されたのは、一つに、「一人一人の善良さも、ばらばらでは、悪との戦いに効力がないため」であると語っています。主は次のように語り、この問題について分かりやすく説明しておられます。「見よ、わたしの家は秩序の家であり、混乱の家ではない……。」（教義と聖約 132：8）宗教こそまさに組織されたものであることが必要なのです。

「友人に心を傷つけられました。

ゆる
赦すべきだと分かってはいますが、

痛みを乗り越えるには

どうすればよいでしょう。」

友 人を赦し、傷ついた気持ちを捨て去るのが難しいことがあります。赦すには、また、傷ついた気持ちを乗り越えるには、憐れみあわが必要です。あなた自身の憐れみと主の憐れみです。あなたのなすべきことは、痛みを乗り越えようとするのではなく、赦そうとすることです。すなわち友人に憐れみを示そうとすることなのです（教義と聖約 64：8－10 参照）。そうするときに、主は、あなたがその助けを求めるならば、あなたに憐れみを示してください。主はあなたの傷ついた気持ちを、愛と平安に置き換えることができるのです。

友人と話してください。何が起ったのか理解しようと努めてください。友人はあなたの気持ちを傷つけるつもりはなかったということが分かるかもしれません。そうすれば、赦し、痛みを乗り越えるのがもっと容易になるでしょう。

たとえ赦すのが難しかったり、長い時間がかかったりしても、あきらめないことです。最終的には、友人に自分が赦していることを知ってほしいと願い、今でも友人でいたいと願うことです。友情という代償を払い、苦々しい思いを抱いているかぎり、真の赦しからもたらされる平安は得られません。

わたしたちは皆、救い主あがなの贖いに頼らなければ罪を赦されることではないということを忘れてはなりません。赦すことができるように祈ってください。また主が助けてくださるという信仰を持ってください。主は皆さんの心の痛みを癒す力いやを持っておられます。

主に裁いていただく

主に、ほかの人が行った有害な行為の裁き人となっていただくとよいでしょう。主がこう言っておられることを覚えておいてください。「主なるわたしは、わたしが赦そうと思う者を赦す。しかし、あなたには、すべての人を赦すことが求められる。」（教義と聖約 64：10）苦々しい思いを忘れるのは難しいことです。しかし、助けを求めて祈るならば、赦しには、ひどい傷を癒し、憎しみを平安と愛に変える

力があることに、そしてそれは神だけが与えることができることになると気づくことでしょう。

ヘネシス・H、16歳（チリ、アントファガスタ州）

すべての人を赦す



主イエス・キリストは苦しみのために、すべての毛穴から血を流されましたが、苦痛を克服し、十字架にかけられながら

も、赦す力を持っておられました。それができたのは、苦痛を感じなかったからではなく、御自身にとって、御父の御心みこころだけが大切だったからです。同様に、わたしたちにとっても、御父の御心だけが大切であり、御父はすべての人を赦すことを望んでおられます。たとえ傷の癒しに時間はかかったとしても、祈り、不当に扱った人を心から赦すことによって、苦痛を克服することができるのです。

アホウ・O、17歳（コートジボワール）

相手を愛する



痛みを処理する最善の策は、自分を傷つけた相手を愛することであると分かりました。だれかに傷つけられたら、できるかぎり相手のことを褒め、2マイルの精神で思いやりを示すようにして

います。そうすることで、心の中に怒りが募らなくて済みます。それどころか、怒りは完全に消え失せます。自分を傷つけた相手と自分との関係が深まります。

ケイティー・A、18歳
（アメリカ合衆国、ユタ州）

主の目を通して相手を見る

イエス・キリストは、わたしたちが罪を赦されるように、またわたしたち

が人を赦せるように、苦痛を経験されました。主の目を通して人を見る力が得られるよう祈るときに、わたしたちはその人のことをよりよく理解できるようになります。時間がたつとともに、苦々しい気持ちがなくなることに気づきます。

キンバリー・B, 18歳
(アメリカ合衆国, ネブラスカ州)

相手への赦しを感じられるように祈る



あなたとあなたの友人が互いに赦し合う勇気を持てるよう、愛にあふれる天の御父に祈ってください。自分を傷つ

けた相手を赦すのはキリストに似た行いです。赦すことによって、最も傷ついた感情すら癒されるのです。

リーハイ・E, 16歳
(アラブ首長国連邦, アブダビ)

慈愛を忘れない

ニーファイはこう教えています。「主なる神は、人は皆、慈愛すなわち愛を持つようにとの戒めを与えられた。」(2ニーファイ26:30) わたしにとって、慈愛とは友人から傷つけられたときに痛みを乗り越えるための最善の方法です。慈愛とは人の弱さを受け入れ、失望させられても忍耐し、相手はこちらの期待に反する方法で物事を処理しても、自らの衝動的な怒りを抑えることです。友人に対して慈愛があれば、祝福を受けます。

リーゼル・V, 21歳
(フィリピン, ネグロオクシデンタル州)

赦すことを学べるよう祈る

人を愛し赦す方法を身に付けるためには祈らなければなりません。赦しは非常に難しいこともあります。天の御父はいつでも喜んでわたしたち

を助けてくださいます。救い主がすべての人を赦すことによって示してください。模範を忘れないでください。コロサイ3:13にはこう書かれています。「互に^{たがい}に忍びあい、もし互に責むべきことがあれば、ゆるし合いなさい。主もあなたがたをゆるして下さったのだから、そのように、あなたがたもゆるし合いなさい。」真の赦しは過程、それも時として、長い過程となることがあります。しかし、心から赦す人は、大きな平安と喜びを感じることができるのです。努力すれば、きっと、苦痛から解放され、真の幸福を見いだすに違いありません。

レオナルド・L, 20歳
(アルゼンチン, ブエノスアイレス)

贖いを信頼する

イエス・キリストの贖いにはわたしたちの苦痛を取り去る力があります。このことに思いをはせるとわたしの心は喜びで満たされます。わたしたちは皆、つらい経験をすることがありますが、天の御父の言葉を固く信じ続けるならば、堪えるために必要な力が得られます。イエス・キリストは、兵士たちが御自身を十字架に釘^{くぎ}で打ちつけた

ときですら、天の御父に彼らを赦してくださいと願いました。主の心は、すべての人に対して、慈愛で満たされていました。主のもとに来て主の助けを願い求めるならば、主の無限の愛に抱かれることでしょう。

バージニア・M, 20歳 (ペルー)



救い主の模範に従う

「十字架上の最も苦しいときに発せられた救い主の言葉にそれを見いだせるでしょう。『父よ、彼らをおゆるし

ください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです。』(ルカ23:34) 自分が苦しいときに、このような願いを口にするのは難しいことです。自分が傷ついたとき、あるいは疲れているとき、いらいらしているとき、何の罪もないのに苦しめられているときに、このような赦しを実践するのは難しいことです。しかし、このようなときこそ、クリスチャンとしてどのような行動を取るかが最も問われるのです。」

十二使徒定員会 ジェフリー・R・ホランド長老
"Lessons from Liberty Jail,"
Ensign, 2009年9月号, 32

次回の質問

「神殿が遠すぎて、あまり頻繁に参入する機会が持てません。神殿がわたしの生活の中で、もっと大きな位置を占めるようになるには、どうすればいいでしょうか。」

あなたの意見を聞かせてください。2013年3月15日必着で liahona.lds.org に投稿するか、liahona@ldschurch.org まで電子メールをお送りください。下記へ郵送することもできます。

Liahona, Questions & Answers 3/13
50 E. North Temple St., Rm. 2420
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

掲載される際、誌面の都合上、あるいは^{めいりょう}明瞭な表現にするために編集されることがあります。

電子メールまたは手紙には、次の情報と同意文を必ず含めてください。(1) 氏名、(2) 生年月日、(3) ワードまたは支部、(4) ステークまたは地方部、(5) 意見と写真の掲載に対する同意文(18歳未満の場合は保護者が書いた同意文も必要です〔電子メール可〕)。



ライト……カメラ……

シェイクスピアの有名な劇「お気に召すまま」の中に出てくる「この世は舞台」という言葉を聞いたことがあるでしょう。このシェイクスピア劇の登場人物が言おうとしていることは、わたしたちは皆人生という壮大な劇の中で、それぞれの役を演じる役者だということです。では、お尋ねします。「人生におけるあなたの役割は何ですか。」もっと言えば「人生でどんな役割を果たしたいですか。」

デビッド・O・マッケイ大管長（1873 - 1970年）は次のように述べています。「思いは行いの種であり、行いに先立

自分の人生の筋書きを決めるのは
あなた自身です。

つものである。』¹ では、あなたの思いはどのようにして脳の中で人生の筋書きとなるのでしょうか。脳がコンピューターに似ていることは御存じだと思います。取り出すことができる情報は、入力したものに限られます。つまらない情報しか入力しなければ、そのような情報しか取り出すことができません。見たり読んだり聞いたりするもの一つ一つが、自分の人生の筋書きを決めていくことに気づく必要があります。

強烈なイメージとメッセージ

わたしはこれまでのほとんどの期間、広告の仕事に携わってきたため、メディアがどれだけ強力なイメージとメッセージを人々の心に植え付けるかを、つぶさに見てきました。よくできたテレビのコマーシャルの製作は、撮影期間が通常数か月間ではなく数日間だということを除けば、ハリウッド映画の製作にそっくりです。

メディアキャンペーンのために多くの時間を費やして調査と計画を行った後、ハリウッドからカメラマンを、イタリアからモデルを、ニューヨークから音楽プロデューサーを呼びます。そして撮影が始まります。^{あらし}嵐のような撮影スケジュールをこなした後、あらゆるメディアで広告キャンペーンを開始します。それは魅力的で、おもしろく、楽しい仕事でした。

中央若い男性会長会
第二顧問
エードリアン・
オチョア



アクション!

この経験から、インターネットやテレビ、雑誌などで目にする広告は決して現実のものではないと断言できます。皆さんが目にする映像や画像は、広告する商品の人々に買ってもらうという意図のもとに作られた単なる芸術作品です。そのため、わたしは信頼のおけない商品の広告を引き受けたことは一度もありませんでした。ほとんどの人は広告に関するこの事実を理解していますが、この一般的な原則は、映画やテレビ番組、ウェブコンテンツ、携帯電話のコンテンツ、コンピューターゲームにも当てはまります。これらの製作の裏には、必ず計算されたメッセージと動機が隠れているのです。

強力な守り

サタンは、神の戒めを破るようわたしたちを欺き導く目的でメディアを用いるため、皆さんは確固とした決意をもって『若人の強さのために』の中の次の勧告に従うべきです。「メディアを利用するときには賢い選択をしてください。なぜならどのようなものであれ、あなたが読み、聞き、目にするものは、あなたに影響を与えるからです。心が高揚されるメディアだけを選んでください。」²

この世にいるのは、実際は、信仰を育み、試しを受け、学び、幸せになるためであるということを覚えておいてく

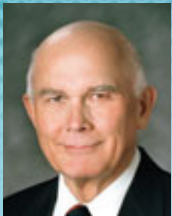
ださい。キリストの真の教会の会員であるあなたには、強力な助け手があります。目の前のものが正しくないときには警告してくださる聖霊の力があります。また、あなたには選択の力が与えられていて、自分が何をを行い、何を行わないかを選ぶことができます。

時折、賢明でなく誤ったコンテンツを視聴してしまうことがあるならば、今変わろうと決意してください。このような悪い選択により御霊を感じる力が弱まっているならば、ひざまずいて力と赦しを天の御父に祈り求めてください。それでも問題がある場合は、両親やビショップに助けを求めてください。話をすることを恥ずかしく思ったり、怖く感じるなら、なおさら話す必要があります。勇気と謙遜ゆるにより問題を克服することができます。そして、悔い改めから生じる栄えある平安と喜びを感じることができるでしょう。

あなたは単なる舞台俳優ではありません。あなたは、良いメディアと悪いメディアが入り混じった、試しの期間であるこの世に生きる神の子供です。正しいコンテンツを自分の霊に与えるならば、人生における役割は幸福なものとなり、輝く光となって人々を助け、導くことができるでしょう。わたしたちは常に暗闇くらやみに取り囲まれています。あらゆる善と光の源へと導いてくれる、永遠の明るい道が必ずあります。■

注

1. デビッド・O・マッケイ
『神権の義務と祝福』283
2. 『若人の強さのために』(2011年)、11



時間を費やす価値があるだろうか

「テレビを見たり、ビデオゲームをしたり、インターネットで様々なサイトを閲覧したり、本や雑誌を読んだりするという選択肢に費やす時間をどのように使っているか考えてみてください。もちろん、健全な娯楽を見たり、興味深い情報を得たりすることは良いことです。しかしそのようなことすべてが、そのために費やす時間に値するわけではありません。それより良いことがあり、最も良いこともあるのです。」

十二使徒定員会 ダリン・H・オークス長老
「良いこと、より良いこと、最も良いこと」『リアホナ』2007年11月号, 105

ビデオゲームの 依存症になる

匿名

13歳の誕生日に、わたしは母からビデオゲームをもらいました。ビデオゲームは自分には目新しく、またそのゲームはグラフィックが優れていてとてもおもしろいものでした。学校の休み期間だったため、わたしはできるだけ早くゲームを終えて、もっと友達と外で遊ぶ時間を作ろうと思っていました。

ある木曜日の午後、新しいビデオゲームで遊び始めました。ふと気づくと、もう真夜中になっており、まだ夜のお祈りもしていませんでした。それでもゲームを続けました。

事態はどんどん悪くなる一方でした。翌日起きると、何よりも先にゲームのスイッチをつけてまた遊び始めました。ゲームに夢中になるあまり寝食を忘れ、どうすればゲームの次のレベルに進めるかだけを考えていました。

土曜日の夜、早く寝ないと翌朝教会に行くために起きられなくなると母から注意されました。それでもわたしはゲームを続け、翌朝3時まで起きていました。教会に着いても、とても疲れていたため集中できませんでした。聖餐せいさんを配ることもできず、家に帰って疲れ切ったまま寝てしまいました。

日曜日の間中眠り続け、月曜日の朝にようやく起きたものの、またゲームを始めました。その週こそは十分に睡眠を取るために早く寝なければいけないと分かっていたのですが、やはりビデオゲームをして時間を無駄に過ごしてしまいました。聖典を読むよりも多くの時間をビデオゲームに使い始めました。実際、数日間聖典を読んでいませんでした。学校がまた始まると、週日にゲームをするのを母に禁じられたため、週末を利用してゲームをしました。日曜日にもしました。

日曜日の礼拝行事に出席しなくなったわたしは、ビデオゲームという

大して重要でないもののために、ほんとうに大事なことをするのをやめてしまいました。「つまらないものためにほんとうに大事なものを捨ててはいけないよ」という祖父の昔の勧告にそぐわないことをしていたのです。この勧告がずっとわたしの頭から離れませんでした。

わたしは生活のバランスを取らなければならないことに気づきました。役立ったのは、セミナーのクラスでした。わたしの中学校では、セミナーが日課の一部として設けられていたため、とても役に立ちました。そのおかげで、わたしは正しい優先順位を定め、主を何よりも優先することができました。主を信頼し、生活の何らかの側面について心の底から主に助けを祈り求めるならば、主はその祈りを聞いてくださいます。変わりたいと心から願うならば、変わることができるのです。

幸い、わたしは大きな問題に発展する前にゲームをやめることができました。優先順位を正しく設定し、ゲームに費やす時間を制限するだけで十分でした。しかし、主に助けを祈り求め、主から助けを頂いて初めてそうすることができたのです。■

徳質 に焦点を当てる

永遠の徳質を育むことにより、
天の御父が望んでおられる人になることができます。



十二使徒定員会
ラッセル・M・
ネルソン長老

皆さんが日々の生活の中で
焦点を当てるべき

いくつかの徳質についてお話ししたいと思います。

若い女性の皆さんはそれらの徳質を

よく知っているでしょう。

そして若い男性の皆さん、これらの徳質は

若い女性のためだけのものではありません。

若い女性と同じように若い男性の皆さんも

注意を向ける価値のあるものなのです。

信 仰

若い女性の徳質の一つ目は、信仰です。実際、信仰は福音の第一の原則です。愛にあふれた天の御父とその愛子、主イエス・キリストを、皆さんの信仰の中心としてください。また、神の救いの計画に対する信仰を絶えず強めてください。

神の戒めが、皆さんに祝福と喜びをもたらすために与えられたことを理解し、神のすべての戒めを守るために信仰を育むことは重要です。守る戒めと無視する戒めを選ぶ人に出会うかもしれません。このように戒めを取捨選択しては祝福と喜びはもたらされません。惨めな状態に陥るだけです。神にお会いする用意をするには、すべての戒めを守る必要があります。主の戒めに従うには信仰が必要です。そして、主の戒めを守ることによりその信仰が強められるのです。

神から受け継いだ特質

若い女性の徳質の2つ目は神から受け継いだ特質です。神から受け継いだ特質とは、「わたしは神の子です」の大人風の言い回しです。皆さんの中には神から受け継いだ特質が備わっています。天の御父が皆さんを造られたのです。

自分の心臓に感謝したことがありますか。

心臓の働きについて考えてみてください。心臓は、鉄道タンク車1台がいっぱいになるだけの血液、すなわち約7,570リットルの血液を毎日送り出しています。心臓の中には4組の弁があり、毎日10万回、1年に3,600万回開閉を繰り返していますが、壊れません。紙やプラスチック、金属、鉄などの人工の物資は、そのように頻繁に何度も開閉を繰り返すと必ず壊れてしまいます。体内の臓器はともよく設計されており、その機能もまたすばらしいものです。

水中を息継ぎなしで泳ごうとすると、あまり長く泳ぐことはできません。なぜ皆さんは息を吸うのでしょうか。首にある二つの小さな計器が二酸化炭素を測定しており、「二酸化炭素の量が多すぎます。二酸化炭素を放出してください」というような信号を脳に送ります。すると、その人は水面に出て息を吐き、二酸化炭素を出すのです。

皆さんの肉体にはなんとという能力が備わっているのでしょうか。肉体を大切にしてください。神が与えてくださったこのすばらしい創造物が元来持っている美しさを汚すようなことはしないでください。

個人の価値

若い女性の次の徳質は、個人の価値です。イエス・キリストの忠実な弟子は、献身的な神の息子、娘となるでしょう。自己中心的であることよりも義にかなった人物であることに心がかり、人を支配するよりも思いやりを示すことに意欲的で、人気を得るよりも高潔になろうと努めるのです。

皆さんは、自分に計り知れない価値があることを知っています。実際、教会の忠実な若い女性は、個人の価値が最も大事な徳質の一つだと宣言します。「計り知れない価値を持つわたしは、神から授かった使命を果たすように努力します」(『若い女性 成長するわたし』, 29)と宣言するのです。同じことが若い男性にも言えます。すべての神の息子および娘は、神から授かった使命があるため、計り知れない価値を持っています。





個人の価値には、個人として信仰を育むことも含まれています。だれもあなたの代わりにあなたの信仰を育むことはできません。モンソン大管長やほかの英雄のような信仰を願うことはできますが、そのような信仰を育むのは自分自身です。間違いを犯したとき、個人としてこれらの過去の問題を悔い改めます。皆さんは、個人としてバプテスマを受け聖霊の賜物を受けました。つまり、個人として聖約を交わすのです。これらの救いの儀式はすべて個人的な事柄です。

教会員が受けられる最も素晴らしい儀式と祝福は神殿の中にあります。神殿の中でエンダウメントや、親子、伴侶、先祖との結び固めの儀式を受けます。昇栄の儀式はすべて家族につける事柄です。その違いがわかるでしょうか。救いのための儀式は個人個人のものであり、昇栄のための儀式には複数の人がかかります。

知 識

次の若い女性の徳質は、知識です。この教会では、教育を受け知識を得ることは宗教的な責任です。知性を磨き、いつかほかの人のために価値ある奉仕ができるようにするのです。教育を受けることにより、善いことができたと願う人から善いことを行える人になれます。

医者になることについて人に聞かれることがよくあります。「何年学校に行ったのですか」と聞かれます。長い期間です。医学の学位を取得してから、医者として提供した医療サービスの対価をもらうまでには12年半かかりました。長い期間でしたが、もしその期間をそのように過ごしていなかったとしたら、12年半後にわたしは何歳になっていたでしょうか。それでも同じ年齢です。皆さんも、最高の自分になれるよう努力してください。

医学の教育を受けたおかげでわたしは1972年にスペンサー・W・キンボール大管長(1895 - 1985年)の心臓手術に携わること

ができました。ですから、知識を過小評価してはなりません。神の栄光は確かに英知なのです(教義と聖約 93:36 参照)。

選択と責任

次の若い女性の徳質は、選択と責任です。これは「選択の自由」を言い換えた言葉です。選択の自由は生活の一部です。なぜなら、天の御父はわたしたちが自ら行動し、なりた人物になれるよう望んでおられるからです。

選択と責任は、自分のすべての選択について、その結果に対する責任を負うのは自分自身であることを教えています。ですから、わたしたちは責任ある決定を下さなければなりません。身に着けるネクタイが青か赤か、またはドレスが紫か緑かはおそらく大して重要な選択ではないでしょう。しかし、自分の選択が、主と主の方法に倣った生活に近づくのか遠ざかるのかは、重要な問題です。では、わたしたちが皆さんに主の方法に倣うよう勧告し、求めるのはなぜだと思いますか。なぜなら、それこそが幸せになる方法だからです。

善い行い

次の若い女性の徳質は、善い行いです。この徳質は、人々を愛されたイエス・キリストの人生に倣ったものです。主は愛を示すために、人々に仕えられました。わたしたちはだれかを愛するとき、善い行いをしてその愛を示します。ですから、仕えることを学びましょう。人々の必要を見だし、必要を満たしましょう。思いがけない善い行いをしてだれかを驚かせましょう。その機会は、家庭や学校、教会にあります。

中央幹部として初めてアフリカに行ったときのことを覚えています。同行したのはラッセル・C・テイラー長老でした。毎朝わたしが目を覚ますと、テイラー長老がすでにわたしの靴を磨いてくれていました。テイラー長老はわたしの靴を磨く必要はありませんでしたが、

「愛している」という気持ちを表すために磨いてくれたのです。

誠実

若い女性の次の徳質は、誠実です。誠実 (*integrity*) という言葉は、「完全な」という意味を持つ *integer* という言葉から派生しています。医学では、心臓の構造的完全性 (*structural integrity*) という言葉を用います。ですから、例えば心臓に傷が生じたなど、何か正常でないことが起こったときに、完全性 (*integrity*) が失われた、と言います。本来の機能を失ってしまっているのです。人間に置き換えてみると、誠実さとは、信頼のおける人物、つまり頼れる人物であることを意味しています。

聖典の中に、預言者ジョセフ・スミスの兄ハイラムが「心が高潔である」 (*integrity of his heart*) (教義と聖約 124 : 15) ために主から愛されたと記されています。主は肉体の心臓 (*heart*) について語られたわけではありません。ハイラムの霊の誠実さについて語られたのです。

徳

最も新しい若い女性の徳質は、徳です。徳 (*virtue*) はすばらしい言葉です。あなたにとって徳はどのような意味を持っていますか。徳は「清さ」を意味しています。しかし、ほかにも意味があります。新約聖書の中で、長血をわずらっていた女性が救い主の衣のふさに触れた話を覚えているでしょうか。救い主はこうおっしゃいました。「だれかがわたしにさわった。力 (訳注 — 英語では “*virtue*” [徳]) がわたしから出て行ったのを感じたのだ。」 (ルカ 8 : 46) この場合の *Virtue* には別の意味があります。ギリシャ語では *dunamis* という言葉が使われています。これは、“*dynamo*” (ダイナモ) や “*dynamite*” (ダイナマイト) の語源となった言葉

です。「力」という意味です。若い男性と若い女性の皆さんに、この両方の徳を身に付けてほしいと願っています。

最高の自分になる

知識は力を、清さは力を、愛は力をもたらします。わたしたちは皆さんに、主が望まれている最高の自分になる力を身に付けていただきたいと思います。皆さんは成長し、変化しています。そして、皆さんが最終的にどのような人物になるかについて責任を負うのは皆さん自身です。

家具のセールスマンであろうと、外科医であろうと、弁護士であろうと、建築士であろうと、かまいません。自分に合った価値ある職業であればよいのです。ほんとうに重要なのは、どのような人物になるかということです。

次のように自問してみてください。わたしは高潔だろうか。清いだろうか。愛があるだろうか。思いやりがあるだろうか。これらの属性は、測ることができません。若い女性の徳質の属性について考え、それによって生活するならば、最高の自分になるうえで役立つでしょう。■

2011年11月にケニア、ナイロビの青少年に向けて語られた説教から。





セミナーの先生も忙しかった

フィリピンには、学業をとっても重視する理系の高校があります。このような学校の生徒たちは、通常よりも多くの教科の授業を取り、より長い時間教室で過ごし、たくさんの宿題を抱えています。わたしも若い女性のころ、このような環境にいました。

高校に入学すると、勉強にたくさんの時間を費やすことが分かっていたので、たくさんの活動をあきらめました。教会の活動にはほとんど出席せず、学校行事のために日曜日に教会に行かないこともよくありました。また、セミナーに出席するのも苦労しました。

ある土曜日、セミナーの先生が高校時代にどんなに忙しかったかを話してくれました。そんな

スケジュールの中でも、先生は図書館でセミナーの宿題をこなしマスター聖句を勉強しようと努めたそうです。わたしは、同じようにしてみないか、という先生のチャレンジを受け入れることにしました。マスター聖句カードを常に持ち歩き、自由時間に読み返しました。セミナーの学習と、学校から求められる事柄のバランスを取れるよう助けを祈り求めました。通学中に聖句を暗記しました。友達とのおしゃべりの最中にカードを取り出すこともありました。休み時間や昼休みに、友人は楽しみながらマスター聖句カードのクイズを出してくれました。中には、自分の聖典を持って来て自分の教会の活動について話し始める友人もいました。わたしは周りの雰囲気に変化を感じ、学校がもっと楽しく良い場所になったように思いました。

3人の妹もわたしと同じ道をたどり、わたしの家族は今、家庭で聖文の祝福を受けています。マスター聖句の学習はとても簡単なことでしたが、暗記した言葉よりも重要なのは、聖文がわたし自身と周りの人にもたらす違いを学べたことです。どのような試練や困難に直面しようとも、わたしたちは常に愛に満ちた救い主の言葉に、力と導きを見いだすことができます。

マリア・アムカ(フィリピン、メトロマニラ)

最上の言葉遣い

祈るときも、証^{あかし}を伝えるときも、神聖な聖餐^{せいさん}を祝福するときも、話すときに使うのと同じ口を使うため、わたしたちは、言葉遣いを

清く汚れないものに保てるように注意を払う必要があります。わたしたちの話し方は、自分の人となりや自分が送っている生活を映し出します。使徒パウロはこう述べています。「悪い言葉をいっさい、あなたがたの口から出してはいけない。必要があれば、人の徳を高めるのに役立つような言葉を語って、聞いている者の益になるようにしなさい。」(エペソ4:29)

天の御父の御名をみだりに唱えるならば、天の御父を怒らせてしまいます。

不敬な言葉を使うことの反対は、祈ることです。祈るとき、わたしたちはできるだけ最上の言葉遣いをします。わたしたちを愛してくださっている天の御父と話をする際、清さ^{けんそん}と謙遜さをもってそうすることが不可欠です。このようにしてわたしたちは導きを得、

福音が自分の生活にもたらしている計り知れない祝福を、

見て取ることができるようになるのです。

ハレド・ロドリゲス(アメリカ合衆国、メリーランド州)



新しい友達を作る

昼ご飯を食べるために友達とテーブルに着いていると、マイケルという新生の男子が今度から同じ昼食時間になったことに気づきました。マイケルは知り合いがないものの、新しい友達を作りたいと思っている様子でした。マイケルは年上の男子たちのグループと一緒に座ることにしましたが、男子の子たちは少しかけのふりをした後、マイケルをからかい始めました。ずっとからかい続けていると、とうとうマイケルは泣き出してしまいました。その様子を見ていたわたしは、嫌な気分になりました。後で

分かったことですが、マイケルは自閉症でした。

わたしはマイケルに、わたしの友達とわたしの隣に座らないかとたずねました。マイケルは「座らない」と言いました。たぶん、またからかわれるのではないかと恐れていたのでしょう。マイケルは独りで座ることにしました。

翌日、わたしはマイケルのところに行き、マイケルを友達に紹介しました。わたしが諦めなかったことがマイケルにはうれしかったようで、わたしたちは話を始めました。そのうちにマイケルが三目並べゲームがとても強いということが分かりました。また、彼が非常に賢いことも分かりました。マイ

ケルは歴代のアメリカ合衆国大統領を全員知っており、その在任期間も言うことができました。マイケルはすばらしい人でしたが、彼の障がい以外のものに目を向けようとする人は多くありませんでした。マイケルと一緒に座るわたしをからかう生徒もいましたが、わたしは気にしませんでした。マイケルと一緒に過ごすのが好きでした。

毎日一緒に昼食を取り、マイケルが次第に明るくなっていくのが分かりました。マイケルは毎日昼食の時間を楽しみにしていましたし、わたしもそうでした。ただ奉仕の行いと思っていたことが、実際にはすばらしい友情の始まりでした。ローラ・ポッツ(アメリカ合衆国イリノイ州)



質問に答える

救いの計画

について

教会機関誌
マイケル・R・モリス

「それで、モルモンは結婚についてどんなことを信じているんですか」と高校のスペイン語の先生が尋ねました。

クラス中がわたしの方を向いて答えを待っていました。一体全体ドン・キホーテとダルシネアの恋の話が、どうしてデートや結婚の話題に移ってしまったのか、息が詰まりました。

クラスにはほかに教会員はいませんでした。何をどこまで話せばよいのでしょうか。永遠の結婚について話したら、からかわれるでしょうか。

「ええと……」と口ごもりながらも、まだ何と言っていいか分かりませんでした。

そこへ友人のデニースがこんな助け舟を出してくれたのです。「モルモンは素晴らしい結婚観を持っています。神殿という場所で行われた結婚は永遠に続くと思っています」と彼女は言いました。

「それは実に素晴らしい」と先生は言ってくれましたし、クラスメートたちですら納得したようです。

おかげで授業は再開しましたが、教会員ではない友人がやすやすと答えた質問に、冷や汗をかいてしまった自分は何なのだろうと戸惑ったままでした。

教会のことを耳にする人が増えれば、末日聖徒は福音に関する質問に答える機会も増えます。高校で学んだことは、長い説明も、恐れる必要もないということです。見事で簡潔な福音の教義は、それ自らが語るのです。

今度あなたの友人から「救いの計画」と呼ばれる内容について質問されたら、次の短い答えを使ってみてはどうでしょう。それらは大抵の人が知りたがることを網羅していますから、救いの計画全体を図にするようなことは考えなくてもよいのです。

わたしたちは、
どこから来たのでしょうか

わたしたちは永遠の存在であり、生まれる前はわたしたちの霊の御父である神と一緒にいました。地上にいるすべての人は文字どおり、同じ天の御父の息子や娘です。前世でわたしたちは、一人一人が神の特質と、そのようになれる運命を備えていました。前世でもこの地上でも神はすべての人に、選択の自由、すなわち自分で選ぶ権利を与えてくださいました。神はわたしたちの霊の御父であられるので、わたしたちは神を天の御父と呼んでいます。

なぜここに
いるのでしょうか

地上での生活は、わたしたちが永遠の幸福を得るための神の計画の一部です。その計画には、肉体を得ることや、善悪の選びを学ぶことも含まれています。わたしたちの生ける預言者トーマス・S・モンソン大管長はこのように言いました。「賢明な創造主は地球を創造し、そこにわたしたちを置いてくださいました。そして前世を忘却の幕で覆い、わたしたちが試しの生涯、そして神が備えてくださったすべてのものを受け取るにふさわしくなるために、自らを証明する機会を経験できるようにしてくださいました。」（「人生というレース」『リアホナ』2012年5月号、91）

そして、義人の霊はパラダイスと呼ばれる幸福な状態、すなわち安息の状態、平安な状態に迎え入れられ、彼らはそこであらゆる災難と、あらゆる不安と憂いを離れて休む。」（アルマ40：11－12）

わたしたちがイエス・キリストの贖いすなわち犠牲を受け入れて、罪を悔い改め、主がなさったように生活するよう努力するなら、その贖いの力で洗い清められ、天の御父とともに永遠に生きることができるのです。

キリストに従うことも福音を受け入れることも拒んだ人は、これらの祝福を受けることはありません（アルマ40：13－14 参照）。

イエス・キリストの
役目とは何でしょう

天の御父はわたしたちの救い主として御子イエス・キリスト

を送ってください、神の計画に従って生きる方法を示してくださいました。救い主の贖いにより、わたしたちの罪は洗い流され、神のみもとに戻るためにふさわしい状態になります。救い主が十字架にかけられた後、霊がその体に戻るまで、体は3日間墓に横たえられました。イエス・キリストが墓に対して勝利されたことによって（モルモン7：5 参照）、わたしたちも死後復活し、完全な体を得て永遠に生きるのです。■



会話に加わりましょう



2月の日曜学校、若い女性のクラス、神権定員会では救いの計画について学びます。特に日曜学校では、救いの計画をどのように教えるかに焦点を当てています。救いの計画に関して、あなたや友人が思いつきそうな質問がほかにもあれば、リストにしてワードや支部の教師やほかの青少年と分かち合っては良いでしょう。協力すれば、ほかの人にこの教義を教える方法が見つかります。

この世を
去った後はどこへ
行くのでしょうか

死んでからもわたしたちの人生は続きます。しかし、その行く先は今をどう生きるかによって決まります。福音を実践するなら、主イエス・キリストの恵みによって悔い改めと赦しを得、神の御前に清くなることができます。

モルモン書には次のように書かれています。「すべての人の霊は、この死すべき体を離れるやいなや、……善い霊であろうと悪い霊であろうと、彼らに命を与えられた神のみもとへ連れ戻される。」

教える心構え

「福音の原則を研究するだけでなく、それに従って生活するならば、その知識と行動が絶妙に結びつき、平安な気持ちで、どのような場面においても真実だと分かっていることを教える心構えができます。」

十二使徒定員会 M・ラッセル・バラード長老の言葉、
マイケル・オッターソン
「わたしたちの宗教に関する質問に答える」で引用
『リアホナ』2012年8月号、78



集会の司会は どのようにすればよいのでしょうか

12歳になり初等協会から若い女性やアロン神権に移ったとしましょう。物事はうまくいき、新しい事柄の一部は大変気に入っています。ところが、この変化には新たな責任も伴うことが分かりました。

少し怖い責任の一つは、集会の司会をするよう頼まれるようになったことです。

司会を行う集会（ミューチャル活動、日曜日の集会、定員会やクラス会長会集会）によって求められることや

議題は多少異なりますが、以下はこの責任を果たすうえで考慮すべき一般的な提案と指針です。

- 集会で行う事柄をまとめたアジェンダを使う。記入用のアジェンダ書式のサンプルがないか指導者に尋ねる。
- 御霊^{みなま}を招く音楽を選択する。
- 開会と閉会の祈りを計画する。
- 可能であれば事前に割り当てをする。
- 早く到着して準備がすべて整っていることを確認する。
- 祈る人、音楽の指揮者、教える人、そのほか集会で何か役割のある人を発表する。
- 司会をする際、敬虔^{けいけん}さを保ち、御霊に導いていただけるようにする。集会に出席しているほかの青少年の良い模範となる。

集会の司会の仕方を学ぶのは、最初は少し不安があるかもしれませんが、経験を積むうちに簡単になります。そして、将来教会の指導者として必要となる技術を会得するうえで役立つでしょう。■

集会議事録のサンプル

教会の集会のほとんどは、同じようなパターンに従っています。以下は、議事録に記載される可能性の高い事柄です。

- 歓迎
- 開会の賛美歌
- 開会の祈り
- 訪問者の紹介
- ビジネスと報告
- レッスンまたは活動
- 閉会の祈り

とくべつなしょうにん
特別な証人



じゅうにしとていんかい
十二使徒定員会

リチャード・G・スコット長老

じゅうにしとていんかいかいふ
十二使徒定員会の会員は

イエス・キリストの特別な証人です。

聖文はわたしにとって どのように役立つでしょうか？

天のおん父は、わたしたちが
困難な問題に直面すること
をあらかじめ理解しておられ
ました。おん父は、わたしたちが立派
に生きるために助けとなる手段を備
えてくださいました。その一つが聖典
です。

聖文は、天のおん父と
イエス・キリストと話すための
とびらを開いてくれます。

聖文は、
誠実な友になってくれます。
聖文は、必要なときに
いつでもそばにいてくれます。

聖文を暗記することで、
大きな力が得られます。

聖文について
深く考えることが、
聖霊から
けいじと導きを受ける
とびらのかぎとなることが
あります。

「聖文の力」、『リアホナ』2011年11月号、6-8参照。

ほんとうに大切なこと



シャーロット・ウッド・ウィルソン
実話をもとに書かれました。

「お父様は生きています
みたまはわたしにささやいてる
ほんとうのことと」
（「お父様は生きています」
『子供の歌集』, 8）

5年生のときわたしはとても大変でした。それまで何学年か同じクラスだった友達がいまして、その人たちはずっと友達だと思っていました。ところが、5年生になるとすぐにその人たちは、天のお父様のみこころに反するような悪い言葉づかいや行いをするようになりました。クラスのほかの子

たちにも意地悪をして、かげ口を言うこともありました。

やがてわたしもその人たちからかわれるようになりました。「たらこちびるのシャーロット」とか「BLC（英語で Big-Lip Charlotte, ちびるのあついシャーロットの略）」というひどいニックネームを付けられました。わたしの心はひどく傷つきました。学校でなるべくその人たちをさげよとしましたが、クラスが同じなのでそれは無理でした。

「ねえ、みんな！」ある日わたしはお昼休みに、明るく親しみをこめてそう声をかけました。

するとその人たちは、わたしの方を見ながら声をそろえて、「なあに、BLC！たらこちびるのシャーロット！」と言葉を返してきたのです。

わたしは、必死でなみだをこらえながら、走ってその場から立ち去りました。独りでお弁当を食べ、時計とにらめっこをしながら下校時間が来るのを待ちました。

家に帰ると、わたしのほほになみだのあとがあるのを見て、お母さんが「どうしたの」と聞きました。

「ずっと友達だった人たちが、わたしをひどい名前前で呼ぶの。どうしてそんな意地悪をするのか全然分からない。」わたしはまた泣き出してしまいました。

「そんなことをしてはいけないわね。でも

5年生のときのシャーロット……



ほかの人があなたのことをどう思おうと関係ないわよ。あなたはかわいいし、意地悪をする人たちの言うことに耳をかたむける必要はないわ。」

「でもお母さん、わたし、あの人たちと毎日顔を合わせなければいけないのよ。自分がどう思われているかでも気になるし、自分が悪口言われているのをほかの人たちにも聞かれちゃうでしょ。だれのことも気にしないようにするなんて、どうすればいいの?」とわたしは言いました。

「シャーロット、ほんとうに大切なのはあなた自身の考え方と主のみころよ。あなたが自分自身と自分のすることに自信をもって、天のお父様がそのあなたの選びが正しいと認めてくださるなら、ほかの人があなたをどう呼ぼうと、何を言おうと何も問題ないわ。お母さん、約束する。」

その後も学校へ行くと、かつての友達にはわたしを笑ったり、ひどい言葉で呼んだりしました。それは数週間続きました。でもやがてわたしはおだやかな気持ちで歩き回れるようになりました。天のおん父がわたしの厚いくちびるをおかしくないとおっしゃるなら、わたしも何も気にすることはなかったのです。

それから6年生に進級するまで問題なく過ごすことができました。新しい友達もできました。その人たちは、わたしが



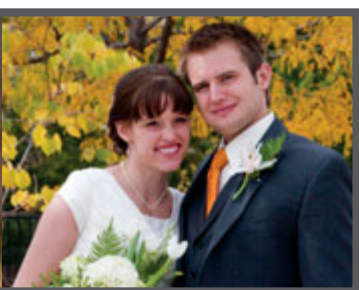
自尊心を持てるように助けてくれましたし、わたしをひどい言葉で呼んだりしませんでした。いちばん大切なのは、天のおん父がありのままのわたしを喜んでくださるなら、自分が人からどう思われるかを気にする必要はないことを学んだことです。■

シャーロット・ウッド・ウィルソンは、アメリカ合衆国オレゴン州に住んでいます。



「みたまの光を受け
てかがやいている若い
女性、徳高くあること
で自信と勇気に満ちた
若い女性以上に美しいものはありません。」

中央若い女性会長 イレイン・S・ダルトン
「自分が何者であるかを忘れない」
「リアホナ」2010年5月号, 122



結婚式にて

わたしたちのページ



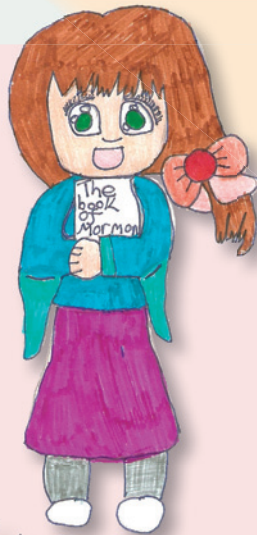
ライザ・P, 7才 (ロシア)

ボリビアにすんでいるジョシェリン・C (5才) と カミラ・C (2才) は、教会に行き 天のお父さまについて学ぶのが好きです。二人は ときどきと 教会に行く じゅんぴをします。お父さんたちが 時間までに 教会に行くために いそいでいるので、めいわくを かけないように するためです。ジョシェリンと カミラは、おいのりをするのが 好きです。しょうきょうかいの クラスも だいすきです。



ぼくはモルモン書の中のニーファイについての話が大好きです。特に、ニーファイが家族といっしょにあれのを旅したときの話や、1せきの船を造った話が大好きです。

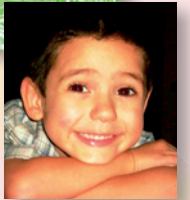
サウル・T, 11才 (メキシコ)



MISSIONARY



トーマス・P, 5才 (アルゼンチン)



1 週間の休日をおばさんの家で過ごすために、弟とわたしがおばさんといっしょにバスに乗って出かけたときのことです。家を出る前にお父さんはわたしたちに祝福をさずけてくれました。バスに乗ってしばらくすると、一人の男性の乗客がバスを降りたいと言いました。そこで運転手の助手がその人の荷物を降ろすのを手伝っていると、わたしの耳に「あなたの荷物がぬすまれた」と静かにささやく声が聞こえたのです。

外を見ると、確かにわたしたちの荷物がバスから降ろされて、草むらにかくされているではありませんか。そこでわたしは大声で、それはわたしたちの荷物でその人のものではない、とさげびしました。あときわたしにささやいたのは聖霊だったと確かに知っています。わたしはそのことにとても感謝しています。

バニアラ・R, 10才 (マダガスカル)

宣教師,
エミリア・A, 11才
(フィンランド)



フィデル・N, 11才
(コンゴ民主共和国)

すばらしい かんが 考え

「わたしはモルモンです。
わたしは知^しっています。
実践^{じっせん}しています。大好き^{だいす}です。」

ちゅうおうわか じよせいかいちろうかい
中央若い女性会長会

だいじ ごとん
第二顧問

アン・M・ディブ

2012年10月総大会から

イラストレーター・ステファニー



ちきゅうは 天のお父さまの こどもたちのために そうぞうされました

「わ あ、あの たくさんの お
星さまを 見て!」と アナ
が 言うと、キャンプファイ
ヤーを かこんでいた かぞく ぜん
いんが いっせいに 空を 見上げま
した。まっくらな 夜空に 何百万と
いう 星が あるように 見えました。

「ちょっと 考えてみて。あの 星の
一つ 一つを みんな 天のお父さまが
おつくりになったのよ」と お母さんが
言いました。

「天のお父さまが わたしたちのために
つくって くださった ものの中から、
すきなものを 一つずつ 言ってみよう
よ」と お父さんが みんなに 言いま
した。

すぐさま ダニエルが、「ほく、言え
るよ。きょねん、海で 見た 大きな
なみが ほくは すきだな」と 言いま
した。

アナは ちょっと まよってしまいま

した。あたたかい たいようや、明るく
かがやく月、あまい かおりの 花も
いいなと 思いました。でも 自分は、
毛が ふさふさした やわらかい どう
ぶつが だいすきなことを 思い出した
のです。そこで「どうぶつ!」と 言いま
した。

さむさで 体が ふるえはじめた
アナに、お父さんが もうふを かけて
くれました。そして こう 言いました。
「天のお父さまは ご自分の こどもた
ちのために こうした すべての うつ
くしいものを おつくりになった後、そ
れを ごらんになって とても まんぞ
くされたんだよ。」

アナは あたたかく しあわせな
きもちになりました。もうふを あご
のところまで 引き上げて 星を見
あげながら そっと こう つぶやきま
した。「天のお父さま、ありがとうござ
います。」■

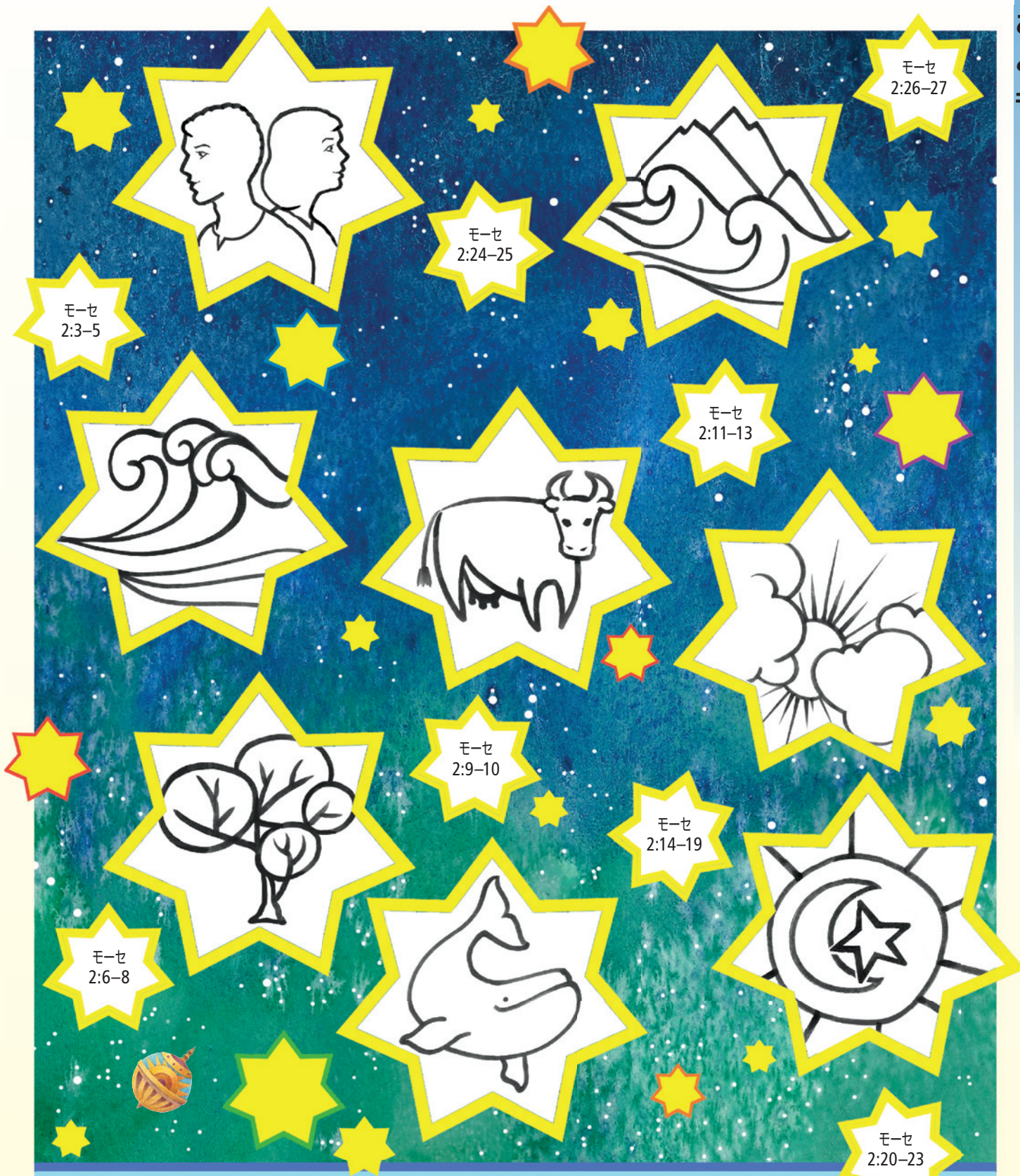
うた 歌と せいく

- 「天のお父さまの 愛」
(『子供の歌集』16-17)
- モーセ2:3-27

かぞく はな あ 家族の話し合いのための アイデア

- 家族に一つずつ紙袋を渡して、外に出て
天の御父が創造されたものを3つ集め
てくるように言ってみてはどうでしょう。
または天の御父の創造物を絵に描いて
もよいですし、書き出してみるのもよい
でしょう。その後、天の御父はそれらの
物も含め様々な創造物を通して、どのよ
うにわたしたちに愛を示しておられるか
を話し合ってください。
- それぞれの星の中に記されている聖句
を順番に読み、該当する星の絵を見つけ
てください。

今月の しよとうきょうかいの テーマについて もっと 学ぶために この レッスンと かつどうを つかうと よいでしょう。



しゆくふくに あふれた ^{そら}空

ほしの中の ^{なか}せいくと、^{てん}天のお父さまの ^{とう}そうぞうされたものの ^え絵を ^く組み合わせて、その ^{ふた}ふたつの ^{ほし}星を ^{おな}同じ色で ^{いろ}ぬりましょう。

見るものすべて うつくしく

きょうかい きかんし
教会機関誌
マリッサ・ウィディソン



アフリカをおとずれていると
そうぞうしてみてください。ほう
えんきょうで 野生の どうぶ
つを 見ていると、あなたは 何か
自分の方に むかって来るのに 気づ
きます。ワシミズクです！さらに 近よ
て来るのを見て、思わず あなたは う
でを 上げて みを かばおうとします。
ところが ワシミズクは、あなたを お
そうどころか あなたの うでに やさし
く まいおります。そして ほとんど
も立てずに いっしゅん あなたを見
た後、とびさって行きました。十二使徒
定員会会長のボイド・K・パッカー会長は、
じっさいに これと 同じ けいけんを
したのです。パッカー会長は、どうぶつが
大すきで、中でも とくに 鳥を とても
あいしています。

パッカー会長は、一つの しゅだんと
して、げいじゅつを とおして しぜんを
あいする 心を ひょうげんしています。
パッカー会長は、子どものこ
ろから 絵を かいたり、ちよ
うこくを 作るのが すきで
した。「えがくものを じっと
かんさつするたびに、かみさま
が おられて、すべてを そう
ぞうされたことが 心のそこから
とても よく分かります」と パッ
カー会長は言います。■



パッカー会長は 11才のときに このどうぶ
つたちの 絵を かきました。お父さんは
地元の 新聞社から つかわなくなった 紙を
家に もち帰りました。パッカー会長は は
らばいになり、その紙を つかって 絵を
かいたそうです。「もし 絵を かくことが
びょうきというなら、わたしは かなり おも
びょうきに かかっていたことになりました」と
パッカー会長は 言っています。



パッカー会長は 10才くらいのころ、
かぞくで キャンプに 行ったときに
ひろった まつぼっくりを つかって
この さくひんを 作りました。



くうぐんの
パイロットを していたころ、
パッカー会長は 時間のあるときに
ふうとうに 絵を かいて、
かぞくにおくりました。



パッカー会長は 子どものころに
下に しょうかいされている、
木で作った 鳥の
さくひんを 作りました。
パッカー会長は、
古い 木のはこを つかって
鳥の 形を きりとり、
きんじょの 人に もらった えのぐで
色を つけたそうです。



パッカー会長は、長年に わたって
たくさんの 鳥の ちょうこくを つくってきました。
ちょうこくをしているときは、リラックスして、
つぎの お話で 何を 話すべきか 考えるそうです。

ジェニファー・マディ

実話をもとに書かれました。

「子たる者よ、何事についても

両親に従いなさい。

これが主に喜ばれることである。」

(コロサイ 3:20)

イーサンは、商品だなに並んだ色あざやかなビデオゲームのケースをじっと見つめていました。両親から誕生日プレゼントに一つ選ぶように言われたのですが、たくさんありすぎて選ぶのが大変です。カーレースのゲームからぼうげんもの、ダンスゲームなどがあり、目うつりしてしまいました。やっとでカーレースのゲームを選び、お父さんのところに持って行きました。

「気に入ったのを見つけたかい」とお父さんがたずねました。

「ほく、このカーレースのゲームがいい」とイーサンは答えました。

「おもしろそうだね。ところで、その対象ねんれいはどうなっているかな」とお父さんが言いました。

イーサンは裏を確かめました。対象ねんれいがふさわしいゲームをしなければいけないことをイーサンは知っています。

した。イーサンが初めて自分のコンピューターを手にしたときに、ビデオゲームの対象ねんれいに関して家族で決めたルールに従うことの大切さを、両親が教えてくれたのです。ゲームの中には内容が良くないものがたくさんあることをイーサンは知っていたので、両親の教えに従いたいと思いました。

イーサンは対象ねんれいの表示を確かめてから、お父さんにそれを見せて、「全ねんれい対象って書いてあるよ」と言いました。

「それは良かった。じゃあ、お金をはらいに行こう。イーサン、誕生日おめでとう」とお父さんが言いました。

「ありがとう、お父さん。」イーサンはにっこりしました。早く家に帰って、その新しいゲームをしたくて心がうきうきしました。

それから何日かしてイーサンは、友達のチェイスの家に遊びに行きました。二人は初等協会のクラスがいで、よく遊んでいます。イーサンは新しい

ビデオゲームを持って行きました。

「やあ、イーサン、中に入りなよ。新しいビデオゲームがあるから、いっしょに遊ぼうよ。」でむかえたチェイスが言いました。

「ほくも新しいのを持って来たよ。」イーサンは誕生日プレゼントにもらったゲームをにぎりしめながらそう言いました。

二人がコンピューターの前にすわると、チェイスが自分のゲームをセットしました。タイトルといっしょに対象ねんれいが表示されたのを見て、イーサンはこおりついてしまいました。それは、自分たちのねんれいの子供はしてはいけないゲームだったのです。

チェイスは夢中でメニューの指示に従ってコントローラーを操作して、ゲームを始めました。何も悪い場面はありません。イーサンは自分のコントローラーを操作して、いっしょにゲームをし始めました。

対象ねんれいに関するルール

わたしの福音の標準

「わたしは天のおん父に喜ばれるものだけを読み、見ます。」

ゲームはおもしろかったのですが、先に進めば進むほどイーサンはいやな気持ちになってきました。別に悪い場面はありませんでしたが、家族のルールに従いたいと思いました。

「ねえ、チェイス、このレベルのゲームはぼくの家ではしゃいけないうって言われているんだけど」とイーサンが思い切って言いました。

「ああ、これはね、だいじょうぶだよ。何にも悪い場面はないから」とチェイスが答えました。

「ほんとう?」とイーサンが聞きました。

「うん、ほんとうだよ。うちでは家族でしてるよ。ぼく、この対象ねんれいの表示がまちがっていると思う」とチェイスが言いました。

ちょうどそのときチェイスのお母さんが

ドアごしに中をのぞきこみながら、「ねえ、二人とも、楽しく遊んでる?」と声をかけてきました。

イーサンはぐっとつばを飲みこんでからこう言いました。「こんにちは、マーフィー姉妹。あの、このビデオゲームは、ぼく、家族からしゃいけないうって言われているんですけど。」

「何も悪い場面なんかないよって言ったんだけど」とチェイスが言いました。

チェイスのお母さんは、気にしなくてもいいのと言いたそうに手をふりながら、こう言いました。「何も心配することないわよ、イーサン。その対象ねんれいのゲームには良くないものがたくさんあることはわたしも知っているけれど、このゲームに関してはあなたのお母さんも許してくれると思うわよ。」 チェイスの

お母さんにはにっこりと笑いながら部屋を後にしました。

チェイスはゲームを続けましたが、イーサンはコントローラーを置いてこう言いました。「チェイス、ぼくが持って来たレーシングゲームしない?」

チェイスはかたをすくめて、スクリーンをじっと見つめながら「ううん、ぼくはこのゲームのほうがいい」と答えました。

イーサンは静かに立ち上がってチェイスの部屋に行き、おもちゃのレーシングカーを見つけて、それで遊ぶことにしました。ビデオゲームほど楽しくはありませんでしたが、自分が家族のルールに従っていると思うと、とても良い気持ちになりました。■

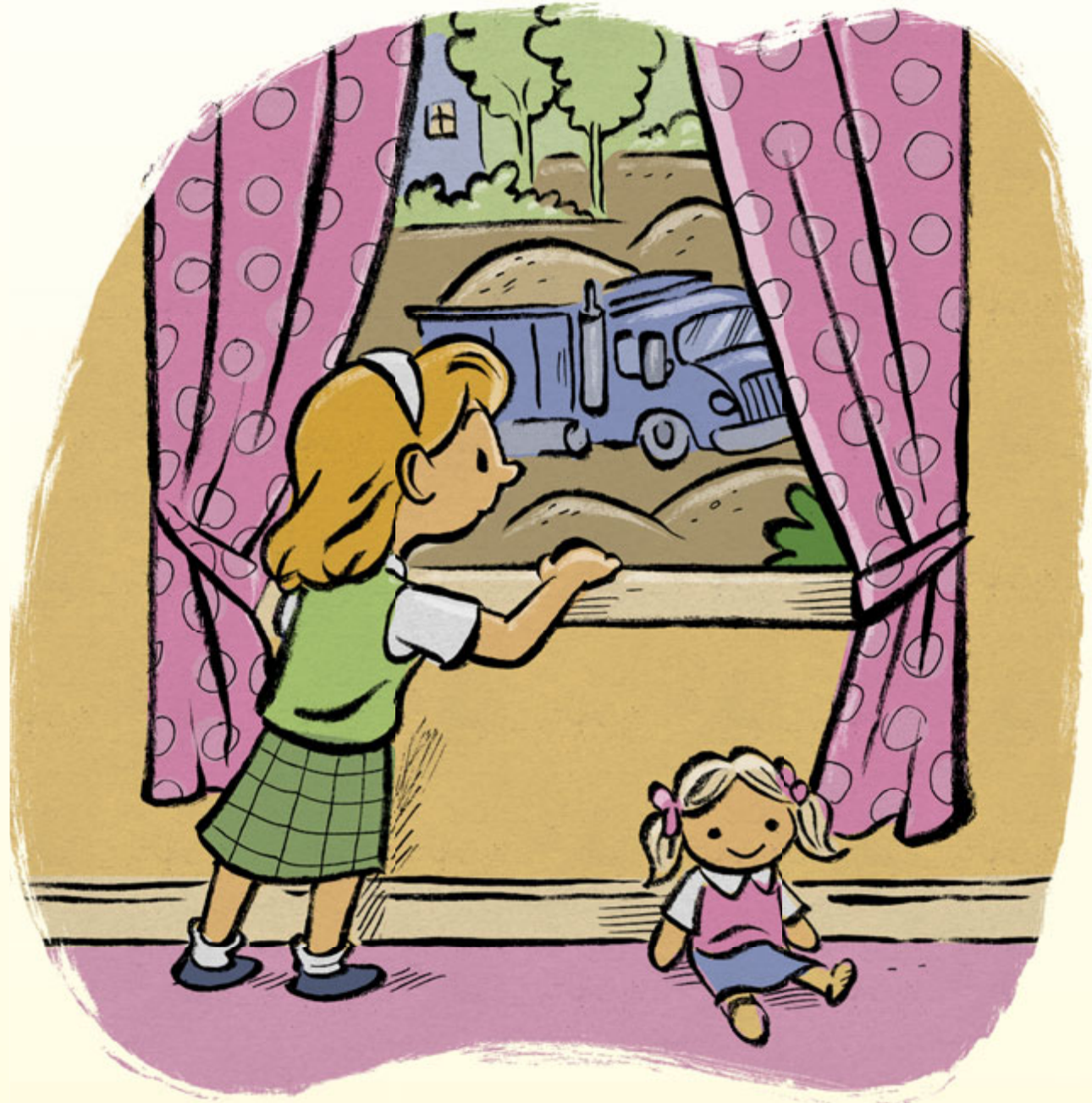
ジェニファー・マディは、アメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。



イエスさまと いっしょにつくる

ミッシェル・トリップ (アメリカ合衆国, アイダホ州)

じつわを もとに 書かれました。



ブルー。ブルー。ブルー。アシュリーが ^{そと}外を ^み見ると、^{あお}青い ^みトラックが ^み見えました。土が ^{つち}山の ^{やま}ように ^あ積み上げられています。きんじょの ^{ひと}人が ^{あた}新しい ^{いえ}家を ^{たて}たてているのです。



「あの山やまのような 土つちは どうして できるの。だれが おうちを たてるの」と アシュリーが 聞ききました。

「トラックが 大おおきな 土つちの 山やまを つく 作つくってね、大工だいくさんが おうちを たてるのよ」と お母かあさんが 言いいました。



「先生せんせいが イエスさまは すべてのものをおつくりになつたって 言いってたわ」と アシュリーが 言いいました。

すると お母かあさんは こう言いいました。「そうよ、家いえを たてるのに ひつようなものはすべて イエスさまが おつくりになつたのよ。」



アシュリーは、にわを ^み見ながら「木とか ^{いし}石とか ^{つち}土も イエスさまが つくられたの？」と ^き聞きました。

「そのとおりよ。わたしたちの ^{からだ}体をおつくりになったのも イエスさまよ。わたしたちは ^{からだ}その体をつかって ^{つく}いろいろなものを作ることができるでしょ」と ^{かあ}お母さんが ^{おし}教えてくれました。



イエスさまは、きんじょの ^{ひと}人が ^{いえ}家を たてるのを たすけてくださっているのです。それは ^{じぶん}自分も ^{なに}何かを ^{つく}作るときには イエスさまが たすけてくださるということです。そのことが ^わ分かって アシュリーは とても うれしくなりました。■

うつくしい ちきゅう

アシュリーは、天のお父さまと イエスさまが すべてを おつくりになったことを 学びました。お二人が おつくりになった この うつくしい ばしょを 見てください。下の 四角の中に えがかれている いきものを、この 絵の中から 見つけて 丸で かこんでください。



教会のニュース

教会のニュースおよび出来事についてもっとお知りになりたい方は news.lds.org にアクセスしてください。

教会が世界中の会員に 地元での奉仕を促す

教会のニュースと出来事

ヘザー・ウィットル・リグリー

教会の福祉部は1年ほど前から、世界中の会員に、自分の地域社会で支援活動をするよう強調点を変更してきた。

LDS.org の人道支援コーナーは次のように提案している。「あなたが見聞きしている必要や問題にはどのようなものがありますか。……もしあなたの地域社会で必要がありながら、これに対処する定着プログラムがない場合は

2010年にチリを襲った巨大地震の後、チリの会員は数千個の衛生キット詰め込み作業を行った。



(LDS.org にアクセスし「リソース」, 「福祉」, 「人道支援」とクリックして) 自ら行動し解決策を見つけてください。」

教会の緊急対応ディレクターのリン・サムセルは、地元で人道支援に当たる利点を以下のように指摘している。「地元支援の方がより迅速に対応できますし、税関でのトラブルも減ります。また教会は、その地域の会員によく知られた地元製品を購入することができますし、地元経済を支援するとともに、関係を築く助けにもなります。」

2011年、数か国のアラブ諸国で生じた政変により数千の人々が家を失った。教会はソルトレイクで衛生キットを集め、その後中東に送るといった作業をせずに、地域の地域会長会に資金提供を行った。ヨルダンで暮らす50人の会員が地元の教会以外の組織と協力して、わずか5日間で4万個の衛生キットと食料セットを詰め込み、配給することができた。

世界中の各会員は自分たちの奉仕プロジェクトを始めることができる。ほかにも支部、ワード、地方部あるいはステークが、会員と一般の人々が奉仕できる機会を作り出すことができる。

地元の救援活動の方が、何千キロも離れた所で考えられた救援活動よりも

必要に即した支援を行えることが多いと、福祉部のグスタボ・エストラダは語る。

2011年3月11日に日本を襲った地震と津波の後、教会は即座に緊急要請に応じた。福祉部では地元の指導者に資金を送り、その後指導者は食料やほかの必要物資を地元で購入した。地震による直接の被害を受けなかった日本の会員は、通常の衛生キット以上に被災者特有の必要に対応できる物資の詰め込み作業を行った。

「会員が自分たちの地域社会に出て行って奉仕するようになると、近隣住民との関係を築き、共通の問題に協力して取り組み、そこから楽しんで信頼関係を深めることができるようになります」と教会人道支援サービスのディレクターであるシャロン・ユーバンクは語った。

2012年、発展途上国の子供の死亡率を減らすために、ガーナに住む末日聖徒のボランティアがガーナに住む友人たちに150万通の電子メールを送り、教会との共同出資者の支援による予防接種活動について知らせた。

「[これからは]別の問題が将来生じて、再び協力し合えると期待できます。ともに奉仕すると理解が深まり、ほかの方法では考えられないほど迅速にクリスチャンとしての真の兄弟愛を深めることができます」とユーバンク姉妹は語る。■

フィリピン訪問中、 主イエス・キリストへの 信仰を強調する 使徒たち

フィリピン地域ニュース委員会

2012年8月24日から9月2日にわたって、十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老とクエンティン・L・クック長老は、ほかの教会指導者とともにフィリピン地域を訪問した。

神権指導者会やヤングシングルアダルトのディボーション、ステーキ大会、伝道部の集会で幹部の兄弟たちが教義を教え、聖徒たちを励ましたおかげで、イエス・キリストを信じる聖徒たちの信仰は強くなった。

ラグナでは、ベドナー長老が特別集会でヤングシングルアダルトと質疑応答の時間を取った。ベドナー長老は「救い主は重要な教授手段の一つとして質問を使われました。もしわたしたちが深く考え、祈ることによって、心を高める効果的な質問をしようと努力するならば、あなたもわたしも靈感を受け、聖霊の力によって答えを見いだす学習のプロセスを歩んでいることとなります」と語る。

日曜日にはレガスピステーキセンターの礼拝堂、文化ホール、収容人数があふれた場合の空き教室は会員で埋め尽くされた。その集会でクック長老は「疑う気持ちから信仰を失うことのないように」と教えた。

クック長老は「家族——世界への宣言」で教えられているように、結婚のきずなにおいて夫と妻が対等のパートナーであることの重要性を強調した（『リアホナ』2010年11月号, 129）。

クック長老は集会の終わりに会員たちとあいさつを交わした。



写真：ケイ・ベドナー

パナイ島のイロイロの会員と宣教師は、集会に出席するためにボートとバスで5時間もかけてやって来た。そして、イエス・キリストを信じる信仰を強め、ほかの人がキリストのもとに来られるよう助けるという教えをベドナー長老から学んだ。

フィリピン・イロイロ伝道部で奉仕している専任宣教師のマンガイル姉妹は、学んだ内容をまとめてこう話した。「わたしたちはイエス・キリストの福音を教えるためにここにいますが、真の教師は聖霊であることをいつも覚えておく必要があります。」

カガヤン・デ・オロでクック長老は、地元のヤングアダルトに次のように話した。「皆さんの義が必要とされており、この国はさらに強くなる必要があります。フィリピンの教会が強められることによって、将来アジア一帯に住む人々が祝福を受けることになるでしょう。」

クック長老は会員たちに、最も重要なことに焦点を絞り、疑いを払いのけ、信仰を行使し、神殿で結婚するよう励ました。

「原則や聖文の内容を教える場合、タイミングが〔非常に〕大切です。確かにこうした原則は今日わたしたちに必要ですが……わたしたちが受けているすべての召しの中で最も大切なのは、家族に対する召しなのです」とフィリピン・イリガンステーキのカルロ・V・クリサント会長は語る。

使徒たちは二人のフィリピン上院議員と会合し、地元の青少年を中心とする文化行事に参加し、フィリピン訪問を終えた。■

**8月から9月にかけて
10日間にわたり、
十二使徒定員会の
ベドナー長老と
クック長老は、
フィリピンの
多くの都市を訪れて、
指導者や会員、宣教師と
集会を開いた。**

ラオ語モルモン書の出版

タイ、ラオス、そして合衆国およびカナダに住む少数グループを含む4,500人以上の教会員が、現在ラオ語モルモン書の完全版にアクセスしている。

新しい言語の翻訳版はソフトカバー仕立てで、地元の教会配送センターからでも、またインターネットで store.lids.org (製品番号 35607331) および LDS.org にアクセスしても購入できる (訳注——日本からの利用可能時期は未定)。

新しい召しを受けた 会員を支援する 指導者訓練ライブラリー

1年あまり、LeadershipLibrary.lids.org では会員のために価値あるリソースを提供し続けてきた。そのリソースには、11の言語によるおよそ100本の

ビデオが含まれ、広範囲で多様化する教会の召しにかかわる支援を提供している。

そのビデオには、様々な国の実在のワードや支部の実際の映像が含まれている。地域会長会がさらに訓練が必要であると見なせば、新しい資料が四半期ごとにライブラリーのページに追加される。

「〔指導者訓練ライブラリー〕の目的は、地元の指導者が手引きの原則や方針を学び、教え、応用するのを助けることです」と十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は語った。

指導者がロシアで2番目、 イタリアで8番目となる ステーキを組織する

2012年9月9日、その日88歳になった十二使徒定員会のラッセル・

M・ネルソン長老は、ロシアで2番目のステーキとなるロシア・サンクトペテルブルクステーキを組織した。

7日後、七十人会長会のロナルド・A・ラズバンド長老はイタリア・ミラノステーキを分割し、新しくイタリア・ミラノ東ステーキを組織した。イタリア・ミラノステーキは、イタリア・ミラノ西ステーキと改名された。

教会指導者、 クロアチアおよびボスニアにて 同国の政府高官と会談

七十人会長会のロナルド・A・ラズバンド長老とヨーロッパ地域会長会第二顧問のケント・F・リチャーズ長老は、2012年9月のクロアチアおよびボスニア・ヘルツェゴビナ訪問中に、同国の複数の政府高官と会談した。

クロアチアでラズバンド長老はイボ・ヨシポビッチ大統領と会談し、家族を強めるという教会の継続的な努力を約束した。

9月12日、ラズバンド長老はボスニア・ヘルツェゴビナの3人制大統領評議会の構成メンバーの1人であるジェリコ・コムシッチと会談した。この会談は、教会指導者とボスニアの政府高官による初めての会談となった。

コムシッチ大統領は、ボスニアに存在する様々な宗教団体について解説し、その中の一つとして教会を歓迎した。ラズバンド長老は、教会において家族が最も優先される事柄であり、ボスニア・ヘルツェゴビナの教会員は喜んでこの共通の目的を支持すると説明した。

ロシア・
サンクトペテルブルク
のサマーガーデンで、
ラッセル・M・
ネルソン長老夫妻と
写真を撮る
ヤングシングルアダルト



© HD



研究し、深く考え、応用する

『リアホナ』はわたしの霊と、福音が真実であるという証^{あかし}を強めてくれます。とりわけ、ほんとうに大切な事柄に心が向くように助けてくれるので、サタンのはかりごとから守られています。自分のために特別に書かれたのではないかと思われるメッセージが、毎月掲載されています。毎月そのメッセージを研究して深く考え、日常生活の中でそれを応用するのが御父^{みこころ}の御心であると分かります。

バメラ・アナンタ・バルボサ・ダ・シルバ
(ブラジル)

光の道

聖典は尊い宝です。しかしわたしには『リアホナ』も宝です。そこには、わたしたちの生活に理解と知識をもたらす偉大な光があるからです。掲載されたメッセージから、まるで聖文のように、わたしたちが誤りを正し完全な者となる機会を得ます。それぞれのページには価値ある教え、人生におけるチャンス、光の道が記されています。

マヌエル・デ・アラウジョ・フェルナンデス
(モザンビーク)

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に幾つか例を挙げます。

「いつでも、どのようなことについても、どのような所^{ところ}にいても弟子として歩む」22ページ—— 家族を招いてこの記事で話し合われている「弟子として歩む実験」を完成させるのもよいでしょう。1週間祈りの気持ちで、イエス・キリストの教えや物語について詳しく研究します。次回の家庭の夕べで、家族が実験とそこから得た考えを報告するのもよいでしょう。

「ライト……カメラ……アクション!」48ページ—— 世この記事を読んだ後、家族で良いメディアを選択する重要性について話し合ってください。家族に、お気に入りの良いメディアの例とそれがどのような助けになっているか分かち合うよう勧めるのもよいで

しょう。主がともにおられても気持ちよく視聴できるメディアをどのように選択すべきか話し合うとき、イエス・キリストの絵を示すのもよいでしょう。(このテーマについて教えるためのアイデアが9ページにも掲載されています。)

「しよとうきょうかいを かていても」66ページ—— 天の御父がどれほど多くの物を創造されたか気づくために、家族みんなで散歩に出かけるのもよいでしょう。家族の中には何かを集めたり、絵を描いたり、気に入った創造物の写真を撮りたくなる人もいます。しかし、それらはありません。「天のお父様の愛」(『子供の歌集』16-17)を歌って閉会してもよいでしょう。

.....

わたしの宣教師の家庭の夕べ

教会員になったばかりのわたしは、いつもワードの宣教師を助けたいと思っています。レッスンはあまり聞きたくなくても、家庭の夕べには喜んで参加する求道者がいるのをよく見かけます。

あるときわたしは、専任宣教師と全員教会員ではない家族を家庭の夕べに招待しました。彼らが家に来る前に、御霊がとも^{とも}にあって、福音に対して彼らの心が開かれるよう断食して祈りました。わたしたちは、家族の進歩を助け信頼関係を育むための宣教師用ビデオを見ました。その後、ビデオについて感じたことを分かち合いました。御霊をととも強く感じました。

現在このすばらしい家族は、宣教師と一緒に福音についてもっと詳しく意欲的に学んでいます。わたしたちは皆、伝道活動を助けるように勧めを受けてきました。そしてわたし自身、福音に満ちた生活がどれほど喜ばしいものかを伝えるために、家庭の夕べは効果的な手段であることが分かりました。

マリア・デ・ロス・アンジェレス・ビルカ・ゼバロス (ペルー)

安息日に主を覚える

教会機関誌

マイケル・R・モリス

安息日を聖く守ることについての日曜学校のレッスンは、テレビの話が出るまではスムーズに進んでいました。

日曜日にテレビを見てもいいかどうかについて皆が意見を言い始めると、クラスで何人かが持論を得意げに話し出し、そのうちに気分を害する人も出てきました。話し合いの中に最初はあった御霊はなくなり、明らかに空気が張り詰めてきました。

意見がますますまとまらなくなるのを見ていたステーク会長会のケネス・ペインは、一言言わせてほしいと申し出ました。そして立ち上がると、日本東京北伝道部で伝道した息子ブライアンのお話を始めたのです。ブライアンが2003年3月に伝道を終えて帰還したとき、ペイン会長と家族は空港で彼を出迎えたのですが、そのときブライアンはあごのこわばりと痛みを訴えていました。数週間うちに、非ホジキンリンパ腫と診断されたのです。

1か月後、化学療法が始まり、次に放射線治療が始まりました。ペイン会長によると、医師は9月22日に骨髄移植を行う計画を立てていたのですが、9月に入るやいなや「ブライアンの容態は悪化し始めました。」



救い主を覚えることや、救い主がなさるであろうことを安息日に行うことを妨げるような活動をしているのであれば、恐らく考え直すべきなのです。

ブライアンは9月の第2週に入院しました。がんの進行が早かったため、医師はそのころまでには、骨髄移植をしてももう手遅れだと判断していました。家族は9月21日にブライアンを病院から自宅に連れて帰り、その翌朝、ブライアンは亡くなりました。

ペイン会長はこう言いました。「9月22日は家族にとっても、わたしにとっても特別な日です。その日には、わたしたちは時間を取ってブライアンのことを考えます。ブライアンがわたしたち家族にどんな貢献をしたか、人生最後の2年間を、主と、愛する日本人にどのようにささげたかを思い巡らすのです。ブライアンが亡くなって寂しいですが、その日には、ブライアンの人生について考え、ブライアンの思い出を大切にしています。」

わたしたち皆にとって日曜日は時間を取って思い起こす日だと、ペイン会長は言いました。

「時間を取って教会の集会に参加し、聖餐を取り、自分の罪を悲しみ、救い主が自分の代わりに苦しまれたことについて深く考えます。奉仕をし、愛を示します。そして、主に対する礼拝を妨げるような活動をして気持ちが悪くならないように努めます。」

ペイン会長は、日曜日の活動がそのような精神と調和しているならば、正しいことをしていると感じられると言いました。しかし、救い主を覚えることや、救い主がなさるであろうことを安息日に行うことを妨げるような活動をしているのであれば、恐らく考え直すべきなのです。

こう言うとペイン会長は腰掛け、それ以上何も言いませんでした。言う必要がなかったのです。教室には御霊が戻っており、わたしたちは皆、ペイン会長の言葉に耳を傾けていました。■



イラスト／ロバート・T・ハレット

ブリガム・ヤング

ブリガム・ヤングは、イリノイしゅう ノーブーから ソルトレークほんちへと **かいたく** **しゃたち**を みちびきました。教会の **だいかんちょう** 大管長をしているあいだ、ユタじゅんしゅうの **ちじ**としても はたらきました。**ワシの門**は、ブリガム・ヤングが もっていた **とち**の **いりぐち**を しめました。**つえ**をつかって、**ソルトレークしんでん**を たてるばしょにしるしをつきました。ブリガム・ヤングは、**ねんかん** **きょうかい** **だいかんちょう** 教会の 大管長としての **つとめ**をはたしました。今までに **いま** **なが** **だいかんちょう** **まつじつせい** **と** **よげんしゃ** **よげんしゃ** それほど 長く 大管長を つとめた 末日聖徒の 預言者は いません。



『リアホナ』は世界中の末日聖徒を「弟子として歩む実験」に参加するよう招待しました。

参加者は、イエス・キリストの教え、または、イエス・キリストの生涯の出来事から一つを1週間研究し、それが自分の生活にどのように影響したかを報告しました。実験に参加した6人の会員の報告が22ページから始まる記事に掲載されています。彼らが学んだこと、それを通じて主に従う方法がどのように変わったかが報告されています。

末日聖徒
イエス・キリスト
教会